



凌泳会 阪神支部 新年会 (詳細は本文参照)



6月5日～ 合宿（六甲台）



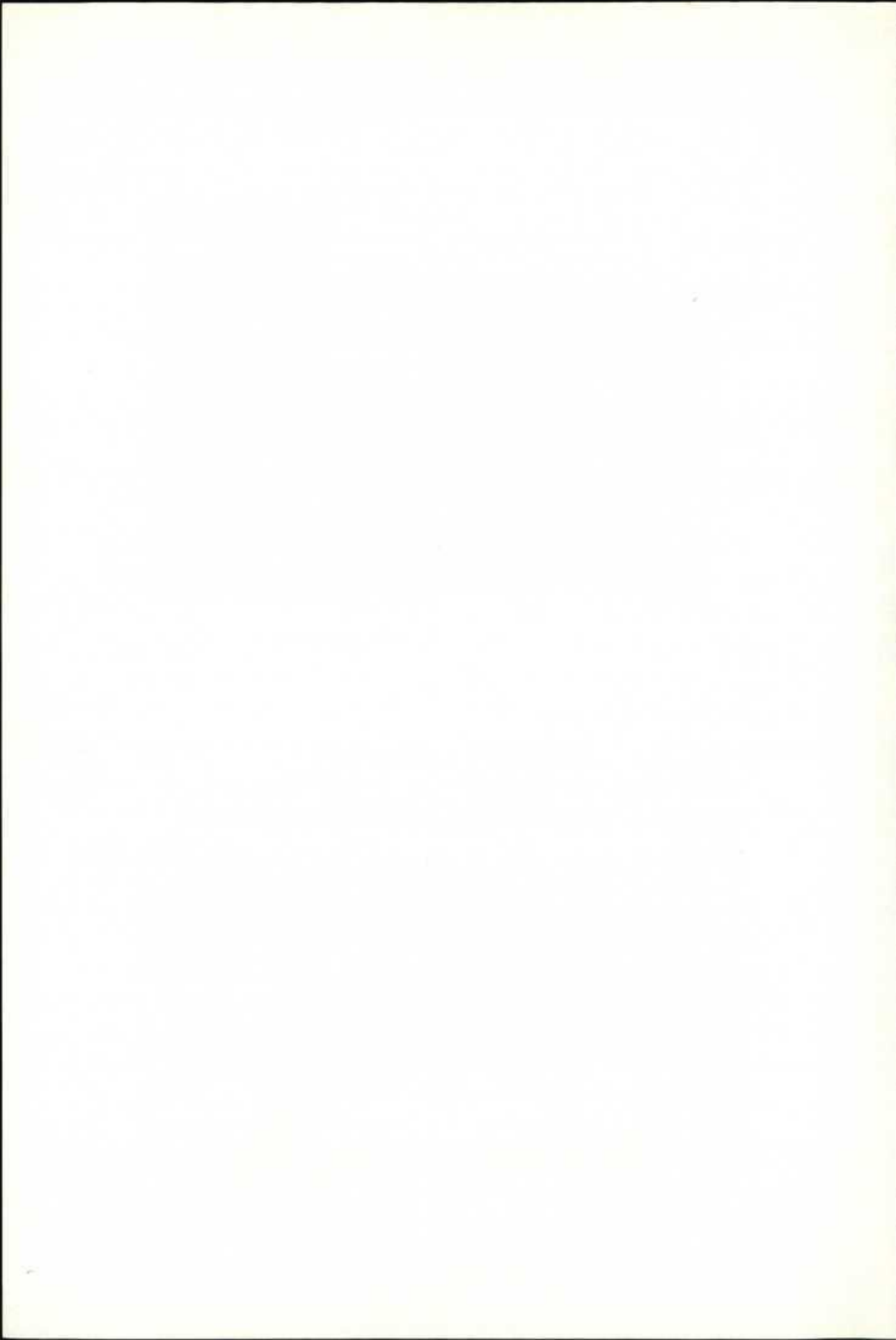
9月2日 インカレ出場（ポートアイランド）



8月13～14日 全国国公立戦（川口）



同 上



# 目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

生涯水泳のこと .....	昭 7学	小山賢之助	2
関西学生水上競技連盟前史 .....	昭 7学	小山賢之助	6
幹事長辞任御挨拶 .....	昭27学	石井 義章	9
岸先生を凌泳会にお迎えする迄の経緯 .....	昭27学	石井 義章	11
岸 橋夫先生の横顔 .....	昭30T	橋本 力	11
昭和59年度凌泳会東京支部総会 .....			13
凌泳会阪神支部(仮称)新年会 .....	昭27学	石井 義章	16
「凌泳」誌に関するアンケート .....	昭27学	石井 義章	18
昭和59年度凌泳会総会議事録 .....			18
会員からのお便り			
総会案内状返信より .....			21
月見の宴案内状返信より .....			28
現役部員寄稿			
部員ノ 自分自身に甘えるなノ .....	主将	川原田 貢	38
「あらあら日記」より .....	現役部員	一同	39
我が愛する水泳部へ .....	昭和60年卒部者	一同	41
現役部員紹介 .....	二回生	一同	48
昭和59年度活動報告 .....			57
昭和59年度行事報告 .....			79
現役部員自己ベスト一覧 .....			80
歴代十傑表 .....			82
凌泳会会則 .....			88
凌泳会役員名簿 .....			91
凌泳会会員名簿 .....			93
「商神」「応援歌」 .....			121
編集後記 .....			126

## 生涯水泳のこと

凌泳会会長 小山賢之助

「アメリカにマスターズ水泳協会という生涯水泳を目指す人々の集りがあって、有名な水泳記録マニアのパトリシア、ベスフォードというお婆さんが、25才以上の男子女子の記録を5才刻みで集計している」という情報をキャッチしたのは昭和50年頃のことであったと思う。

これより先東京美土代町のYMCAのプールで私共と一諸に泳いでいた、岡田亘が毎日S.C.にスカウトされてから毎日スポーツ企画という会社を設立し、その代表取締役社長となり生涯水泳を、キャッチフレーズに数多くのS.C.を設け華々しく活動していた。一方で四ツ谷の長期信用銀行のプールを中心として東大水泳部OBが作った日本体育施設運営(株)通称NASが次第にS.C.の管理数を増加しつつあったが、この会社の社長となった島本長一(早大水泳部OB、アムステルダムオリンピック背泳候補選手)も岡田と同じく生涯水泳の提唱者であった。他方早大の陸上のOBの織田幹夫(S.3.アムステルダム三段跳金)と西田修平(S.11ベルリン棒高跳銀)の二人が国際機関と連絡を取り陸上競技のマスターズ協会を設立した。同じ早稲田仲間の島本は、マスターズに対するNSRの意向を打診したところ会長の藤田明(早大OB)は、NSRは泳手の海外派遣の許認可の権利を保有することでよく、他の活動はNSR以外の団体がやるのがよいのではないかと意見を示した。

そこで岡田は日本S.C.協会、理事長加藤剛(旧姓宮本 早大OB)の賛同を得て、昭和54年、日本S.C.協会主催、毎日スポーツ企画主管のもとにマスターズスイミングフェスティバルと称して、マスターズ方式による競技会を開催した。之が大当たりとなって、毎回参加者2000人を超えるビッグイベントとなり、毎年、関東、関西などのブロック別の競技会を数回、全国的な競技会を少くとも1回開催するという大きな事業に発展した。

59年1月、日本の水泳全体の立場から見てこの種の活動がいつまでもS.C.協会主催では困るので、NSRの意向を受けて、日本マスターズ水泳協会(NMSA)が設立された。主なる役員は次の通りである。会長 北村久寿雄(S.7.ロサンゼルス、1500金NSR顧問)名誉会長 清川正二(同1000背金)、IOC委員、NSR顧問)専務理事 岡田 亘(毎日スポーツ企画、代表取締役社長 日本SC協会全国理事、全国生涯水泳委員長)、理事 林 裕三(京大OB NAS常務 59年12月社長に就任、全国S.C.協会全国理事)、同 大崎剛彦(早大OB S.35.ローマ200平銀、全国S.C.理事)、これらS.C.理事に加え、NSRより、勝村 肇(NSR副会長)、と平井顕吉(NSR外国担当理事)の2名が理事に加わり、その他理事数名の他、監事は嶋本長一(59年12月までNAS社長、現在相談役)と小山賢之助(NSR監事)である。NMSAの日常業務は岡田が執行している。これら理事・監事の他に評議員というのが10数名あるが、その中には、葉室鉄男(S.11ベルリン200平金)、橋爪四郎(S.27ヘルシンキ1500銀)、竹宇治総子(旧姓田中 S.45ローマ1000背銅)、塩川美幸(イトマンS.C.社長、早大OB)等の名がある。何れもS.C.協会の幹部である。

現在NMSAはNSRと日本S.C.協会からそれぞれ100万円の寄付金を貰って、スクスクと生長している。

59年3月、ニュージーランドのクライストチャーチでマスターズ水泳の国際大会が開かれたが、この会には清川、北村、大崎等の最高幹部の他、毎日企画を中心として男女数十名の泳手が参加して好成績を挙げた。

60年のマスターズ大会は、カナダのトロントで8月水泳の他22種目が約2週間に亘って開かれるが水泳は日本から多数の参加者が予定されている、私も之に参加を申し込んだ。

59年11月3日、NMSA主催で千駄ヶ谷の東京都プールで第1回長水路マスターズ水泳大会が開かれた。之には北村始め、大崎の他多数のオリンピックメダリストが参加した。

NMSAでは、クライストチャーチと11月の長水路大会の両競技の最高記録を日本マスターズ公認長水路最高記録として発表した。その男子の部は添付別表の通りである。念のため世界記録を併記してある。女子の部もあるが紙数の関係で割愛した。

この表をよく見ると、流石に、オリンピックメダリストは強い。

例えば、50フリー50-54才(以下50+と略称)28.18は45+より早い、50+には、鈴木 弘(S.27ヘルシンキ100銀)である。100フリー45+は1:03.19で40+より早い、之は山中 毅(S.31メルボルン400.1500. S.35ローマ400各銀)50背の70+の41.72は、65+より早い、之は清川である。50平の45+の日本記録33.68は世界記録になっており又、100平の45+は1:16.84で40+のみならず35+より早い、之は大崎の記録である。10年若い者より早いというのは大したものである。

然しこの日本最高記録は必ずしも、メダリストばかりが作ったのではない。例えば女子記録には、ママさん水泳出身で、競技歴の全くない素人の作った記録が多数ある。

泳会員諸兄姉よ、この表をよく見て下さい。皆さんの中で俺も、私も、日本記録は夢ではないという人が幾人か居られるのではなからうか。

私もメダリストではないが、マスターズに4回出場した。お恥づかしいが記録は次の通りである。

短水路 (日本S.C.協会主催)

第6回 関東ブロック 昭和54年9月

70+ 25米平 21.1

50米平 47.8

第2回 全国マスターズ 55年2月

70+ 100米平 1:51.6

第14回 関東ブロック 昭和58年10月

75+ 25米平 21.02

50米平 48.49

長水路 NMSA第1回 59年11月

75+ 50米平 47.95

100米平 1:58.02

何れも1位で金メダルを貰った。記録も作った当時としては、それぞれの年令の日本最高であった。75+の私の記録は5年若い70+よりも数等よい、私のささやかな自慢の種である。

尚マスターズ水泳国際大会は来年日本で開かれるが、凌泳会でチームを作って大学参加してみても如何でしょう。金メダルを取るばかりではなく日本最高記録も夢ではないと思う。(文中敬称略)

脚 註

- ① (S.7. ロサンゼルス 1,500 金)は昭和7年ロサンゼルスオリンピック1,500米フリー優勝を意味する。以下同じ。  
 ② S.C.はスイミング、クラブ。 ③ NSRは(財)日本水泳連盟。

マスターズ公認日本長水路最高記録

フリー	年 令	日 本	世 界	日 本	世 界		
50 m	25-29	2 6 5 4	2 2 5 9	100m	5 9.5 8	5 1.2 5	
	30-34	2 6 7 1	2 4 5 0		5 8.5 8	5 4.2 5	
	35-39	2 7 0 4	2 5 3 1		1 : 0 3.0 1	5 5.3 8	
	40-44	2 7 6 1	2 5 2 4		1 : 0 4.9 8	5 6.3 6	
	45-49	2 8 4 5	2 6 1 2		1 : 0 3.1 9	5 8.7 6	
	50-54	2 8 1 8	2 6 1 6		1 : 1 3.3 4	5 9.2 5	
	55-59	3 1 6 1	2 7 4 3		1 : 1 4.1 9	1 : 0 4.3 8	
	60-64	3 4 0 3	2 8 8 3		1 : 1 5.0 4	1 : 0 5.4 0	
	65-69	3 3 9 0	2 9 9 3		1 : 1 5.4 1	1 : 0 8.1 5	
	70-74	3 4 4 7	3 0 6 3		1 : 2 1.3 9	1 : 1 1.6 1	
	75-79	3 7 0 7	3 2 5 0		1 : 2 2.0 3	1 : 1 8.5 3	
	80-84	—	3 8 9 5		—	1 : 3 3.7 2	
85-90	—	5 0 7 4		—	2 : 0 7.8 7		
バック	年 令	日 本	世 界	日 本	世 界		
	50 m	25-29	3 0.1 6	2 7.8 6	100m	1 : 0 5.5 8	1 : 0 0.3 0
		30-34	3 1.7 7	2 8.8 8		1 : 1 1.7 5	1 : 0 2.2 1
		35-39	3 3.8 2	2 8.0 4		1 : 1 7.7 4	1 : 0 3.0 0
		40-44	3 6.1 8	2 9.9 4		1 : 2 2.4 3	1 : 0 7.7 3
		45-49	3 3.7 3	3 0.9 0		1 : 1 7.5 4	1 : 1 0.9 0
		50-54	3 8.8 5	3 2.7 8		1 : 2 3.4 7	1 : 1 2.2 4
		55-59	4 3.4 7	3 4.1 3		1 : 4 8.3 5	1 : 1 8.5 4
60-64		4 1.1 7	3 5.7 5		1 : 3 8.8 7	1 : 2 0.7 4	
65-69	4 3.4 8	3 8.2 9		1 : 4 1.1 0	1 : 2 7.5 2		
70-74	4 1.7 2	4 0.0 6		1 : 4 2.4 1	1 : 3 0.1 8		

バック	年令	日 本	世 界		日 本	世 界
50m	75-79	1:02.61	4.047	100m	-	1:32.92
	80-84	-	5.392		-	2:06.19
	85-89	-	1:02.40		-	2:43.70

平 泳	年令	日 本	世 界	100m	日 本	世 界
50m	25-29	3.209	3.020		1:10.91	1:06.87
	30-34	3.299	3.088		1:20.55	1:09.30
	35-39	3.510	3.201		1:17.49	1:12.73
	40-44	3.545	3.239		1:20.14	1:11.58
	45-49	3.368	3.368		1:16.84	1:15.47
	50-54	3.720	3.385		1:28.03	1:15.60
	55-59	4.070	3.748		1:37.41	1:22.57
	60-64	4.279	3.901		1:41.44	1:30.04
	65-69	4.302	4.021		1:38.06	1:32.99
	70-74	5.337	4.141		2:16.04	1:40.87
	75-79	4.795	4.552		1:58.02	1:48.25
	80-84	-	5.506		-	2:09.06
85-90	-	1:06.00		-	2:43.08	

バタフライ	年令	日 本	世 界		日 本	世 界
50m	25-29	2.793	2.516	100m	1:03.65	56.34
	30-34	2.876	2.663		1:06.55	58.94
	35-39	2.905	2.731		1:08.02	58.59
	40-44	2.994	2.756		1:15.74	1:02.05
	45-49	3.160	2.920		-	1:06.65
	50-54	3.217	2.997		1:48.72	1:07.13
	55-59	4.168	3.253		-	1:14.20
	60-64	4.160	3.399		1:57.69	1:22.30
	65-69	4.183	3.667		-	1:32.58
	70-74	-	3.796		-	1:45.60
	75-79	5.309	4.934		-	2:15.70
	80-84	-	5.767		-	3:26.62
85-90	-	-	-	-	-	

## 関西学生水上競技連盟

### (現・日本水泳連盟学生委員会関西支部)前史

水泳会会長 小山賢之助(昭7学)

今、私の手許に二冊の本がある。一冊は「水連40年史」(日本水泳連盟・昭和44年7月発行)他の一冊は「日本体育協会50年史」(日本体育協会・昭和38年10月発行)である。

体育協会は全オリンピック競技の統轄団体であり、水泳連盟は水泳の実施機関であるから体協史には体育協会の規約・事務所・役員等の事項は詳細に記述されているのに対し、水連史は、競泳の記録が主となっているが、これはそれぞれの団体の基盤が違うのでやむを得ないことと思う。しかし、水連史は競泳史としては立派な出来栄ではあるが、その他の点では記述が不十分であり、間違っていることもある。例えば、体協史には(444頁)昭和30年規約を改定して、理事について競技団体選出の理事をして増加することにした。その内体育協会に対する水泳連盟の代表は、

昭和30年12月	藤田 明
31年11月	小池 礼三
32年 3月	小山 賢之助
33年12月	樋口 一成
36年 3月	高石 勝男

となっているが、水連史(366頁左側)には

昭和29年	田畑 政治
32年	田畑 政治
34年	田畑 政治
35年	田畑 政治

となっている。昭和30年の体育協会の規約の改正は載せる必要はないとしても、水連史228頁左側には、昭和32年の事項として「田畑会長以下6理事辞任」の記事があるのに代表者が上記となっているのは、水連史として前後撞着しており、自己矛盾に陥っている。水泳連盟を辞職した人が、水泳連盟を代表して体育協会の理事になれるわけがない。

大正年間、日本体育協会副会長に武田千代三郎という人物があり、大阪に在住したが、これについては水連史(23頁左側)に「体協関西支部長・武田千代三郎」と記してあるのみで、氏に関する事項は詳細なる記述はない。氏は大正年間関西において運動史上大きな影響を及ぼした人であり、体協史には氏に関し詳細な記述がある。私はこの記事を参考として関西における大阪体協・大阪水協の事蹟を述べて、関西学連の前史と致したい。氏は、日本体協、副会長兼関西支部長であったので、体協の事業を述べないと相関関係が理解困難と思われるので、以下体協のことをなるべく簡単に述べる。

1911年(明治44年)日本体協創立・会長・嘉納治五郎、I O C委員に就任(講道館会長・東京高等師範校長)

1912年(明治45年)アントワープ、オリンピック開催、日本・陸上選手2名を派遣

1913年(大正2年)9月 嘉納会長補佐として、副会長に武田千代三郎就任、武田は明治22年東京帝大卒業、在学中英人ストレンヂの指導を受けた運動界の先達であった(体協史409頁) 嘉納はI O Cの指示に基き、各競技団体の統轄機関を組織することとしたが、東京における水泳については、部長今村次吉、委員本田存を任命した。

武田は大阪に出向し、大阪体協を作ると共に、水泳については大阪水泳協会を作り、実務を中尾保(大阪毎日社員。早大OB。浜寺水練学校と能島流の師範)と杉本伝(茨木中学教諭)に一任した。当時大阪毎日は、浜寺水練学校を経営すると共に、中等学校大会を主催しており、中尾はその実施面の長であった。

杉本は大正4年(1925年)茨木中学にプールを作り、大正年間に茨木中に日本最強のチームを作ったことは皆様御承知の通りである。

これにより先、大正2年3月、比島体協(極東大会事務局)より、極東大会結成の勧奨があり、日本はこれに加盟することとしたが、大正2年、第1回マニラ、大正4年、第2回上海については、国内の諸準備の整わないまま、申し訳り程度の選手団を送るに止まった。

1916年(大正5年)はオリンピックイヤーであったが、第1次世界大戦のため大会は開かれなかった。

1917年(大正6年) 第3回極東大会が東京で行われ、日本は前2回とは異なり全面的に参加した。水泳は芝浦で行われ、完勝した。

1918年(大正7年) 第4回極東大会のための水泳予選が、大阪水協主催で鳴尾で行われた。東京では体協主催の予選会が大正8年春行われた。

1919年(大正8年)2月、比島は、第4回極東大会を5月、マニラで開催したいと提案してきた。東京の体協では、日本の選手の大部分が学生であるところから、8月開催を主張したが、比島がこれを拒絶したので、日本体協は、極東体協からの脱退を声明した。

ところが、関西在住の陸上、水泳その他の関係者の中から、折角これを目指して、練習をし、予選会を開いているのに不参加では、選手が可哀いそうだということで、有志相寄って、武田が代表となって「日本青年運動クラブ」を組織して、少数選手団の参加の可否を比島に照会した。ところが比島はこれを承認したばかりでなく、大阪体協を極東大会への日本における代表団体として承認してきた。そこで、東京の体協もやむを得ず、このクラブを承認したので、マニラの第4回極東大会には、陸上12名、テニス3名、水泳1名が参加した。水泳の1名は浜名湾出身の内田正練(北大)であったが極東大会の規約により水泳には最低リレー1チーム参加する義務があったので陸上の3名を借りてきて、この規定を充足した。この時の大阪水泳の取った態度は、参加拒絶を表明した東京に対し非常に協動的であって、当時水泳で最強を誇った茨木中を参加させなかった。ところが当時の世論は参加拒絶をした東京の体協よりも、少数でも参加に踏み切った大阪体協を支持した。尚この時に、大阪体協の取得した極東大会への代表権は昭和9年まで存続した。

同年8月 武田は大阪市立高等商業学校(現在の大阪市立大学の前身)校長に就任した。

日本体協はこれを機に大阪市に体協関西支部を設置し、武田副会長を関西支部長に任命した。

1920年(大正9年)オリンピックはアントワープで行われ、水泳は2名の選手を派遣したが、好成績は得られなかった。

この年の6月、武田大阪高商校長は神戸商高(現在の神戸大学)との水泳の対抗戦を行わせた。この対抗戦は日本最古の水泳対抗戦として今日まで続いている。

1921年(大正10年)5月 第5回極東大会が上海で行われたが、日本は各種目に参加した。水泳は20対21で比島に敗れた。この原因として、中国の役員のミスがあり、競技会運営についての批判も出て、日本の水泳人は憤慨したものであった。

この頃から水泳の日本の統轄団体が体協水泳部にある点に対し、不満が出てきた上に、クロール泳法の発達と併せて独立した水泳連盟を持たねばならないというコンセンサスが固ってきたにもかかわらず、体協水泳部の今村部長、本田、後藤の両委員が反対するので水泳連盟が実現しなかった。その対策として学生大会を開くこととし、萬朝報新聞社が乗り出して三笠園で第1回の学生水泳大会を開催した。在京の高専大学の他、長崎高商が参加した。翌1922年(大正11年)になっても状況が変らなかったため、萬朝報は第2回学生大会を調布で開催した。第2回は在京の高専大学の他松山高校が参加した。

1923年(大正12年)5月大阪市は極東大会に備えて、約40万円の巨費を投じて、築港に陸上競技場、テニスコート、50メートルプール等を含む総合競技場を建設し、大阪体協が主管して第6回極東大会を開催した。「日本チームを勝たしめよ」というキャンペーンが行われ、大成功を収めた。水泳は大阪水協が主管して完勝した。

極東大会終了後、大阪水協においては、東京における学生水泳連盟の気運の盛り上がりを見て関西にも学生水泳連盟を作ることとし、同志社大学、京都帝大、関西学院、神戸高商、大阪高商、第3高校、関西大学の7校を以って、関西学生水上競技連盟を結成し、同大、京大、関学、神商の代表者を実行委員とし、会長藤井正太郎、名誉主事小村元一(大阪毎日新聞社員、早大ラグビー部OB)の役員を決定した。又、競技会としては大正11年まで、大阪毎日が主催し、浜寺水練学校が主管した全国中等学校大会に眼を向けこの大会で中学の部終了後行われていた一般の部を学生に変えることとし、築港プールにおいて8月31日中学の部予選、9月1日午前 中学決勝、同午後学生予選、2日 学生決勝とすることとした。8月31日、9月1日と競技会は予定通り行われたが、9月1日正午近く、かの関東震災が勃発し、9月2日の学生の決勝は行われなかった。関西学生大会第1回大会は予選は行ったが、決勝は行われなかったということになる。

東京においても同年6月学生連盟が結成された。会長末弘巖太郎、副会長梅沢親光、名誉主事飯田光太郎であった。地震のため大会はなかった。

話は変わるが体協50年史470頁に次の様な記事がある。ここでは大正12年6月 第6回極東大会が終了したので、今まで無名団体であった体協を、財団法人にするについての色々な提案がなされている。6月22日の理事会において、下村理事の提案の第一項に「……大阪体育協会に匹敵する東京体育協会を考慮してはどうか」という発言がある。これを見ると大正12年極東大会開催当時の大阪体協の実力は内外に広く認識されていたものと思われる。

尚、大正13年の体協の現約改正により、武田は、副会長及び関西支部長を退き、平理事となっている。

1924年(大正13年)オリンピックがパリで開かれ、水泳の監督には杉本伝が就任した。

同年10月 日本水上競技連盟が結成されたのであるが、形を整えるため、全国組織を作った学連代表者が水連結成を呼びかけるという形式をとった。

その時関西代表として中尾 保が参加している。

同年9月 第2回関西学連が開催されたが略前年同様のスケジュールで行われ、参加校は前年7校の他、広島高・松山高・神戸商船・京工芸等が参加した。

水連40年史のもう一つの誤りを指摘しておこう。同誌60頁「日本中等」の項に、東西対抗、優勝校決定戦は水泳連盟が主催したと書いてある。この方式の日本中等は昭和2年から同9年まで8回行われ、昭和2年大阪、3年東京以後交互に行われたが、東部西部の予選はそれぞれ、全国、関西学連の主催で行われ、東西対抗は両学連共催で、現地学連が主管した。手許に昭和5年・6年の日本中等のプログラムがあるが何れも両学連の共催で、大会総務の代表は、東京は、野村憲夫(全国学連名誉主事)大阪は、井関親之輔(関西学連会計主事 神戸商高OB)となっており、日本水連幹部の名前は見えない。

尚、その後各地学連の結成状況を見ると、昭和3年に名古屋で東海学連が結成されている。会長高松定一、名誉主事林 年松。

昭和11年これらの各地の学連を統一して日本学生水上競技連盟が結成された。会長末弘巖太郎副会長藤井正太郎・高松定一 名誉主事飯田光太郎 名誉会計小山賢之助 第1回の競技会は、9月ベルリンの代表選手なしで行われたが、日本大学が優勝した。

しかし、水連40年史365頁の学生部会役員表には、日本学連について何もふれられていない。

(文中敬称略)

(注) 本文は昭和59年度日本学生選手権大会が、神戸ポートアイランドプールに於て、開催されるに当り、そのプログラムの為に小山会長が寄稿されたものである。

## 幹 事 長 辞 任 御 挨拶

(昭27) 石 井 義 章

去る59年5月27日開催の凌泳会59年度総会に於て、幹事長の職を拝辞させて頂きました。総会の席では一応のご挨拶を申し上げましたが、本誌上を借りまして改めて御挨拶と今後をお願いを申し上げ度いと存じます。

顧みますれば昭和50年幹事長を拝命致しましてより満9年、及ばずながら私なりに努力して参ったつもりでは御座いますが、下記の理由により、いつまでも私が幹事長の席に居る事は会の発展の為に良くないと判断致しました。

その1は、会員の数は年々増加しているのにも拘らず、総会或いは月見の宴等恒例の行事への会

員の参加が一向に増加せず、むしろ減少の傾向にある事。この事は会員がこれらの会合に魅力を感じなくなった事を示すものであり、そうなったのは、会の執行部である幹事会の不手際によるものであり、つまりは幹事長の責任であります。では何故そうなったのか、第一は私の能力でありましたが、同時に会を構成する会員の質の変化も見逃す事は出来ません。因に59年度号凌泳の会員名簿を見ますと総会員数300名の内、旧制高商、商(経)大の卒業生は100名と丁度1/3になります。つまり2/3は新製の卒業生であり構成会員の主力は新制に移った事は明らかです。又凌泳会はO.B.の団体であると共に、現役水泳部員を後援し、これと密接な関係を持たねばなりません。その1/3にも現代の若者気質をストレートに理解出来る者が、会の運営に当るべきです。私の様に頭の片隅に古い教育、道徳感、倫理感の残滓を残している者が長として残ってはお互に不幸です。

その2は、前記にも関連するのですが58年度総会に於て57年度会計処理につき、杜撰な点が発見され、その訂正並に原因糾明につき学生諸君と色々突込んだ話合いを持ちましたが、今更の様に私の感覚と噛み合わない事に驚きました。しかし、この事は学生諸君を責めるべきではなく、今迄凌泳会の会計もすべて学生に任せ切りにしていた吾々が悪かったのであり、深く反省しました。本来であればこの年に幹事長を辞すべきであったのですが、その前に凌泳会の会計組織を建て直すのが急務であり、そうする事が私の責務であると考え、58年度は敢て私が会計を担当させていただきました。一年間やってみて思ったより複雑であり、これでは会計実務の経験のない学生には無理な面もあったと思いました。かくして一応の骨組は作りしましたので、59年度からは会計幹事を、酒井潤君(昭31 E)にお願いした次第です。

以上の結果一応私のやるべき事はやったつもりですが、最後に残ったのは後任を誰にお願いするかです。私の腹案としては幹事経験のある人で、10年位若い方と思い当たって見たのですが、誰も仲々受けてくれません。そうこうする内に遂に総会の日が来てしまいました。止むを得ず候補者のないまま総会に臨み、結局幹事長空缺と云う不自然な形で次期幹事会を構成する事になってしまいました。これも私の不徳の致す所と深くお詫び申し上げます。しかし、若い有能な幹事諸君が居てくれますのでお互に協力してやってくれるものと安心しておりますし、又、その内その中から幹事長になってくれる人も必ず出て来るものと確信しております。尚、私は、凌泳誌の編集に携わりますと共に「凌泳70年史」をまとめたいと思い、昭和66年(大正10年より起算)を目標に取りかかる所存です。古い資料等御座いましたら提供頂き度く、ご協力の程お願い申し上げます。

昭和38年三宅先輩(昭21学)より幹事を引継ぎましてから早や20年が経過しました。この間、プール浄化装置の募金。大学紛争。市大戦。三商大戦の記念大会。二度に亘る全国大会。又、古林先生、山田先生の御逝去と云う悲しい出来事もありました。思い返せばそれらの出来事の一つ一つが古いアルバムのページを繰る様に頭の中を駆け巡ります。

初代幹事長として御指導頂いた岡本先輩(昭17学)、又萩原君(昭37 T)、岡田君(昭37 B)、始め幹事として協力してくれた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

どうか新しい幹事会を中心として、凌泳会が益々発展します様、会員皆様の御協力をお願い致します。有難う御座いました。

以上

## 岸先生を凌泳会にお迎えする迄の経緯

(昭27学) 石井義章

小山会長より頂いた59年の年賀状に「昨年暮の、日水連の評議員会で岸先生とお話しをしている内、先生が以前神戸大の教職に就かれた事があり、殊に姫路分校では水泳部の指導もして頂いたと聞く、ついては先生を凌泳会の特別会員にお迎えしたいと思うがどうか」との事が書かれていた。

早速、姫路でご指導を受けたと思はれる、山口、松田、北村らに相談した所、会員諸手を上げて賛成との事。その旨会長に報告。それなら5月の総会迄には先生のご意向を確かめておくからOKなら総会で議決しようとその手筈にしていた。

所が5月の総会に出席された会長にお尋ねした所、岸先生と連絡が取れなかったとの事。止むを得ずこの時は後日先生の同意が得られればお迎えすると云う事で終わった。

同年9月4日、神戸ポートアイランドプールで開催された、第60回日本学生選手権大会に小山会長がお見えになり、又岸先生も来ておられた。これは絶好の機会と会長に連絡、プールサイドでの立話ながら春からの懸案を話して頂き、岸先生も快諾頂き、ここに目出度く特別会員としてお迎えする話はまとまった次第である。

以上

## 岸楯夫生の横顔

(昭30T) 橋本力

このたび凌泳に特別会員として入って頂く岸楯夫先生のことをよくご存知の方も大勢いらっしゃると思いますが、石井先輩が先生の横顔を紹介する文を私に書くように命ぜられたのは、いまだに先生から直接教えを受けているのは私ぐらいだからかも知れません。

東京体専(東京教育大から現筑波大学)卒業後、神戸一中(現神戸高校)、明石高校の教諭をされていた頃(昭和23年~26年)の先生は、国体・教員の部で全国優勝されたりして、われわれ高校生にとって水泳の神様みたいな存在であり遠くから眺めているだけでした。当時のことは浜川・今枝両先輩や田淵・榊原両君がくわしいと思います。

また、26年9月に神戸大学姫路分校に赴任されましたが、私は御影分校にいた関係で直接お目にかかっていません。その頃、先生から直接コーチを受けたものの中には、姫路分校の悪童、山口・桜田(32年)・北村・岡村(34年)の諸君がいます。

昭和37年8月、神戸大学教育学部助教授から天理大学体育学部教授にご栄転になり、高校水泳部の監督をされていた頃、よく天理プールへ出かけて行って私の学校の部員たちの泳ぎを見て頂く



機会に恵まれましたが、それ以来、先生と親しくお付合いをさせて頂いております。

長いお付き合いの中でとくに印象に残ったエピソードを三つほど紹介し、先生のお人柄を皆様にお伝えしたいと思います。

1. 天理高校の練習開始前、プールサイドに集まってくる部員たちの挨拶に対して、先生は一人一人に立ち上って、きちんと頭を下げて礼を返される。身をもって礼節の大切さを示された先生のなげない動作の中に指導者としての姿勢というか、心構えみたいなものを見出した思いがしました。
1. 先生の教え子であり、私の友人に当る人の結婚式に同席したときのこと。その帰りにいただいたお祝いの品々の入った包を先生のもので取り違えてそのまま持って帰ってしまいました。どうせ中味は同じだからと軽く考えていたところ、2,3日後に連絡の葉書と一冊の本の入った小包が先生から送られてきました。すっかり忘れていましたが私の読みかけの岩波新書(430円)です。送料がいくらであったかは憶えていませんが、このことは金額の多少ではありません。小さなことに対しても示される先生の誠実さ、暖かい心、そして真似のできない几帳面さが私の心を打ちました。
1. うちの学校の生徒の泳ぎを先生に見ていただいたときのこと。先生は生徒の泳ぎをじっくり見られた後、生徒に言います。「いいぞ、それでいい。顧問の先生のコーチは間違いない。先生を信じて言われたことをしっかり聞いていれば必ず速くなるぞ。がんばれよ。」そして後でその生徒の泳ぎの欠点と矯正法を私に分りやすく教えてくれます。選手とコーチの心理的なつながりまで考慮した実に心にくい指導法です。そういう人柄にひかれて私がますます岸先生に傾倒していったのは言うまでもありません。

なお、先生は現在までに3期にわたって学部長の重責を果されながらその間、かつては監督として天理高校を常に全国レベルの実力に引き上げられたり、天理大学水泳部(女子)を全日本インカレ三連覇もっていかれた先生の学校スポーツの指導者としての生きかたは学校水泳に関するわれわれにとって非常に高い理想ですが一つの目標となっております。

また、昨年は奈良県水泳連盟理事長として「わかき国体」を見事に運営され成功させておられます。

以上でお分りのように人格的にも偉大であり、かつ競技者、指導者、水連理事長としても素晴らしい実績を上げられている、このような立派な先生を後泳会にお迎えできてほんとうにうれしく思います。

## 昭和59年度 凌泳会東京支部総会

### ○ 新入会員歓迎会

皇居の松の新緑も一段と濃さを増し お濠の鯉も悠悠と泳ぎ回る6月初旬、今春 東京に就職した 吉岡宏之 呉竹正人 水谷利行の3君を迎えて 凌泳会東京支部歓迎会が日比谷の日生会館で催された。

仕事の都合で呉竹君は欠席したが 吉岡、谷水君はフレッシュマンらしい澆らつとした姿で現れ 小山会長以下当日参集した10数名のOB会員の暖かい歓迎を受けた。

また この会のために わざかざ神戸から駆け付けた佐敷監督から 今年度の現役諸君の実力について力強い発言があり 一同三商大戦の応援を約して 10時過ぎ散会した。

### 小 山 賢之助 (学1)

70才以上の会員は、春秋会というのが草野先輩の御世話で別の会でやって居るので超OB欠席ですが、若い人が多数参加されて盛会であったことを悦んでいます。

尚、前田 修君の令嬢琴さん、200背で決勝8位に終わりました。残念です。

### ○ 太田 正元(昭13 学7)

本年6月末で三洋相談役をやめる事になっています。あとは三井金属の名誉顧問のみで全く暇になります。目下健康のため、よみうりグリーンクラブで温水プールで週2回泳いでいます。も早、先輩から数える方が早い方です。母校の水泳部の活躍を祈り上げます。

### ○ 山口 宗樹(昭16 学10)

東京支部の会に24名の出席で、大変嬉しく存じます。本年卒業の谷水君、吉岡君も早速来てくれて賑やかに盛会に過せそうです。又、永野君、山田君、林君の諸兄も帰って来られ、益々盛大にやれると思います。現役の皆様も新しい人を沢山迎え、昨年に増しての成績を期待出来るとの事、大いに頼もしく存じます。頑張ってください。

### ○ 平井 洋(昭16 学11)

もろもろの職退きかろし夏帽子 洋 城

### ○ 田淵 五郎(昭30 B3)

早いもので東京支部総会が又巡ってきて、懐しい顔、面白かった昔話に、ビールに、御馳走に……楽しい時を過ごして居ります。今年は又、三商大が東京なら再び懐しい顔や現役に会える機会が来るものと楽しみにして居ります。

### ○ 榊原 修造(昭33 B3)

今年は東京で三商大が行なわれる由、今から期待しております。現役当時の三商大では小平プールの冷水に震えあがり、ポロではタイムアップばかりを考えておったようです。小生も卒業後30年近くなりますが、今年から又泳ぐことを始めようと思っています。

### ○ 細田 忠雄(昭33 E6)

日頃あまり考えた事がないのですが、こういう会に出席すると一体私は卒業してから何年にな

るのかなとしみじみ思います。というのは、どうも真中からどんどん上の方になって来ているのを感じるからです。相変わらず飲み、打つ、?、の生活を送っている私、ぼつぼつ年相応の生き方があるのでは?でも昔に比べれば平均年齢が30数年も高くなっているのだから、私もまだまだだわい、なんて考えています。

○ 黒田 英雄(昭35 B8)

神大プールをはなれて20数年、その後数回は泳いだが、ここ数年は全く泳いでいない。タバコ、酒、マージャンなど凌泳で築いた健康を今どんどんと食いつぶしている。(株)トーマンという会社の非営業部門で資産管理をやっている。東京は二度目の勤めでもう8年。なぜか神戸に近寄れないでいる。

○ 井上 隆史(昭37 B10)

凌泳会の東京に山田兄(E10)林兄(E11)の二人が帰って来ました。又、久しぶりに新人吉岡君、谷水君、呉竹君が来てフレッシュなムードに包まれており、益々隆盛な大会になるだろうと期待しております。

○ 山田 貴彦(昭37 E10)

博多生活2年余りで東京に戻って来ました。久しぶりに凌泳会東京支部の皆様にお会いでき、うれしく思います。

○ 林 莊八郎(昭38 E11)

7年間のブラジル生活を送り、半年前に帰国しました。暑い国ですからプールを備えたスポーツクラブが多くあり、日本よりも水泳を楽しむ機会が多かった7年間でした。凌泳会としては平井先輩に次ぐブラジル帰りとなりましたが、ブラジルには凌霜会もあり、先輩に御世話になりながら楽しい生活をすごしてきました。今夜は8年ぶり位の東京凌泳会出席ですが、ウマイ酒を飲んでます。

○ 滝沢 章三(昭39 T12)

東京へ来て15年になります。東京支部では丁度、年令的に真中ぐらいになったところでしょうか。この前、私の住んでいる地域の子供会運動会があり父兄リレーに出ました。運動には自信があり、たしかに2人抜いたのですがバトンタッチ直前に急に足がもつれてバツタリとひっくり返りました。今後は陸をやめて再び水にもどらうと思います。

○ 橋口 周平(昭41 B14)

卒業して19年、私が入社した時にやっと生まれた子が入社して来る様になり、もろに年を感じております。昨年は週1~2回アスレチッククラブにかよっていたのが、今年は月に1~2回といったありさまです。

○ 阿部 洋三(昭42 T15)

いつもしつこく水泳の話…今でも泳いでいるぞということ…を書いている阿部です。ついこのまえに学校を出たと思っていたら、なんと今年の暮には40才の大台に突入ということになりました。寄る年波に勝つべく現在も水泳をやっていますが、残念ながら長距離のタイムは落ちる一方です。しかし現役諸君に負けずに、何とかもう一花咲かせようと思っています。

○ 瓜生誠二郎(昭50 E23)

凌泳メンバーの方々と飲む酒は本当に美味である。特に今回は第32回の凌泳に目を通しながらで更に美味である。現在横浜在住の為、3年に一度の一橋の三商大戦と年1回の凌泳が来ると思い出にひたる凌泳メンバーになっておりますが、今後ともよろしく。

○ 丸末 一之(昭52 E25)

今年の支部総会は同年輩の方の出席が多く、非常にうれしく思います。先月、30才になりました。今年の夏は、もう一度体力の限界に挑戦すべくがんばります。

○ 吉岡 宏之(昭59 T32)

OBになって初めて凌泳総会に参加させて頂きました。最近とみに運動不足の<sup>・</sup><sup>・</sup><sup>・</sup><sup>・</sup>かいあって体型がぼろぼろになってきました。この間まで六甲台で泳いでいたのがうそのようです。六甲台の冷たい水が非常に懐しいです。これからはOBとしてできる限りのことをしたいと思っております。

○ 旧三商大戦応援

晴天の7月15日 一橋大学小平分校で行われた旧三商大戦には、小山会長 山口宗樹副会長など総勢10数名のOBがプールのサイドに陣取り 現役諸君に叱た激励を飛ばした。その甲斐あってか 現役諸君の活躍は目覚ましく 惜しくも完全優勝は逸したものの 競泳優勝、ポロ二位の総合優勝を獲得してくれ OB一同も若き青春の血が騒い一日でした。

○ 忘 年 会

暮れも押し迫った11日 東京凌霜倶楽部で 恒例の忘年会が催された。いつもの小山会長、山口宗樹副会長のお元気な姿に加え、何10年ぶりに凌泳会にお見え下さった井川先輩(学15)、5年ぶりにルーマニアのブカレストからお帰りになった永野先輩など、14名が集い、小山会長のマスターズでのご活躍のお話など 時の立つのも忘れさせる楽しい会合であった。最後に、商神を斉唱し新年が一同にとって健康でより良い年となることを祈って 散会した。

(以下 当日の寄せ書きより)

小山 会長 愉快的な忘年会でした。

山口副会長 久し振りの凌泳会 大変楽しい時を過ごせました。来年も又度々皆で会いましょう。

富中 暁 凌泳会の縦のつながりは戦前から大変ユニークなものでした。この伝統をもりそだてたく思います。

平井 洋城 生き甲斐は あってなきごと 冬帽子

井川 俊夫 何10年振りかの水泳部の会合 実に楽しく思い出尽きることなし

永野 一彦 久方振りに(国外に居た為)出席 皆様方の御元気な様子を拜見 大変楽しい一時でした。今後は出来る限り出席致します。

井上 隆史 忙中間有。出席率が少々悪く一寸残念でした。しかし卒業以来の友人にも会えて楽しかった。

浅間 啓介 10数年ぶりで参加致しました。本当に楽しい水泳愛好者の雰囲気を感じました。

山田 貴彦 雨のなか14名の盛会で楽しい一時でした。

中畑 勝明 凌泳会の集まりに久しぶりに出席させて頂きました。懐旧談に時間のたつのも忘れ  
楽しい時間を過ごしました。

山口 幸朗 先輩方のたのしいお話しありがとうございます。またいっしょに泳いだ丸山先輩、  
中畑、宮部、阿部氏とも久しぶりにあえて 楽しい時間をすごさせて頂きました。

宮部 高博 楽しい時間をすごさせて頂きました。6月の会合はしっかりやります。

阿部 洋三 相も変わらず水泳一筋 週3回のペースで泳いでいます。

○ 昭和60年度の幹事 宮部 高博、阿部 洋三両氏をお願いすることになりました。 以上

## 凌泳会阪神支部(仮称)新年会

(昭27学) 石 井 義 章

凌泳誌の名簿から神戸在住(又は勤)の者を拾ってみると46人も居る。この枠を阪神間に拡げると126人にもなる。実に凌泳会員の1/3以上が阪神間に居る事だ。こんなに居てどうして總會にも、試合にも顔を出してくれないのだろうか。やはりたまの休日をつぶして六甲台迄登って来るのが気が重いのだろうか。それなら、平日の夜、三ノ宮近辺で集ってみたらどうだろうかと思いついた。

早速吉野副会長と相談、11月28日 最近出来た神大クラブ(K. U. C, 神戸新聞会館8階)に幹事諸君に集まってもらい協議の上、1月22日(火)の夜、新年会として、ここKUCで開催する事とした。

いよいよ当日、6時過ぎに会場へ行ってみると姫路の高岡君(昭37P)が既に来ていた。実は阪神間以外にも、小山会長と姫路の数人には案内を出しておいたのである。小山会長には、関西でこんな事を始めたと言うご報告と、ひよっとしてこちらへおこしのついででもあれば程度の気持であった。所が、ひよっとしたのである。何でも母校天王寺商業の卒業60周年クラス会が前日の21日に開かれるので続けて神戸の方へも出るとのご返事を頂いた。何も知らずに22日(火)と云う中途半端な日を選んだのに、それが天商のクラス会と続くとは、天の配剤の妙に感謝する。

次々と懐しい顔が現れる。やがて何時も変らぬ元気な会長が姿を見せられた。全員拍手で迎える。当初40人と予想していたが、出席で返事をもらったのが30人、期日間際になって都合悪くなった方などあって結局集まったのは24人、昭和11年卒の古賀先輩もお見え頂いた。何でもこの種会合に顔を出されるのは卒業以来との事。

大方の顔が揃った所で小山会長の発声で乾杯。富岡君(昭31 B)よりサントリーウィスキー2本の差入れあり感謝。全員交々立って近況報告する。続いて小山会長より昨秋開催された日本マスターズ水泳大会に出場75才以上の部で50mと100m平泳ぎの二種目に優勝された時のお話と金メダルのご披露あり、いやもうビックリである。今でも週に3回は泳いでおられるとか。タイム

その他詳細は記憶していないが1ランク下の70～74才の部の優勝タイムよりも良かった事が印象に残っている。何でもこの余勢をかって今年(60年)はトロントで開かれるマスターズ世界大会に出場されるとか、世界となるとどこにどんな伏兵が居るやも知れぬ、会長の健闘を祈る 切である。

旧交を暖めつつワイワイやっている間に2時間程はまたたく間に過ぎてしまった。ここで今日のもう一つの目的である佐敷君の歓送会に切替える。凌泳会幹事として会のお世話を願うと共に、水泳部監督として神大水泳部を兵庫インカレ優勝、全国々公立戦準優勝と輝かしい戦績を残してくれた功労者である。その彼が、ロスアンゼルス転動となり3日後の25日に日本を離れると云うのである。彼の健康と活躍を祈って昭和2年高商寮歌「春やおはろの」の歌い饗別とする。“さらば不断に鍛えたる、男子は行けや国遠く”の歌詞が彼にピッタリと思ったからである。唯、共に唱和してくれる者が中井君ら2～3人とは少々淋しい。

やがて10時の閉店が近付いた。全員前のロービに出て写真をとる、最後に吉野副会長の音頭で凌泳会の万歳を三唱し楽しかった新年会の幕を閉じた。

尚、今後この行事を恒例として開催したいと思いますので、今年お見え頂かなかった方も来年は是非ご参加願います。

以上

[所感とお願い]

今回の案内は132人の方に往復はがきで11月末に出しました。所が返信期日の12月25日迄に返事をくれた人43人(33%)、あまりにも少ないので或は年賀状にまぎれて着かなかったのではないかと心配になり、1月2日に再度出状 これには出欠回答の一覧表を同封し誘い合せて1人でも多く出席頂く様に、又、欠席でも返事だけは必ず出して頂く様に念を押しました。その結果返事が来たのが30人、結局先の人と合せて何分の返事をくれた人が73人(55%)。残り59人の人からは何の返事も頂けませんでした。

何故返信はがきに出欠かだけ書いて投函出来ないのでしょうか、不思議でなりません。頼みもせぬのにそちらが勝手にやっているのだから返事を出す必要は無い、などと云はずに、お手数でも返事だけはお出し願います。尚、興味の無い方は以後案内不要とお書き添え頂ければ幸いです。

以上

参加者(別掲写真照合 カッコ内数字は卒業年)

前列左より=前田(16) 古賀(11) 小山会長(7) 吉野副会長(15)  
石井(27)

後列左より=岡田(37) 高岡(37) 米田(47) 松田(32) 金(59)  
中井(27) 酒井(53) 橋本(30) 佐藤(30) 前田(34)  
岡村(34) 堂本(30) 酒井(58) 富岡(31) 山本(57)  
岩切(46) 久保田(59) 佐敷(49) 大橋(46)

以上 24名

## 「凌泳」誌に関するアンケート

凌泳編集幹事 石井 義章

凌泳会の機関紙「凌泳」は新制1～3回生の諸君の努力により、昭和28年復刊第1号（戦前、桑川先輩（昭10学）の頃あったと聞くので復刊とした。）として発行され、以来30余年OBと現役部員を継ぐ絆としてその任を果して参りました。

所が、年々会員数は増加し、一方凌泳誌の内容充実によるページ数の増加に加えて印刷費昂騰し、次第に凌泳会会計を圧迫する様になって参りました。

去る59年5月の総会に於てもこの事が議題として取上げられ、種々熱心に御討議頂きました。その折提出されたご意見を列記致しますと

- ① 凌泳の発行を隔年にしてはどうか。発行しない年は名簿の訂正と現役の戦績のみを送る。
- ② 凌泳は毎年発行するが名簿は2～3年おきに掲載し、中間年は訂正のみにする。
- ③ 名簿は別冊にして2～3年おきに発行し、凌泳は毎年発行して訂正を載せる。
- ④ 広告を取ってはどうか。

等々でした。

不取敢60年度号は従来の様式で編集致しますが、今後の参考にしたいと存じますので、同封のアンケートはがきに御記入の上お出し願います。又、設問以外にも御意見等御座いましたら御遠慮なくお書き下さい。お名前は書いて頂いても、頂かなくても結構です。

では皆様の積極的な御発言をお待ちしております。

## 昭和59年度 凌泳会総会議事録

記録：島崎 昌彦（2年）

昭和59年5月27日 PM2:00～（於 神戸大学教官食堂）

出席者： 小山賢之助（学1） 吉野 栄（学9） 平井 洋（学11）  
石井 義章（学22） 岡田 重義（B10） 平岡 昭朗（P11）  
丸山 昱也（T13） 佐敷 定雄（A22） 酒井 正人（A26）  
上田 剛弘（B29） 太田 雅彦（A31） 長谷川泰造（T31）  
杉野 誓（T31） 鈴木 利一（T32） 長崎 真人（B32）  
山野 和則（A32） 藤本 栄美（準59） 現役一同

1. 会長挨拶 小山賢之助
2. OB自己挨拶

### 3. 議 事

#### (イ) 凌 泳 会

- 58年度 経過報告
  - ・ 新部長に法学部教授 犬童 一男 先生 就任
  - ・ 8月8日 前部長 山田 幸男 先生 逝去
- 58年度 会計報告
  - ・ 「凌泳」の原稿締め切りの都合上、会計報告書は、別紙印刷。詳細は別紙参照。
- 59年度 行事計画
  - ・ 特別な行事予定なし、例年通り
- 59年度 予算案
  - ・ 別 紙 参 照
  - ・ 水泳部援助金は努力目標であるが本年度こそ達成めざす。
  - ・ 今年度予算案については修正なしで承認。
  - ・ 月見の宴、初泳ぎの会を今年度より水泳部会計に計上する。
- 役 員 改 選
  - ・ 会計監事；平井 洋氏（学11）→三宅 林氏（学16）
  - ・ 監 長；石井 義章氏（学22）辞退  
(理由；幹事長は執行部の中心であるので、10年以上も同一人物が務めるよりも、世代交代する方が良い。また、本人も限界を感じる。)  
石井氏は、新幹事長として、岡田 重義氏（B10）を推薦
  - ・ 今年度は幹事長は空席
  - ・ 石井氏は凌泳会70年誌発行に向けて、凌泳編集幹事に就任。
  - ・ その他の修正なしで承認。
- そ の 他
  - ・ 「凌泳」の発行について
    - △ 名簿を毎年掲載する必要なし
    - △ 隔年発行とし戦績等のみ毎年発行
    - △ 4年に一度発行
    - △ 広告を掲載する（→OBの負担になるのでは？）などなどの案がでたが他の会員の意見も聞き検討していく。
  - ・ 天理大教授 岸 楯夫氏を本人の承諾が得られれば特別会員とする。  
岸氏は、元神大教育学部助教授で姫路分校水泳部の指導もされ、また選手として団体で優勝されたこともある。  
現在、奈良県水泳連盟理事長を兼任。
  - ・ 凌泳会会則第4章に第22条「総会の議長は、会長がこれにあたる」を付加する………昭和59年5月27日 発効。

(ロ) 水 泳 部

- 58年度 活動状況並びに戦績報告
- 58年度 会計報告 59年度 予算案
  - ・ 部員負担が1人当たり、年間10万円近くなる。
  - ・ 凌泳会援助60万円が達成できれば、遠征費にあてたい。
  - ・ 部員紹介
  - ・ その他
  - ・ プール環境整備に関し、OBの力添えを頂ければ幸い。

# 会員からのお便り

## —— 総会案内状返信より ——

○大童 一男(特)

当日は研究会等で東京に出張して不在になりますので欠席いたします。

○白山源三郎(大10 高15)

病気療養中です。

○川北 正喜(大13 高18)

今月は卒業60周年記念に元気で白浜旅行にも参加致します。

○三井栄三郎(大14 高19)

御盛會を祈ります。気持だけはまだ若い気で、ジョギング・ゴルフに精を出し時に、水泳場へも冷水浴のつもりで行きます。あと10年は続ける覚悟です。皆さんの御杜健を祈り上げます。

草々

○足達 英彦(大14 高19)

今年1月で満82才になりました。今年始めより急に体調が妙になり医者通いです。薬をのんでいるのだからもっとシャントなる様にして下さいと言うと年だよ相当だよとのん気に言っています。

○植木 実就(昭6 高25)

郷里の妹が病氣為、留守でございますので失礼致します。

○草野 嘉一(昭7 学1)

昭和6年～14年卒の在京の連中が「凌泳春秋会」と称して春と秋に集まっています。

Memberは11人ですが、毎回8人位集まります。この5月16日の会合には体調をこわしていた福永拓造君も出席とのことで楽しみにしています。

○宮本 伯夫(昭9 学33)

会社を辞めてからは東京の日本クラブとアイアンクラブに遊びに行き(週2～3回)、又ゴルフは週1回袖ヶ浦コースに行き目下下手な囲碁をボケ防止の為に勉強していますが上手になれません。矢張り年は争えないです。お蔭で体は至極違者です。皆様の御活躍を遙かに祈っています。

○本間孝之助(昭10 学4)

昭和57年9月1日 Open 札幌市中央区サンシャインビル内にDiving & Swimmingプール及Athletic gym, Dancing room其他、サウナ、ラウンジ等を完備した施設を、公開して居りますので、御来札の節は是非御立寄り下さい。

○池谷 俊一(昭10 学4)

体調も大分回復しましたが、尚要注意ですので残念乍ら欠席します。各位によろしく。

○小池 三郎(昭11 学 5)

久しくご無沙汰しております。凌泳会もいよいよご隆昇の趣大慶に存じます。小生も元気に終始しております。遥かにご盛會を祈る。

○伊藤 英二(昭13 学 7)

現在のところへ越して6ヶ月がたち、漸く環境にも慣れたせいか頗る元気で毎日を過ごしています。太田正元君から室内プール行を誘われていますが決心つきません。但し、体力維持と趣味を兼ねてゴルフは週2回を目標に努力しています。

○富岡喜一郎(昭13 学 7)

よる年波で、細々と余命を送っています。

○太田 正元(昭13 学 7)

母校の懐しい水泳部各位の御健闘を祈り上げます。会社をやめ、毎日が日曜日です。又、温水プールの水泳を始めました。学生時代水泳をしてよかったと思っています。東京の凌泳OB会には是非出席したいと思っています。

○福永 拓造(昭14 学 8)

昭和57年9月から昨年11月迄、健康を害して入退院を繰り返して居りましたが、最近漸く元気になり小旅行等も可能な程度に健康を回復しました。病中は通信その他万般に亘り不義理致しましたことをお詫び申し上げます。

○大内 義仁(昭14 学 8)

肥満を避けるべく減量作戦中にて75kgから70kgにダウンして歩く姿が良くなったとの評を得ています。凌泳会諸兄のご健在を祈ります。

○山川 初雄(昭16 学 8)

相変わらず元気でやっていますが、本年早々から左膝を痛め目下治療通院中です。医者は老化現象だといっていますが小生まだまだテニスが続けていくつもりです。但し、現状は残念乍らテニスは中止して専ら治療に専念中です。

○満野 公介(昭14 学 8)

日頃は御無沙汰致しております。毎日、元気に過しております。今年もいよいよシーズン幕あけが近づきました。皆様の御健闘を祈ります。総会は都合により欠席させていただきます。

○大西 真博(昭15 学 9)

お蔭様に元気に過しています。これも学生時代水泳を一生懸命やったおかげと感謝しています。皆さんもどうぞ頑張って泳いで下さい。

石段を上りて広き校庭の芝生に伏して海を眺むる 初夏の風を受けつつ茅渚の海 青空の下  
波のきらめき

○森 芳夫(昭16 学10)

家内の身体の具合が良くありませんのであまり外出しません。皆様に宜敷しくお伝え下さい。

○山口 宗樹(昭16 学10)

当日私用にて秋田出張が決まり申し訳けありませんが欠席致します。

お蔭様で元気に毎日を過ごして居ります。会員皆様の御健康を祈り現役の皆様の御活躍を期待致します。

○前田 寿(昭16 学11)

御無沙汰しています。幹事の皆様御苦労さまです。総会はよろしく御願います。御集まりの皆様宜しく。

○尾上 信三(昭17 学12)

御無沙汰のみ致し居り申し訳ありません。体が不自由(リウマチ)のため中々力が出ません。皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

○岡本 忠男(昭17 学12)

福岡県議会議長に就任して目下、多忙の為残念乍ら出席できません。会員の皆様によろしく御伝言下さい。

○荻野 茂希(昭18 学13)

絶好の水泳シーズンとなりました。今年も又皆様の御活躍を期待しております。

昨年7月より第一線を退き自宅にて愉しく余生を送ることにしました。趣味が多いので退屈することはありませんが、何か役に立つ仕事をしたいと思っております。御出席の皆様によろしく。

○冨中 暁(昭18 学13)

相変わらず『昨夜のアルコールは今日、サウナと水泳の汗で出してしまった(都度1.5～2.5kg減量しているのは事実です)ので、今夜新しいアルコールを』と云う悪循環が日常生活のベースとなっている御粗末な状況ですが御蔭様でまだ健康は大丈夫な様です。

○三宅 林(昭22 学16)

会計報告も一つの勉強ですから、神戸大学の名に恥じぬよう、しっかりやって下さい。皆様によろしく。

○石井 義章(昭27 学22)

遂に55才、定年の年になりました。気持は30代ですが、腹が出て来ました。減量しようと毎朝裏山へ登っていますが、飯がうまくて一向に減りません。

○今井 政一(昭24 専1)

年も取る程に水に親しむ機会も段々と少なくなって参ります。只、皆さん若い方の健闘の報告を見せて頂いて喜んでます。今年も大いに頑張って下さい。参集の皆様宜敷く。

○岡山 道雄(昭28 E1)

本年3月1日付で(株)市況情報センターへ出向しました。仕事は従来と同じようなコンピュータ関係です。

○田淵 五郎(昭30 B3)

総会御参集の皆様宜しく。何とか元気に過ごして居ります。今年も水泳部の活躍を期待しています。

○佐藤 一夫(昭30 J3)

今年こそは極力凌泳会の会合に出席したいと思っておりましたが、生憎、5/26から米国出張

の予定につき申し訳ありません。自分では若いつもりでも、周囲の状況では何時肩をたたかれても不自然でない年頃になり、働けるうちが花の心境です。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。

○堂本 直正(昭30 T 3)

福岡にて3年目と相成ります。当地では岡本先輩と大分県中津の溝口兄と交際がございます。当日の盛会を祈ります。皆様のご健勝を祈ります。

○増井 幸蔵(昭30 S 3)

毎年 失礼しております。

○冨岡 道雄(昭31 B 4)

東京在動中は役員を仰せつかりながらお役に立てなくて申し訳なく思っています。大阪での仕事が少し落ち着きましたら凌泳会の方へ出させていただきます気持ちを持っておりますので、今後とも宜しく願います。小山会長、石井大先輩をはじめ皆さまに宜しくお伝え下さい。

○松田 司朗(昭32 J 5)

先日ロスより岡田昌三君が来宅し、一緒に泳ぎに行きました。尚、当日私共旅行の予定で出席できず残念です。皆様に宜しく。

○山口 仁郎(昭32 B 6)

雪の多い冬でした。スキー靴も革よりプラスチックとなり、五月晴れの八方尾根を3日間楽しんできました。勿論、顔は真黒、家島の漁師はアキレ顔です。当日は相生市にてペーロン&ヨットレースがあり欠席します。皆様によろしく。

○岡見 晴児(昭33 J 6)

職務の関係で出張多く、総会にはご無沙汰申し訳ありません。4月末より1年半振りに米国へ出張、道行く車が小綺麗になったことから景気回復の兆を感じました。不節制な生活乍ら健康なのは諸先輩のシゴキのお陰と感謝しております。ご出席の皆様によろしく。

○高橋 靖周(昭33 E 6)

皆様お元気ですか。去る2月、20年振りに六甲の学舎を訪ねました。周囲の変容振りに驚くと共に、三学部の学舎や校庭が昔のままであることをみて安心いたしました。ことに懐しいプールをみたときには、すぐにでも飛び込んで泳いでみたい衝動にかられました。私も九州で元気にやっております。皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

○岡村 司(昭34 J 7)

本年4月1日より今迄の神戸勤めから岸和田市へと転動しました。神戸在動中は石井様他殊の他お世話になりました。お礼申し上げます。

○山本 哲弘(昭34 B 7)

皆様によろしくお伝え下さい。

○村岡 英樹(昭35 B 8)

六甲台のプールをときどき思いだすことがあります。合宿が終って喰った三宮バラライカのピロシキとボルシチスープの味を思いだすことがあります。私もあと3年で齢50才。ある阿保の一生を私なりに真剣に生きております。若い皆さん頑張って下さい。

○奥野 吉矩(昭35 E 8)

名古屋在勤中(既に3年になります)に一度は出席させていただこうと思っておりましたが、未だに果せずにおります。ご出席の皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

○原 謙三(昭35 B 8)

40台も半ば過ぎまして体のあちこちに不調が出て参りましたので健康維持の為を思いこ半年程週1回プールに出向いて泳いでおります。本年度のご活躍をお祈り致します。

○酒井 孝栄(昭36 E 9)

昨年4月に当地北海道札幌に転勤以来1ヶ年が過ぎました。寒さ厳しい冬が去り、これから半年誠に快適なシーズン到来という処です。出席会員各位の皆様によろしく。

○井上 隆史(昭37 B10)

禁煙をしたら肥満気味になるので水泳を再開し、5~6回/月は泳いでおります。50mを1分位のペースで泳げるところです。体力の衰えを防ぐためにももう少し、泳ぎたいと思っています。

○萩原 武(昭37 T10)

拝啓 御案内をいただきありがとうございます。おかげ様で元気で居ります。プールからすっかり縁遠くなってしまっていて毎日中年サラリーマンの苦汁に満ちた生活を送っています。この御正月に博多におられる堂本さんと御会える機会を得ました。山田兄や前田兄には今に致るも御無沙汰しっぱなしで申し訳ないと思っています。

○米田 啓裕(昭37 P10)

ようやく夏に向かってきて六甲台もプールも活気を帯びてきたことと思います。総会の御案内ありがとうございます。欠席させていただきますが御盛會を祈ります。今年は、日本海で泳ぎたいと思っています。

○丸山 昱也(昭38 T11)

岡崎からの帰途寄る予定ですので遅刻するかも知れませんが、とにかく出席致します。

○藤岡 治男(昭38 P11)

前略 いつもご案内いただいておりますながら欠席ばかりで申し訳ありません。小生 勤務の関係で日曜日の出勤が多く勝手ばかりしております。夜泳会及び神大水泳部の益々の発展を祈念します。

○手嶋 忠之(昭41 S14)

本年も失礼させていただきます。皆様に宜敷くお伝え下さい。週に二回程大学のプールで泳いでおり、先日は東海マスターズに出てみました。100m個人メドレーを泳いでみまして1分24秒。次回はもう少しタイムを縮めたいと思っております。本年も益々御活躍下さい。

○阿部 洋三(昭42 T15)

いつの間にか30才最後の年となり、なさざる事のあまりの多さにガクゼンとしている状況です。最近はおっぱらストレス解消のために泳いでいる状態ですが、100 Buは1-15-0ぐらい、200 Buは3-00-0ぐらいのタイムで泳いでいます。

○玉置 明(昭45 E18)

凌泳会行事には毎席欠席の次第で誠に申し訳ございません。当地では酒井先輩もおられ、共に仕事に遊びに元気にやっています。小生は週に一度近くの温水プールに通い1000~1500m泳ぐことにしています。

○井上与志男(昭47 J18)

4月から財務部に異動、12年間の営業部門から一転、一日中デスクワークの毎日です。今年も現役諸君の御活躍を祈ります。悔いのない青春をみなぎる若さと力でそしてナイーブな心で精一杯頑張ってください。

○小林 育夫(昭46 T19)

昨年より民間のアスレチックセンターに加入して、日常の運動不足解消のため2週間に1回程度、チャプチャプ泳いでいます。

○家本 博一(昭50 E22)

本年7月下旬より約2ヶ月の予定でポーランドに参ります。現在、その準備をいたしております。

○丸末 一之(昭52 E25)

凌泳会東京支部の幹事を仰せつかり、現在6月1日の支部総会の準備に追われています。関東地区へ転居、引越等された方があればご連絡下さい。

○小林 正文(昭52 E25)

気候温暖 風光明媚の松山でのんびり過しているせいか、また一段と腹まわりの肉付きが豊かになったように思います。今年も良い成績を目指して頑張ってください。

○平石 康(昭53 P26)

5月7日に子供が生まれました。男の子です。名前は「健」二人あわせて「健康」です。週2回スイミングに行っています。今年も現役のみなさん 神戸大学水泳部の名を全国にとどろかせよう!!

○酒井 正人(昭53 A26)

小学校での教師生活3年目、今年は3年の担任になりました。ますます充実した生活になりそうです。

○平野 輝雄(昭53 P26)

今年は小学校3年を担任しています。今までずっと5.6年中心であったのが、やっと希望がかなえられました。子供がかわいくて、かわいくて、学校へ行くのがとてもたのしいです。後輩諸君練習がんばっていますか、今年もがんばって、よい成績を上げてな。

○後藤 信人(昭54 B26)

相変わらず会社の水泳部でがんばっています。今年は80名の部員を率いてキャプテンの重責を負わされています。

○木下 修一(昭54 P26)

生きています。

○館谷 彰司(昭55 T28)

歴代10傑表から同期の顔が今にも転げ落ちそうなを見ると、現役部員みなさんの頼もしい姿が目に見えそうです。今期も良い戦績を期待しております。

○中尾 稔(昭55 J28)

昨秋 社内で水泳部を結成 月2回の割合で泳ぎにしております。当日は都合で参加できませんが、皆さんによろしくお伝え下さい。

○土井 祐二(昭55 J28)

結婚して1年やっと落ち着きました。

○上田 剛弘(昭56 B29)

新年度を間近にひかえ用意万端、新気一転の心の準備ができたところへ突然、配属替えの通知が出て、只今、プロ野球ニュースも見れない日々を送っております。今年も現役でがんばりたいと思っておりますので顔を出した時は、極楽面にでも入れて下さい。

○芝 暢彦(昭56 E29)

卒業後1度も顔を出せない状態ですが、華々しい戦績に、日頃の練習量の豊富さが感じられます。4月の異動で県庁の生活福祉部総務福祉課に配属されました。今年の水は特に冷たいと思いますが4年間の努力が就職後いろいろな形でプラスとなるように思います。

○荻幸 弘樹(昭57 P28)

健康のために暇を見つけては泳いでいます。

○富岡 洋三(昭57 B30)

私の職場にもいよいよ40年代生まれの新入社員が入ってきました。思わずため息の出る今日ごろ

○後藤 芳光(昭57 E30)

総会当日、会社部内の親睦を兼ねたテニスツアーがありますので欠席させていただきます。

○白子 靖則(昭57 B30)

早いもので卒業してもう3年目になりますが、卒業後一度も総会に出席したことがありません。今年こそはと思っていたのですが、あいにく当日、社内旅行が予定されており出席できません。近くにいますのでまた立寄りますので何卒ご容赦下さい。ご出席の諸兄によろしくお伝え下さい。

○土井 紀子(昭57 P30)

なんとか仕事と主婦業を両立しています。

○金 一波(昭58 E131)

当日 エージグループの試合のため残念ながら出席できません。結局水泳界から足を洗えず、本格的に鳴尾スイミングスクールのヘッドコーチとして明日の神大、そして日本を背おい世界に通じるトップスイマー育成のためがんばっております。近くにおよりの際はぜひ泳ぎに来て下さい。

○杉野 誓(昭58 T31)

卒業して2年目というのに一度も泳がずにいます。最近、腹も出てきました暇を見つけて泳ぎたいと思っています。六甲台にお伺いした折にはよろしく!!

○久保田勝己(昭59 E32)

今度、泳ぎに行きますのでよろしく。

○長崎 真人(昭59 B32)

なぜか大阪本社に配属され、株式運用の仕事をしています、わからないものはわからないもので、毎日怒られてばかりです。練習、試合にはできるだけ顔を出すつもりなのでヨロシク。

○吉岡 宏之(昭59 J32)

現役諸君! 頑張ってますか、あの冷たい六甲台プールでも泳ぐことはないと思うとうれしくもあり、また自分のお腹を見るにつけ寂しくもあります。私の方は夏の水泳シーズンにそなえるべく空手部に入部しました(練習はまだ一回しか参加してませんが、今年の夏には、まだまだ君らには負けなところをお見せします。当日参加のOBの方々にもよろしくお伝え下さい。

○呉竹 正人(昭59 J32)

YHP高井戸営業本部営業管理部経理課で働いております。また、水泳部に入って、時々弥門さんにプールに連れて頂いています。

○谷水 利行(昭59 J32)

どういうわけか こんな私でも、社会人としてこの4月より立派(?)にお仕事に励むこととなり、学生時代がなつかしく思われます。神戸に帰りたいナと思うこともありますが、多忙ゆえなかなか実現しません。月見の宴にはOBチームの一員として現役を負かすべく今から体力づくりでもしようかと考えています。

主務の黒川君 ゴク로우サマです。

PS 関西弁をバカにされつづけて50日頑張ってます!

○藤田 弥門(昭57 準)

今年も元気でやっています。毎年この時期は出張が多く、今も長崎のホテルで書いています。呉竹君と寮のフロアが同じで、たまの休日には泳ぎに行きますが、あいかわらず休憩が長いですネ~! また、東京にでも来たら遊びに来て下さい。

## —— 月見の宴案内状返信より ——

○犬童 一男(特)

○溝口 卓郎(大13 高18)

本夏の猛暑には辟易しましたが、先は恙がなく消光して居ます。齡の故で脚腰の衰へは止むを得ぬ所と諦めては居ますが、外出が億空になって困ります。出席の諸彦によろしく。

○川北 正喜(大13 高18)

幸い元気で、先月も北京への船旅びで、デッキプールで泳ぎました。

(デッキプールに ハナ路の願い 泳ぎけり)

○木村 芳雄(大15 高20)

有難いことに病氣らしい病氣にもかからず、仕事にゴルフに精を出しています。

○香山 孝一(昭6 高25)

毎日早朝午前5時過ぎから1時間半程歩いて運動不足を補って居り、毎年1.2回何処かの山へ登りに出かけて居ります。今年は8月に富士山へ登って来ました。皆さんによろしく。

○北條 貞夫(昭6 高25)

勝手ながら、欠席致します。年寄り並みに健在で居ります。皆様の健康を祈ります。御盛會も併せて。

○三吉 吉郎(昭6 専)

目下囑託、半日勤務で働いています。体調は良好です、毎年月見の宴に出席できません、誠に残念です。皆様によりしく御伝言願います。

○植木 實就(昭6 専)

郷里の妹が病氣の為、帰省中でございますので失礼致します。

植木は割合に元気でございます。

○草野 嘉一(昭7 学1)

お蔭様で元気しておりますが、泳ぐことはめっきり少なくなりました。年に一回、伊豆の海岸で泳いで昔し、住吉や御影の浜で泳いだ少年時代を思い出しております。あの辺は大変な変ぼうで今は泳ぐべくもありませんが……。 (1984. 9. 5 記)

○山田 常雄(昭7 学1)

毎日仕事に追はれています。それでも働けるだけ幸せだと思っています。月見の宴の盛會を祈ります。

○板野 亀八郎(昭9 学3)

主な戦績報告拜見、立派な成績に感心しました。特に全国国公立第2位、女子一部昇格は見事と申し上げる他ありません。小生一病息災、元氣です。

○宮本 伯夫(昭9 学3)

今年6月初めから風邪がもとで肺炎をやり、この夏は専心療養につとめて、漸く最近元氣回復しました。好きなゴルフも全然出来ず家でゴロゴロしていました。皆様の(現役の方々の)素晴らしい成績を拜見して驚いています。上筒井のプールで練習していた時代及私が神戸インターカレッジの主事をしていた頃の記録と比較して隔世の感です。皆様の御健闘を祈っています。恒例の

月見の宴には、欠席。皆様によろしく。

○本間 孝之助(昭10 学 4)

7コース 25m公認プール

巾 5m 長 25m 深 10m 潜水プール } を主眼とした

アスレチック施設を持つ下記 Sports Clubを経営し頑張っています。

〒060 札幌市中央区南3条東2丁目1番地

サンシャインビル株式会社 電話 011-222-3281

御来道、御来札の際は是非御立寄下さい。

○池谷 俊一(昭10 学 4)

今年は殊の外暑さも厳しいですが、お蔭で元気に過しております。3年前、脳こうそくで倒れましたが、現在は体調回復、後遺症もありません。水泳部員諸兄の御活躍御慶び申し上げます。益々の御活躍を祈り上げます。

○古賀 克己(昭11 学 5)

元気で過しております。OB会があるとのことですが、それには知った顔もあるかと思いますので、出席したいと思っています。

○小池 三郎(昭11 学 5)

月見の宴のご案内ありがとうございます存じました。毎年のことながら欠席いたします。早朝5kmの散歩など適当の運動をして足腰の強化に努めております。本年度はなかなか成績良好の由おめでとうご盛會を祈ります。

○山村 宮男(昭12 学 6)

社会党知事の福岡県で、凌泳会(昭17年卒)岡本忠男君(自民党)が福岡県議會議長として大活躍されております。

今般 福岡県総務部長に就任の凌霜会(昭38年卒)富永栄一君の強い後楯となられる御意向と聞きました。

○伊藤 英二(昭13 学 7)

一応健康です。孫とプールで一皮むけました。週2回のゴルフも7.8月はさすがに暑く、6回宛でした。月見の宴に出席の皆様によろしく。

○富岡喜一郎(昭13 学 7)

脳硬そくで静養しています。

○岡野 巖(旧土屋)(昭13 学7)

御無沙汰ばかりしております。一度なつかしいプールサイドに行ってみたいと思いつつ、無精しております。諸兄の御健康お祈りします。

○太田 正元(昭13 学 7)

三井金属の関係会社の方を全部退任、目下は名誉顧問の肩書きだけとなりました。最近には友人たちと、よみうりグリーンクラブで、月・木・土と水泳をやり、麻雀をやり、健康だけは充分です。学生時代水泳をやった事、大いに感謝しています。

○大内 義仁(昭14 学8)

月見の宴、当日は旅行中のため欠席します。盛會を祈ります。今年の炎暑はプールの底に潜り込み、スイスイと泳ぎ廻りました。お蔭で元気に過しております。減量もマイナス5キロを維持して身軽さを感じております。

○中村 市治(昭15 学9)

9/12~9/20の間、中国(武漢-長沙)夜の古戦場旅行中。月見の宴出席出来ず残念です。

○大西 真博(昭15 学9)

水泳部で泳いでいた夏の朝より豪雨甚だしく石屋川近くの下宿から登校できず神戸市一帯は大被害となった昭和13年7月確か220ミリと言っていました。水害の恐ろしさを思いました。

神戸と言うと思うことです。皆さんによろしく。

○吉野 栄(昭15 学9)

うだる暑さにどうやら生きています。

○山口 宗樹(昭16 学10)

相変わらず健康に仕事とスポーツに精を出して居ります。今シーズンの皆様の御活躍を感謝して居ります。残念乍ら15日は欠席致しますが、御出席の皆様によろしく。 祈 御盛會

○前田 寿(昭16 学11)

散歩にジョギングは毎日続けておりますが、水泳は時々プールに行く程度で変化のない生活を続けています。

○平井 洋(昭16 学11)

沢山汽船を6月末退職し、相談役に退き、同時に東京の自宅に戻りました。これからが人生の収穫期です。

秋蟬や 晩年見えし通ひみち 洋城

○尾上 信三(昭17 学12)

健康回復に専心です。このため残念ながら欠席致します。皆様の一層の御健勝、御活躍を祈ります。

○荻野 茂希(昭18 学13)

ご無沙汰しています。今年もシーズン無事終了しホッとしておられることでしょうか。オリンピックも惨敗で世界との差は益々拡がるばかり、期退するのが無理なのかもしれない。本学の水泳部は既に来年に向けて第一歩を踏み出し、抱負で一杯でしょうが、とにかく仲良く、元気でやって下さい。

○富中 暁(昭18 学13)

気温38°の残暑に19°の水風呂は全く「快適」の一語に尽きます。従ってサウナ/水風呂/プールの滞留が長時間化しがちですが、元気にやっています。ヘルスクラブ談義はおいて六甲台のプールに飛び込みたかったのですが生憎今年も差支あり欠席致します。皆様の健康と御盛會を祈ります。

○浅野 博嗣(昭22 学16)

インカレ其他で仲々の活躍、たのしい限りです。青春の素晴らしい思い出をつくる為にも一層のご精進を祈り上げます。

○山内 利男(昭22 学15)

夏は、土/日泳いでいます。

○佐藤 鷹平(昭25 学20)

御元気で活躍のことお喜び申し上げます。この夏はホテルその他で比較的回数多く泳ぎました。元気にやっています。鈴木富夫がいなくなり淋しいのですが皆々様御身体は大切に。

○北野 誠良(昭25 学20)

本年1月にトーメンを退職、関連会社の伊賀上野カントリークラブに勤務しています。大阪から2時間アーノルドバーマでの設計した面白いコースですのでプレイされる方は是非一度御来場下さい。

○石井 義章(昭27 学22)

9月4,5,6日の3日間ユニバーシャード神戸大会のリハーサルを兼ねた、日本学生選手権大会をプールより観戦。坂東、川原田、後呂の3君並に水球の諸君の奮闘頼もしくも感じました。残念乍ら決勝には残れませんでした。何時の日か神戸の選手が優勝にからんで来る事を夢見ています。かつては浜川君の2連覇(昭25・26年50米自)もあるのですから

○中井 三郎(昭27 学22)

年令も考えず暴飲暴食が祟り十二指腸潰瘍と診談され、今更乍ら自分の不明さを反省しております。今にして思えば肉天婦羅、中華等十二指腸を痛める食物が好きで病気になるのは当たり前、これからは適応の運動と食事療法で元気に長生きしたいと考えております。

○佐藤 一夫(昭30 J 3)

本年度も立派な戦績を修められ、ご同慶の至りです。30年前に蛸の足大学で合宿以外は練習に10人そろうとも希でありながら国公立戦では田淵、榊原両先輩の活躍で上位に喰い込んだことを覚えています。今年は盆を利用して尿管結石手術を受けたため、夏休みはふっとんでしまいました。ご出席の先輩各位によろしく。

○堂本 直正(昭30 T 3)

遠くにおります関係上欠席させていただきます。当日の好天と盛会を祈ります。 9/2

○橋本 力(昭30 T 3)

昨年から高校の水泳部は水球を主とする方針にしました。大学と試合できるようなチームにしたいと思っていますのでよろしく。

○松田 司朗(昭32 J 5)

相変わらず毎月15回位は近くの温水プールで泳いでいます。皆様によろしく。

○細田 忠雄(昭33 E 6)

先のALL三菱水泳大会オーバー40 25米自由型に出場14.5秒、残念ながら着外でも来年はオーバー50に出場出来るので大会新の14.3秒を是非破りたいと今からはりきっています。皆さまに宜しく。

○岡見 晴児(昭33 J 6)

前略 今夏シンガポール・バンドー勤務を命ぜられ、8月15日赴任致しました。元気にやっている様子です。

○北村 敏(昭34 E 7)

最近、海外へ出ている時間が多くてプールや諸先輩にすっかりご無沙汰しております。先々パンコクからの帰途、栄川君に飛行機の中で会い大変楽しい時間を過ごしました。

○山本 哲弘(昭34 B 7)

一度出席したいと思いつながらなかなか参加できません。皆様によろしく。

○原 謙三(昭35 B 8)

殊の他暑い今年の夏にはホトホト閉じております。とはいえ週一回のプール通いは季節を問わず欠かしたことはありません。

○上村 久治(昭35 E 8)

本年も立派な戦績を収められおめでとございます。小生、昨年夏に現任所に引越しました。今年10月には近くにプールができることになっていきますので久し振りに泳ぎを再開したいと思います。月見の宴には残念ながら出席できませんが皆様によろしくお伝え下さい。

○柳本 正雄(昭37 B10)

今夏、久しぶりに息子供(高1、小6)とプールで泳ぎました。「月見の宴」残念ですが出張予定がありますので欠席いたします。御盛会であります様に。

○井上 隆史(昭37 B10)

今年の活躍は立派でした。全国国公立戦を30余名参加し、一体となって応援し力泳するのを見て感激しました。是非とも今後も多数の諸君が参加し続けたら良いと思います。先日藤沢市民水泳大会に出場したら50Br 49.0 50B 38.9でした。皆様によろしく。

○萩原 武(昭37 B10)

御案内ありがとうございました。御無沙汰ばかりで申し訳ありません。おかげ様で元気でやっておりますが、仕事の都合でどうしても休めず残念ながら欠席させていただきます。このシーズンも立派な戦績でおめでとございます。月見の宴ではさぞかしにぎやかになるでしょう。御出席の皆様にはどうかよろしく御伝え下さい。石井幹事長におかれましては大変長い間御世話になり厚く御礼申し上げます。

○浅間 啓介(昭37 E10)

すっかりごぶさたして居ります。東京地区の前回の会合にも出席できず残念でした。次回は参加したいと思っています。諸兄のご活躍を祈っています。

○林 莊八郎(昭38 E11)

7年間のブラジル勤務を終え、昨秋帰国いたしました。

○武政 英幸(昭39 B12)

今年は3回もプールに出掛けました。住い(京都の片田舎)を口実に六甲台より遠ざかっているこの頃です。

○丸山 昱也(昭40 T13)

当日をはさんで韓国へ業務出張の予定で、今年には行けません。悪しからず 皆様によろしく。

○中畑 勝明(昭41 B14)

今シーズンも立派な成績を上げられ、おめでとございます。来シーズンもより一層頑張って

下さい。今年の夏は余り泳ぐ機会もなく、もっぱらロス・オリンピックを見ておりました。月見宴は都合により欠席させていただきます。ご出席の皆様によりしくお伝え下さい。

○由佐 禎男(昭42 T15)

勤務先がかわりました。

○阿部 洋三(昭42 T15)

夏バテ気味で(サラリーマンにとっては夏が最悪)水泳の方も記録が落ち気味です。相も変わらず週2~3回泳いでいますが……。ロスオリンピックを見て、世界の一流選手のスピードにただただ恐れいています。

○井上与志男(昭47 J18)

8月の初めに待望の長男が誕生し、3人の父親として今は正しくテンテコマイの状況です。残念乍ら今年の月見の宴には出席出来ません。御出席の皆様にごぞよろしく。

○藤井 元洋(昭48 P21)

大人の企業的・個人的エゴの狭間で子どもは大いに悩んでいます。その悩みにつけこんで、国家主義、管理強化が教育を踏みにじろうとしています。今、大きな優しさを元にした人間の生き方を広げていきましょう。

○佐敷 定雄(昭49 A22)

今年も立派な成績だったと思うが、余裕のある勝ち方はできなかったように思います。オリンピックの年であり、相当ハードなスケジュールでしたから無理もないが、来年はセルフコントロールに気をつけて頑張ってください。最近 愚息が水泳に興味をもちました。ゴルフ・野球etcの銭になるスポーツをやればいいのと思っていましたのに。困ったことです。

○家本 博一(昭50 E22)

7月下旬より40日間の予定でソ連とポーランドに参っておりました。日本とはちがひ、晩秋あるいは冬ともいえる気候で少し体調をこわしてしまいました。みな様によりしくお伝え下さい。

○瓜生誠二郎(昭50 E23)

今年の夏あまり泳げませんでした。8ヶ月の娘に期待をかけていますが、今年はどうも行水と区別がつかない様です。ご出席の皆様によりしく。

○紫垣 和男(昭50 B23)

長期出張でご連絡及び年会費送金が遅れ申訳ありません。

○丸末 一之(昭52 E25)

7月に転勤してきました。今年の夏は、転勤そして引越と忙しく、ほとんど泳げませんでした。

○平石 康(昭53 P26)

国体にも出場したいけど「やる気はあるけど 体がついてこん。」でも、真っ黒です。テニス焼けです。

○後藤 信人(昭54 B26)

週に一回は泳ぐようにしています。時々400mブレ計りますが、コンスタントに6分50~7分です。この調子をあと10年は続けたいと思います。月見の宴 盛會を祈ります。

○酒井 正人(昭53 A26)

ここ数年、生活の中心は4つです。

1. 学校教師
2. 水泳指導員
3. 水泳選手
4. 家庭の大黒柱

以上がんばります。

○木下 修一(昭54 P26)

きょうも生きています。毎日 けなげな人生を送っています。私の生きがいは、神大水泳部諸氏の活躍の朗報に接すること、これに尽きます。皆さん、お疲れさまでした。マネージャーの方ご苦労さまでした。来年度もがんばって下さい。

○大林 良和(昭55 M13)

昨年、長女が生まれました。

○大野 智恵(昭54 P27)

遅くなってすみません。

○館谷 彰司(昭55 T28)

友人の結婚式に出席するため行かれませんが、立派な戦績、おめでとうございます。来年も目標をしっかりと持ってガンバって下さい。

○慈幸 弘樹(昭57 P28)

本年度の御活躍、ごくろうさまでした。私も暇をみては泳いでいます。御出席の先輩諸氏によりしくお伝え下さい。

○土井 裕二(昭55 J28)

参加できなくて申し訳ありません。皆様に宜しくお伝え下さい。

○桑本 万理(昭54 P28)

御無沙汰しています。今年4月から霞ヶ丘小学校へ転動しました。今度の学校はプールがあるので、この夏は子ども達と泳ぎ、まっ黒になりました。娘も2才になりました。現在、家事・育事・仕事と大忙しです。いつも現役のみなさんの活躍を羨泳で拝見してうれしく思っています。これからも頑張ってください。

P. S. 会費のことですが、以前にもらった払込用紙があったので8月6日に払い込みました。

口座番号は神戸12311です。お願いします。

○富岡 洋三(昭57 B30)

今年も好戦績の由、誠に頼もしい限り、それにひきかえ、オリンピックでの日本の惨敗は何たること。

これからは、勝負強さを身につける訓練が必要だね。

○後藤 芳光(昭57 E30)

川口市青木町公園プールで行なわれた全国国公立戦にOBになってはじめて見に行きました。活気あふれた部員をみて安心しましたが、一抹の不安も残りました。10月くらいから1年間の予定で、ジャマイカに行きますので、その準備のため、月見の宴には参加できません。皆様に、よろしくお伝え下さい。

○白子 靖則(昭57 B30)

今シーズンも素晴らしい戦績おめでとうございます。当日、社内スポーツ大会のため、悪しからず、欠席させていただきます。御出席の皆様によろしくお伝え下さい。

○土井 紀子(昭58 T30)

素晴らしい戦績おめでとうございます。女子もすごいなあと感心。感激しております。これからも頑張ってください。

結婚2年目をむかえておりますが、ちーっとも主婦らしくなく、まだ独身で通っています。今年、海とプールで3回程泳ぎ、500m泳いだけで息切れがし、気分が悪くなり、体力の衰えを痛感しました。

○太田 雅彦(昭58 A31)

今年、実験が忙しくて、仲々泳ぎに行くことが出来なかった為、Best が3つしか生まれませんでした。

○杉野 誓(昭58 T31)

今年、須磨で一度だけ泳ぎました。学生時代が懐かしい今日此頃です。

○鈴木 利一(昭59 T32)

現在、10月にある学会の準備で非常に忙しい毎日を送っております。

○吉岡 宏之(昭59 J32)

現役諸君 今シーズンどうもお疲れ様でした。私達が4年生の時に、文句ばかり言われていた現2回生の記録がかなり伸びているようで、非常にうれしく思います。私も、8月26日に行なわれた掛保大会で、50Bu、200個メ、2種目に優勝(タイムは聞くな)、会社のヒーローとなった次第であります。まだまだ元気、月見の宴では現役諸君に“吉岡健在”の姿を御覧にいきましょう。

○呉竹 正人(昭59 J32)

現役の皆さん、今季もごくろうさま。私、皆に心配されていますが、ちゃんと仕事やっています。

○松野 圭悟(昭59 B32)

難解な地方税法と格闘しています。当日、生憎職場対抗ソフトボール大会へ出場のため、欠席させていただきます。

皆様へよろしくお伝え下さい。

○谷水 利行(昭59 J32)

月見の宴には必ず行くからと、公言していたのに休みがとれず欠席させていただきます。OB対現役のゲームを楽しみにしていたのに残念です。

当日は私の分も、大狂乱して下さい。皆さんと会えるのを楽しみにしていたのに……。諸先輩方に宜ろしく。

○中坪 朋子(昭57 準)

何を間違ったか つくばEXPOのコンパニオンの合格通知を受け取りましたので、そちらへ行くことになりました。まだまだ結婚できそうにありません。筑波へお越しの際は、是非 声をかけて下さい。

○藤田 弥門(昭57 準)

昨年同様 今シーズンもすばらしい戦績 おめでとうございます。(兵庫インカレも気を抜かず 頑張ってください。)

日に日に、おなかの厚みと 仕事の厚みが増えて行く毎日です。(反比例かな?)

○藤本 栄美(昭59 準)

今は、ほとんど泳いでないので自慢の腕も、めっきり(?)細くなってしまいました。そのわりには、プールや海へ遊びに行き、黒くなっています。

やはり 学生時代が いいですねェ…………。

働くのは やはり しんどいです。

# 現 役 部 員 寄 稿

## 部員／ 自分自身に甘えるな／

主将 川原田 貢

私は難しい事を言おうとは思わない。私の述べたいのはたった2つである。

第1に、水泳部とは何かである。我々は大学生である。社会的にも大人として扱われる身分であるから各自、水泳部に対しての考え方も種々あって当然である。しかし、水泳部とは何か、水泳部が体育会として存在する最低の条件はであろうか。タイムが速い。水球がうまい……。そんな事であるはずがない。私は思う。水泳部が体育会である理由は、そこで“練習”が行われているからである。水泳部は芸人の集団でもなければ、コンパ好きの集団でもない。水泳部は“練習”を行う者たちの集団であり、それ以外のなにものでもない。では“練習”とは。練習とは 努力である。今の自分を乗り越えようとする努力である。与えられたメニューをこなすだけでない。自分の意志で現状を越えてゆくべく努力することこそ“練習”と呼ぶにふさわしいのである。そして部員の“練習”の上に水泳部は成り立っているのである。チームワークも同様だ。努力し苦しみ、自分が努力する苦しみを知らずに真のチームワークは成り立たない。部のチームワークは“練習”の上にあるのである。そして努力なしのチームワーク（私はこれをチームワークとは呼ばない）はなれあいでしかないと考えている。

第2にどうすれば水泳が速くなるのか？ それは、実に簡単なことではないだろうか。練習中のタイムを上げればよいのだから。ただブルを強くキックを強くすればタイムは上がるのだから。自分で速く泳ごうとすれば、タイムは上がるはずである。なぜそれが出来ないか。それは練習中に自分の力の限界を自分で作ってしまうからである。最後までたないだろうと思って、自分でセーブしてしまうからだ。この気持ちをどれだけ少なくするかが、タイムを上げるすべてである。私は思う。3時間のただ泳ぐ練習よりも、30分間の充実した練習の方が効果はあると。

非常に、あたり前の事を書いていると思うが、このあたり前の事さえすれば、確実に、チームは強くなると信じる。シーズンを向かえるのにどうか、胸に手を当てて考えてみてほしい。

## 「あらあら日記」より

現 役 部 員 一 同

……あらあら日記より抜粋……

6/12 あらあら日記 復活ノ

6/13 今までMr. が、ひとりでかべうちをやっていた。このCLUBは、一番ポロのうまい人が一番練習しているような…… 何かヘンだな～？

6/13 最近、あまりにも毎日が平～和すぎて、何かいいことないかなあって思います。何かい～ことないですか？

6/15 ミーハな私が思うには、吉川晃司のおかげで水球というPORTSの知名度は150倍くらい高まったと思うのです。

6/19 みんなガンバレヨノ

—— 当分来れないOB ——

6/20 おとといで22才になってしまいました。きのうはバースディパーティーでした。今までで最高の誕生日です。エヘヘ。

6/22 水泳部にいて困るのは、夏休みに派手に遊べないことですねえ……。…(中略)…  
まあ 夏の10ヶくらいかまわんやんけノと割り切ることにしています。

7/4 ヘー、こんなノートがあったんですねー。私、ちっとも知りませんでした。

7/5 伸び悩みの人は、むちゃくちゃあつい日に、マラソンやってぶったおれて、叫ぶのだ。  
ああー青春ノ

7/21 “彼”は突然やってきた。“彼”がやってきた時、皆一瞬ア然としたが、辻の狂喜で我に帰った。そう、彼の名は“OFF”である。

7/23 ……いじめられても、いじめられても、少女は通いつづけるのであった……

8/4 久しぶりに登場しました。何か内容のあることを書かねば……………(熟考)……………

……………(眠気)……………次の登場をお楽しみに。失礼。

8/23 南谷と川島は、教採の一次に通ったらしい。彼のあのえらそうな顔が目につく。

8/25 「自分は遅いからあかんわ」なんて思わないで、みんなインカレを目指して頑張って下さい。もっと自分を信頼して、自分の才能にうぬぼれるだけの凶太さを持って、クラブをやっているってほしいと思います。

8/26 このCLUBが大好きです。いやなところも欠点もあるけれど……。それをおぎなってもあまりある楽しさがあります。本当にこのCLUBが大好きです。多分これからもずっと……………ネ！

8/27 あーっ 夏休みが終わってしまう。私の学生生活最後の夏休みは、クラブと共に始まりクラブと共に終わるでした。

8/29 僕 辻です。

9/14 まだ神大は雑兵の集まり。近代化される前、蒙古来襲以前の“我こそは……”というものである。“いざ”と名のりをあげ、1対1で決闘し、それが戦争の勝負を分けた頃の雰囲気。まだまだ強くなれる。可能性を秘めている。

9/14 このノートに初めて登場さしてもらおう。シーズンが始まって“あっ”という間に明日月見の宴である。俺にしてみれば三度目の夏が過ぎようとしている。本当に一年は短い。ついでこの間入学した気がするのに、すでに3回生のシーズンが終ってゆく。シーズンが始まる時はアレをやってコレもしてと思っているが、終わればアレもやってない。コレもやってない、反省ばかり……。一年生よ！ 時間は無限ではない。大学生活は短いぞー！

9/20 暇だ。怠惰が細胞の間を埋めてゆく。自然のままに眠ることにしよう。

12/6 皆さんは、満員電車の中で耳もとに息を吹きかけられて、悦びに震える(?)といった経験はありませんか？

12/14 退院してちょうど一週間、本当に皆さん御心配をかけてすみませんでした……。御見舞に来てくれたみんな、ほんとにありがとう。入院して初めて健康であることのありがたさ、友達、先輩、後輩の大切さがしみじみとわかったんです。みんなには心底申し訳なかったと思うし、感謝しています。事故は恐ろしいんです。みんな ほんとーに気をつけて下さい！

12/17 なんで自分の記録くらい覚えてないんですか？ そんなものはいつ尋ねられても即答できるようになっているのが当然です。い—ですか。即答できるようにしておくのではなく、なっているのです。自分が一生懸命やったことの結果なんですから、もっと大切にしてください。

12/20 '84から'85にバトンタッチ！何かを変える絶好のチャンスです。

12/21 この日記、少しもの足りなく感じられます。日記につながりがないような気がするからです。みんな気がついた時でいいから、他人の文章の下に自分の意見を書いたらどうでしょう？何となく壁に向かって話をしているような気がしてならないのです。真剣に本心を打ち明けても、誰も反応してくれないとしたら……、これは非常に悲しいことだと思います。

このようにして、1984年は過ぎていきました。みんなが様々な事を書いています。そのどれもが、作者や書かれた時期などを良く表わしていて、生き生きとしています。今年も、一層誌面が充実して、水泳部の思い出がたっぷり詰め込まれた、そして、部員間の連帯感をより高めてくれるようなものになってくれることを期待します。  
(某愛読者)

## 「我が愛する水泳部へ」

### — 昨年度卒部者より —

昨年度は、個性豊かな先輩方が15名も水泳部を旅出っていられました。卒部にあたり、それぞれの「神大水泳部」を語っていただきました。

(B33) 吉田 不二彦

水泳部が好きだった。気に喰わない先輩や可愛気のない後輩もいたが、それでも水泳部の為なら何でもできた。だからこそ入部して以来、「アイツがいないとクラブはダメだな。」と呼ばれるような男に成りたいと、ずっと思い続けて来た。

もちろん、泣きたくなるような事も、やめたくなくなった事も幾度もあった。自分の性格的にソリが合わない為に退部していった後輩もいたし、負けて口惜し涙を流した事もあった。栄光の思い出より、イヤな思い出の方が多かったかもしれない。

けれども、このクラブで主将として頑張ることができたことを、今までの自分の人生最大の誇りに思う。自分のような小心者を主将として補佐してくれた同輩、叱咄激励して下さった先輩方に心から感謝したい。

後輩には次の事を望む。自分が水泳部の為になんができるかを常に考えて欲しい。試合で得点を挙げる事が全てではない。必ず何かできることがある。他人に認めてもらえなくても、クラブに貢献

しようという気持ちさえあれば、何かクラブから得られるはずだ。

水泳部の今後の健闘を祈る。

(P33) 南谷 昌宏

身を切るように冷たいプール。木の影になって日当りの悪いプール。バーベルをかかえて沈んだら溺れそうな深いプール。泳いでいる手に枯れ葉が絡みついたプール。緑に濁った水中を泳いでいて壁に頭をぶつけたプール。先輩によく足をつつかれながら泳いだプール。もうこのプールで練習することはありません。

入部した頃、平泳ぎしかできず初心者に近かった私にとって、大学の練習はきつく、やめることばかり考えていました。もうやめよう、もうやめようと思いながらシーズンを終えると、いつのまにか水泳から離れられなくなっていました。今思えば、あの時やめなくてよかったとつくづく感じています。これが私がこの4年間に得た貴重な財産です。

誰しも途中苦しい時、やめたい時があるでしょう。なんでこんな練習するのか、自分にとって何の意味があるのか疑問に思うこともあるでしょう。しかし、水泳をやめたとしても、それにかわる価値あるものが必ず手に入るとは限りません。それなら、もう少し泳ぎ続けてみるべきです。水泳は必ず応えてくれます。

大した記録も残せなかった私でもこんな貴重な財産を水泳、並びに神戸大学水泳部から得ることができました。後輩の皆さんは、もっと素晴らしい何かを見つけて下さい。健闘を期待しています。

(B33) 浦野 敏明

4年間個人メドレーを専門種目としてきた私は、独断と偏見を込めて個人メドレーのすすめを書きたいと思います。水泳部である以上4種目を全て泳げて一人前であり、そのトータルである個メをいかに速く泳げるかというところに意味がある。また、練習や試合においても数々のメリットがある。第1に、これといった得意種目がなくても4つまとめると勝負できる。第2に、100m×20本という単調な練習でも、4種目5本ずつやれば気分転換ができて楽。第3に、ダッシュやインターの時何を泳いでも文句を言われない。第4に、個メで試合に出られない時は、他のあいていどの種目にでも出られる。また、4種目のうち4種目ともスランプということはまずないので、落ちこむことがない。そして最後に、個メのレースにはドラマがある。1人で4種目泳ぐわけだから、得意な種目もあれば苦手な種目もある。種目が変わる度に追いついたり追いつかれたり、抜いたり抜かれたりして順位がめまぐるしく入れ変わる。他の種目には見られないレース展開がある。これは、ドラマである。200と400しかないという点を除くと(私には都合がよかったのであるが)、何と素晴らしい種目であろう。種目を決めかねている人、初心者、それにスランプの人に、個人メドレーの練習をすすめます。(個メを種目にするかどうかは別にして)。きっと有効だと思います。

以上、好き勝手に都合のよいことばかり書いてきましたが、これらはすべて私見です。納得する人だけ納得して下さい。

また、最後になりましたが、先輩、同輩、後輩の皆さん、4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。これからもちょくちょくお世話になるつもりですのでよろしくお願いします。

(J33) 坂田 純孝 「酒 記」

神戸大学水泳学部を卒業するにあたって、4年間を振り返ってみると、主に練習、試合など、水泳で頑張っている図と、コンパで頑張っている図が思い出される。水泳選手が試合で頑張るのは当然であるが、頑張れば頑張るほどその後のコンパは充実する。僕などは充実しすぎて下級生の頃は、先輩から「おまえに投げ飛ばされた。」と言われ、上級生になってから後輩から「酒を飲んだら近づけない。」と言われた。迷惑を蒙った皆さん、どうもすいませんでした。

特に僕の記憶に残るものは、ほとんど1回のころのものである。新歓で先輩を投げ飛ばした、旭屋、曽根崎警察の前で大暴れし、父親も投げ飛ばした、気がついたら、八尾南駅で寝ていた、コタツの足を折ってしまった、後輩を怒鳴りちらした、肩ももんだ、頭突きもした。どれも、僕にとっでは良い(?)思い出である。最初、今日は酒は控えようと思う。少し飲んでいううちに、他の酒も飲み出す。この頃になると、もう楽しくてしかたがない。かってにコップが口へ動き、酒が無くなると手がかってにコップに酒をついでいる。だんだん人の声が遠くに聞こえるようになる。まだ自分は、しっかりしているんだと言い聞かせながら、フラフラと人からんでいく。頭の中では、正しい事を考えているのだと思いつつ、無茶苦茶な事を人に言う。そして増す増す飲む。気がつくと、どこかに寝ている、頭が痛くて起き上がれないこともある。いつも「しまった、又やってしまった。」と思う。誰か(たいていは浦野)に前夜の被害状況を聞く。迷惑をかけた人に謝ろうと思っても多すぎて謝りきれない。事件が一つ一つと積み重なっていく。こんな人間を飼っておいてくれた神大水泳部に、感謝の気持ちでいっぱいである。

(M33) 南 宏尚

私が水泳部という集団に属していたことに何か意味があるとするならば、私が水泳部に何かを与え、私が水泳部から何かを与えられていたという事実には依らねばならぬ。私は多くの仲間から色々な恩恵を被った。情熱と闘志、親愛と友情、そしてささやかな狂気——それらは皆、今日の糧ともなって私の勉学心を燃え立たせてくれている。心残りは私が水泳部にとって決して好ましい存在ではなかったことである。礼拝のため試合に行かない——このどえらい我儘を貫き通したのは、それが人間にとって第一義であると信じているからである。それが私の中に葛藤を生み、周囲に不審感を生んでしまった。もっと説明すれば良かった、もっと話しをしたら良かった、と今更ながら反省している。私個人の数少ない試合の思い出として、近国の二維のメンバーの一員として四年間で唯一の得点をしたことと、呉の全国で涙が出る程、必死で応援した事がなつかしいけれども、それよりも、部員が他者としてぶつかり合い、そして一体となって燃えることができた体験のほうが、私にとって素晴らしいものになると思う。最後に、これからも世話になるであろう同輩と、あの水あかでぬるぬるの風呂で私を回してくれた先輩方、そして得体の知れない私を慕ってくれた後輩諸君に心からの感謝を捧げたい。

(E33) 土井 健治

「航空力学的に見て、絶対に飛べるはずのないマルハナバチが飛べるのはなぜか」「自分は飛べるんだ、と思い込んでいるからである」自分が曲がりなりに青春の4年間を神戸大学体育会水泳部において得た教訓である。“思い込み”これ程人間の能力を限界以上に引き出すものはない。熱帯魚の如く潮騒に耳を傾け、サンセット・クルーズをエンジョイするような世界を夢想して入部した軟弱な田舎者ケーンが六甲のそら恐しく冷たい山水におびえ退部を密かに決心しても、既にほとんど沈んでいる体に、SMまがいのバーベルで全身を水中に沈めては退部を固く決心しても、ビールは水であるという伝説的大先輩の思想によってアルコール漬けの体で、かっぱのぎょうぎのにおいを発散させ女の子に嫌われても、4年間を泳ぎきったのは、素晴らしい先輩方のこんな教訓と個性豊かな素晴らしい同輩に恵まれたからである。

何度も退部を決心した軟弱者、けれどもやめられなかった。やめたくなかった。試合で勝ちたいと思うようになった。そんな素晴らしい魅力をいっぱいもらった神戸大学水泳部本当にありがとう。後輩諸君、力いっぱい輝け!!

(EII33) 池邊 正雄

四年間の水泳部生活を振り返って脳裏に浮かんで来る事は、若かりし一回生の時の出来事ばかりである。

というのも、私は第二課程に通う勤労学生(?)であることから、土・日曜の練習のみに参加し、満身に先輩や同輩の名前すら覚えられないという状態でしたが、試合とコンパには必ず参加し、唯一水泳部としての活動をし、又、全国国公立、兵庫インカレ、関国と多くの試合にも参加させてもらい、たまにしか練習に来ない私を、みんなが暖かく向かえてくれ、水泳部の一員として、有意義な一年を送らせてもらったからである。

そして、何よりも九州での全国国公立戦で全国2位という、神大水泳部史に残る輝かしい記録に私も少しではあるが力になれたというのも大きな要因である。

しかし、二回生になるやいなや練習・試合は御無沙汰で、コンパだけは必ず現れるという、幽霊部員となってしまったのである。

従って現役の部員の方々は私の泳ぐ姿どころか、水着姿を見た事がないという方がほとんどであろう。

そんな私が水泳部の後輩達に言う事は何もありませんが、とにかく練習に精を出し又、コンパの時にもおもしろい精を出し楽しく、有意義な四年間を送って頂きたい。

そして、水泳部を今まで以上に盛り上げ、神大水泳部史に残る輝かしい記録を残せるようにがんばって下さい。

最後に後輩諸君、娯楽の殿堂を忘れる事なく、お誘いをお待ちしております。

(P33) 川島 えみこ

私は1回生のおわり頃から手帳に1日のでき事を書きこむようになった。簡単な日記である。現

在4冊目。たまに読み返すと、シーズン中は「疲れた」「しんどい」の類の言葉が多い。確かにしんどかった。精神的にも張りつめていた。Br面でのキック練習によって足首の痛みがおこり、その痛みがとれる頃には本格的な試合が始まった。1回生は無我夢中だった。2回生で最良の状態だった。3回生でシーズン初期の泳ぎこみの大切さを痛感し、4回生で体力的衰え、他の理由でクラブ活動に挫折感をもった。ポロのパス練習をやっていたある時、浦野氏が言った。「男やったら、試合に使ってやるけどなあ。」今でもうれしい言葉である。大学に入って初めて泳いだBr。練習中に横波をたてる元凶として、Br面が迫害されたこともあった。Freeは少しも速くならなかった。時間を少し失って多くのものを手に入れた。

皆さんへ、努力は必ず実を結びます。自分の水泳を大切にして、どんどん高めて下さい。

今後の御健闘をお祈り致します。

### (P33) 坂東 美枝

今しか出来ない事って考えたことがありますか。5年たって、10年たって……きっと懐かしむような事。卒業が間近になって、急に実感がわいてきて、考えてみたんです。

「毎日毎日あきもせんと同じ顔ぶれの連中(失礼)と、アホみたいにしんどい目して、ひたすら灰色の底をながめて、たまには手を抜いたけど……体力の限界まで練習してー。あんなこともう、ようやらんな」こんな生活(浦野氏は、サル的生活と名づけました)社会人になったら、もう無縁なんだろうなって、しみじみ思い出してます。

あらあら日記を見てて感じたんだけど、「自分にとって水泳とは、クラブとは何か」「毎日の生活がこれでいいのか」って考えている人がいるみたいですね。でもそんなむつかしいこと考える前に「今しか出来ないことは何だろう」という根本的なことを考えてみて下さい。もちろんその答えは水泳部で得られないものである可能性は、あるけれど。

ずいぶん勝手な意見をいってしまいました。ごんげします。

私は神大のユニフォームに誇りを持っていました。もう、このユニフォームを着て“神戸大学”というチームでレースに出ることが、ないのかと思うと何ともいえない気持ちです。神戸大学の水泳部は最高でした。みんな、ありがとう!

### (P33) 越智 順子

水泳部のみなさまへ。

私としましては体育会水泳部なんぞに籍をおかしてもらってたのが妙な気がしているんです。実際に、泳いだ、といえるのは教養時代の2シーズンだけだったんですけどねえ。もうあんまり詳しいこと覚えてないんです。とにかく無我夢中だったし。強練や合宿で意識も朦朧と水中をもがいているとき「頑張れ、Junko!」って励ましてくれた先輩や同輩の熱い声。今でも耳にしみついで残ってます。こんなに苦しんで、つらい思いをしてるのに耐えていられるんだなーって。

はじめて六甲台の陸トレに参加した日、グラウンドを1、2周しただけで息を切らせていた者を、いつまでたってもクロールとはいえないヘンテコなフォームで、あえいでいた者をも、あたたかく

迎え入れて育ててくださった神大水泳部、ありがとうございます。

後輩の皆さん、あなた自身を、激しく愛してほしい。逃避しても楽にはなんないんだもん。  
ご健闘をお祈りします。

(甲南女) 平野 裕子

思い起こせば3年前の11月。当時寮に入っていた私は、貴重な一回生の前期を、お金を使いたくない一心で、学校と寮の往復を繰り返す毎日で終えてしまい、悔恨の念がムラムラと湧き起こって来た時だった。丁度、学祭シーズン。学校巡りをしていて私の目に飛び込んで来たのは華々しい看板を掲げたクラブや同好会の模擬店だった。その中で、男子大学生にはさまれながら楽しそうに働いていたエプロンを付けた女子大生達に、私は、どんなに嫉妬したことであろう。「私も、あんな女子大生になりたい！」これが、そもそもの間違いであった。

その後のクラブにおける私の失態ぶりは語るに尽くせない。狂乱、号泣、某先輩の保護者…etc  
クラブ内の私は、まるで怪人20面相のようにありとあらゆる人物に成り得たのである。別にならなくてもいいのに。しかし、反面、社会人になろうとしているこれからの私は、二度とこれらの変身が出来ないのだと思うと、やはり寂しい気持ちで胸がいっぱいになる。神戸大学水泳部は、私の女子大生人生を非凡にしてくれたと思う。そして、他大学在学というギャップを無視してくれたすばらしいクラブであった。

愛車だった(バイク屋さんへ売っちゃったの)ジョグで、バゴバゴと六甲のすばらしい街並みを通ってクラブへ通いながら、本当は、「一生この風景覚えておこう」と毎日考えていたことが、今、これを書きながらも懐かしく思い出される。平野裕子は案外、センチな女の子だったんだぞ。

結局、私の存在は、クラブにとって無くてはならない存在ではなかったけれど、私の大学生生活の中では、神大水泳部は不可決の存在だと確信する。本当に、三年間お世話になりました。皆さん、ありがとうございます。最後に、神大水泳部に幸あれ!!

(近大) 小田 ゆかり

あるスイミングスクールでの出会いをきっかけにして、突如水泳部のマネージャーをやらせてもらうことになった私……たった一シーズンだけでしたが、思い出は次から次へと甦ってきます。まずは、コンパで酒豪ぞろいに驚き、(すぐに免疫ができましたが)そして次の日の練習のみんなのつらそうな顔、印象的でした。試合では、より強い団結心が宿り、練習後の疲労感にも増してホッとした顔とは対象的!! シーズン・オフのソフトボール大会では練習ではみられない解放感に満ちあふれ……その中で私は、マネージャーの仕事を感じるのに必死でした。でも、初心者でありながら毎日の猛練習にむかっていたあの姿は、私のこれからの一生の肥しとなってくれるでしょう。

最後になりましたが、先輩、同輩の皆様には大変御世話になりました。そして、後輩の方々には今後、増々の努力と健闘をお祈りします。

神戸大学体育会水泳部 ファイト!!

(PS8) 織田 芳子

皆様、一年間どうもお世話になりました。初心者として入部して、インターには、ついてゆけず、練習メニューは半分もこなせず、すぐに腹痛を起こして休憩し、一人でコース占領してしまい、数々の御迷惑をかけるばかりでした。そんな私を、むしろ励まし、元気づけてくれたのは先輩方でした。特に、マネージャー、女子メンの方々の声援のおかげです。

これから私は、学校を離れて、社会という大海へこぎ出して行くわけですが、どんなしけに会おうと、嵐に会おうと、乗り越えて行こうと決心しています。そして、その原動力となるのが、水泳部で得ることのできた、ガッツと、皆さんの声援の思い出と思うのです。

(神戸女短) 島田 陽子

二年間はるばる九州から神戸の大学へ胸をときめかせて来たのがついこの間のことのように思えます。この二年間、本当にあっという間でしたが、神大の水泳部での事は私にとって忘れられない大切な思い出となることと思います。ことにシーズンの8月のさ中、帰省するなど、他の方々に迷惑のかけ通しだったにもかかわらず、いつも暖かく迎えて下さったクラブの方々には大変感謝しております。練習中、プールサイドから何ともいえない深いグリーンのプールをみつめて、水しぶきをあげて真剣に泳いでいる人達は一体何を考えて泳いでいるんだろうとか、私にもこんなに真剣にうちこめる事が一つでもあるだろうか等と色々な事を反省しました。本当にクラブの方々から受けた影響は鮮烈なもので、試合、練習の姿だけでなく、コンパ等で接したことなど、色々勉強になりました。

どうも二年間有難うございました。

(YMCA) 足立 小砂

私は水泳部にはいって夏が好きになった。てりつける太陽、白い水しぶき、黒いかお、おそろしいほどの暑さとだるさでDOWNしそうになりながらも、プールに行かずにはいられない夏、遊びに行きたーいと思いながらもバイクはいつか六甲台にむかっていた。そんな何かがあった水泳部。水泳部とはなれてしまうけれど、いつまでも夏の気分でいたい……と思います。

みなさんお世話になりました。これからもがんばって悔いのない泳ぎをして下さい。

\*\*\*\*\*

## 現役部員紹介

\*\*\*\*\*

毎年恒例の、現役部員紹介です。全て2回生(特にS)の責任におけるものであり、他回生は関知していません。

### 4回生

長かった学生生活も早いもので、もう残りあとわずか。来年からは社会人です。2、3回生が多い中、4回生は5人と人数的には少ないものの、持ち前の底力で、我々をリードしてくれています。

#### ◇川原田 貢; P34: 自: 洛南高

少しずつ変わっていく水泳部において、昔ながらの体育会気質の伝統を守り続ける彼。“彼の前には人はなく、彼の後にも人はなし”である。偉大なスイマーとして、偉大な主将として、部史の1ページを華々しく飾ることであろう。しかし、記録上の向う側にいる彼の本当の姿は、「したい、させて、〇〇〇」などの放言。酒が入れば大狂乱。もちろん、これらの事実は、部史の埋もれた1ページとなり、“素晴らしい主将”のイメージは永遠に崩れることはないだろう。人間だれしも裏表があるものである。

#### ◇黒川 良介; E34: 背: 六甲高

初心者として、大学から水泳を始めたが、彼の成長の軌跡は目を見張るものがある。近国体では昨年、遂に得点獲得を成し遂げた。彼はまさに初心者の鏡である。しかし、ひとたび水泳を離れると、彼は即座に仙人と化す。土曜のおだやかな昼下がり、午後の暖かな日差しを浴びながら、経済学部横のベンチに腰掛け、黙々と本を読みけている彼の背からは妖気さえ漂ってくる。そんな彼をかいま見る時、水泳は単なる趣味でやっているのではないかと思えるほどだ。今年は副主将として、いったい何をやろうとしているのだろうか?

#### ◇太田 久美子; L34: マネージャー: 川西緑台高

##### “Rock'n Rouge 久美子編”

グッと洗い軽四カーで	「ねえ待ったァ〜」としなを作る
髪にストレートパーマ当てて	鼻声混じり 色っばいわ
くさるほどもいる boyfriend	話しほどは固くないの
100万\$かけていい	アドレスには余白ないわ

横に流した目が少し いやらしいわ  
軽くそむけたら、ちょっとブルンと尻振った

'pure pure Hips' 気持ち 'イヤ〜ン'

ミーハー と言ったら 私のことよ

'pure pure Hips' 待ってて please

花びら色の(吉川)晃司に I will fall in love

◇木村 典子; P 34 : 自: 奈良高

彼女は実はその昔、“おやゆび姫”だったんですって。普通の人間になろうと一寸法師に＜打手の小づち＞を借りて振ったんだけど、途中で電池が切れちゃったので、現在の姿になってしまったんですって。でもね、彼女はとぉーってもパワフルでしっかりしているから、今年は女子面のリーダーの役をやっちゃうんだって、信じられるっ？ 彼女が必死に泳ぐ姿は「小さくてもいい。努力さえすれば、大きくなれるの。」ということを私たちに教えてくれるワ。でもコープランチを半分しか食べられないのに、ケーキとなると10コでも20コでもペロリとたいらげちゃうので、やっぱりみんなは彼女のことを“おとぎの国のアリス”だと信じて疑わないワ。不思議なお話ねえ〜。

◇小島 みか; T 34 : マネージャー: 神戸高

彼女こそ日本の＜マザー テレサ＞です。ひたむきに、ただひたすらタイムをとり続ける彼女の姿は、まさに後光のさした仏様のようです。しかし、これは今までごく一部の人にしか知られていない事実だったのであるが、あえて言ってしまう。それは、彼女が大変水分の多い娘だということである。彼女はレストランや喫茶店に入ると、異常に水を飲むのである。最低コップに3杯、夏などは、ひまさえあれば水を飲んでる。もうすでにお気付きのことと思うが、夏になるとプールの水が減って行くのは、すべて彼女のしわざだったのである。そう、彼女はあの＜おいしい六甲の水＞をひとりじめにしようとしているのである。十分ご注意ください。

3 回 生

かつてこれほど仲の良い学年が存在しただろうか。彼らの団結力の強さは水泳部史上始まって以来だろう。水泳部における彼らの存在は大きい。芸能企画部門担当のY氏、一般教養部門担当のN氏、そして、水泳部門担当兼、3回生全体を牛耳るM氏。彼らのチームワークは抜群である。3回生による新しい時代の新しい水泳部は、もうすでに始まっているのである。

◇島崎 昌彦; A 35 : 自: 神戸高

昨シーズンは、始めからいきなり指にケガをし、部員から「役立たずの ヤクン」と呼ばれながらも、主務の仕事を引き受け、ボロのジャッジのみに情熱を燃やす毎日であった。また非常に酒に弱く、少量のビールで全身を真赤にして、タラコになってしまう。何をやっても失敗の多

い彼にとって、唯一の自慢は、バイクと車である。しかし私などは怖くてとても彼のバイクの後には、乗る気になれないのである。また赤のスプリンターは、同回生H氏と、2回生Tのちょうど良いオモチャにされてしまっている。近頃では「主務の仕事はおもしろい」と聞き直っているが、人からののしられながらも、仕事に励む姿は我々の涙をさそう。

◇田中 真司；T35；自：竜野高

ぼくは、田舎の小さな村の出身です。ぼくの村にはジャスコもダイエーもありません。道では牛が昼寝をしています。プールは大学に入るまで見たことがありませんでした。ぼくは高校時代、片道2時間かけて学校に通っていました。みんなそれが普通でした。学校にはブタやニワトリがたくさんいました。でもぼくはこんな村が大嫌いでした。ぼくは3度のメシよりもマージャンが大好きです。真夏のくそ暑い日に、プールサイドでしたこともありました。でもぼくは夏はきらいです。冬の方が好きです。冬にはサッカーができるからです。ぼくはサッカーが得意です。特にセンター フォワードが大好きです。何と言っても目立つから…。水球の時は、強い巻き足を生かしてキーパーをやっています。どんなにすごいシュートでも何となく止めてしまいます。ぼくは試合を見ごたえのあるものにするのが、大好きです。でも手をぬくのは大嫌いです。

◇中川 善雄；T35；自：雲雀丘学園高

唐突ですが、ここでニュースをお伝えします。昨夜未明、川西市に住むお金持ちの中川邸に強盗が入ったようです。犯人は年齢20才前後、男前(?)で頭が良く(?) Ivyをこよなく愛しているとのことで、一年を通じ彼が身につけるものは、一流ブランドものが多く、中でもピンク系統が得意だそうです。犯人は変装が得意で、最近サングラスなどをかけ、大江千里をまねることもあるから、付近の住民は十分に注意して下さい。おっと、たった今はいったニュースによりますと、犯人は水泳をやっているらしく、昨シーズンはロング面のエースとして活躍、自己ベストを次々とぬりかえ、話題をよびました。また女性へのアタックも激しいらしいが、この方面での腕はあまり達者ではなく、失敗することが多いそうです。なお犯人に心当りのある方は、至急警察までご連絡下さい…。「そんなん言うかぁ〜!!」

◇浜田 昌己；B35；自：三國丘高

彼の趣味は、3回生S氏、2回生Tと組んで、夜の町に行くあてもなく、ただひたすらさまよい歩くことである。遠出の際、S氏の赤のスプリンターが、かっこの足となっていることは先にも述べた。その一座の座長を務める彼の素性はおもいっきり寒がりなのである。初夏のあの冷たい六甲台のプールの水に耐えきれず、リタイアすること数知れず、冬場はセーターやダウンで着ぶくれし、歩くのもつらそうである。それでも、いざ真夏のレースとなると、彼は変身してしまう。昨年の活躍は我々の予想をくつがえすすばらしいものであった。100m、200mはもちろん、リレーメンバーとしての地位をも不動のものにしたことは言うまでもない。今年は一いつall season制でがんばってほしいものである。

◇原田 久富美；A 3 5：個メ：明石北高

新しき明石のリーダー、彼の恐るべきパワーに捕えられたものはことごとくバラバラに、コーヒーシュガーにされてしまう。水球しかり競泳しかり、女もまたしかり。ただ私はひのえ馬も、じゃじゃ馬も乗りつぶす精力、そしてなによりゴジラのような〇〇〇にか弱い彼女の体が耐えられるかどうか非常に心配である。ところで、一見誠実で真面目な好青年に見える彼も、その底なし胃袋にアルコールが入るやいなや、その本性は明らかにされる。太古の地球の覇者、本能と欲望のままに行動するコナン・ザ・グレートを制止できるものは誰もいない。

P.S. かわいい彼女の影響からか、最近オシャレになってきた彼、そんな彼を今もっとも恐れているのは、何をかくそう同じ3回生の中で、一番おしゃれなN氏なのです。

◇日比 勝己；J 3 5：平：池田高

彼について、C.I.A. は次のようにレポートしてきた。

「+ Point : Kind, Stable, Intelligent, and Obedient.  
- Point : Too meek and Too keen REMARKBLE! He is a  
ficser in our club」

一方、日本政府は、これについて一切ノーコメントである。我々も詳細は控えておこう。読者も彼について思うことはいろいろあるだろうが、それぞれ心中にとどめておくことをお勧めする。尚この文章は30秒後に消滅する。 SECRET No 45613E

◇三好 岳；T 3 5：個メ：兵庫高

初めてこの人に会った時、その話し方から、しゅうとめではないかと思った人も多はず。しかし彼は友達の数、情報収集力（特にスキャンダラスなことにに関して）食う量、出席率、まゆ毛の太さ、体力、あらゆる面で、部員の誰よりもすぐれているのだ。どんなにつらい練習も平気でこなし、ガンガン泳ぎまくってしまう彼を止められる者は誰もいない。昨年は彼の地道な努力が実を結び、タイムをグングンのばしたが、その勢いは当分の間衰えそうもない。その上彼は非常に親切で、去年の1回生はよくいじめてもらって、たいへん感謝している。またあいさつをする、と、わざわざ首をしめにきてくれるという徹底ぶりである。'85年の水泳部は彼の両肩にかかっていると云えば過言だろうかねえ、三好さん。「なんやねん、おのれは。」

◇安井 啓史；E II 3.5：自：舞子高

モロゾフのチョコレートを人にプレゼントすることが趣味の優しい先輩である。筆者が女の子と三の宮を歩いていると、声をかけてくれ、持っていたモロゾフのケーキを渡してくれ、さらに、その事をわざわざ三回生の狂気のレーダー網M氏にTELで話までしてくれたのだ。もちろん次の日、筆者は集中砲火を浴びた。ニコニコしていて練習熱心な本当に優しい先輩だ。二課程で時間的制約を受けるが、今年は一層の飛躍が望まれている部員の1人である。

◇吉岡 成人；T35：蝶：港高

鮎ニモ負ケズ、餅ニモ負ケズ、秋の食欲ニモ負ケヌ丈夫ナ体ヲ持チ、性欲ハアフレ、決シテ抑エズ、イツモ静カニヤッテキル、一日ニ御飯四十杯ト、パント多クノ肉ヲ食べ、アラユル物ヲ自分ノ腹ニ入レ、弁天町ノ無料ホテルニ居テ、東ニカワイイ後輩ガ居レバ、行ッテ、ヤッテシマイ、西ニ元気ナ母アレバ、行ッテイイ子ヲ演ジ、南ニバーゲンアレバ、走ッテ行ッテ買イアサリ、北ニ鐘ガトマレバ、恐イカラヤメテ、ト言ヒ、ニバタン時ハ涙ヲ流シ、寒イボロハアラアヲ逃ゲ、ミンナニオ祭り男ト呼バレ、ホメラレモセズ、苦ニモサレズ、コウイウ成人サンニ、トールハナリタイ。

◇林 磨智子；P35：自：大手前高

サマー GALの彼女には、灼熱の太陽、トロピカルドリーム、そして心地良いレゲエが良く似合う。いつもニコニコと笑顔をたたえているが、その内側に秘められた、不屈の精神と、持ち前のパワーは、男も白目をむくほどである。昨年は高校以来の記録に別れを告げ、女子ロング面の第一人者、さらには水泳部全体を支える一つの柱とさえなった。その陰には板東さん直伝のパワーに同回生の熱い応援があったことを忘れることはできない。今シーズン、そのパワーが全開されることを期待している。

◇三住 千里；A35：平：竜野高

わたし、ミ・シュ・ミ。人は私のことを「ホッパタババア」って呼ぶわ。ほっぺたがふくれてるからなんだって。失礼しちゃう。冬になってから少し太っただけじゃない。わたしだって少しはやせようと努力しているんだから。それにわたしって反応かにおいんだって。3秒間待たないと答が返ってこないなんてうそよ。だってたった3秒間じゃ答を考えられないもの。最低2分は必要ね。わたし今年からはミーハーになるの。2回生のTちゃんの毒牙にかけられちゃったみたい。わたし平泳ぎをやっているの。だってこれ以外まともに泳げる種目はないもの。でも去年個人メドレーのときに泳いだバタフライは“かわいい”って好評だったわ。今年もがんばるわね。あっ、そろそろおやつの時間だわ、じゃあネッ!!

## 2 回 生

こちらは、3回生とはうって変って、良く言えばみんな個性的、悪く言えばみんなバラバラというまとまりのない学年である。今僕たちにとって一番必要なのは、まとめ役である、救世主(メシア)の出現を期待しつつ2回生の紹介。

◇有利 英明；E36：平：長田高

1に女、2にディスコ、3、4がなくて5に妹というボクは毎日が“キラキラ”輝いているのさ。ボクのまわりにはいつも黄金の蝶がとびかい、頭の上にはミラーボール、腰のまわりには女

性の匂いがブンブンしちゃってるんだ。ボクは今や今世紀最大の女殺しと騒がれた3回生N氏を  
もしのぐビッグスターに成長しちゃったよ。ポップな曲が流れてくると所かまわず踊っちゃうボ  
クは、やっぱり「芸能界にいちばん近い少年」かな。この前はさー、体育会気どりで頭をま  
るめっちゃって一大センセーションを巻き起こしちゃったけど、みんなから嫌がられちゃって困  
ってるんだ、オレ。ところで、かんじんの水泳の方だけどさあ、去年はどうしちゃったのか自己ベ  
ストには、ほど遠いタイムばかり出して、みんなのひんしゅくをかつちゃったけど、今年  
はさー、ボクのFriendがいっぱい神大に入ってくるっていうからさあー、あー、楽しみ!!

◇後呂 忠詳；E36；平：明石北高

皆さん今晚は、ここ大阪府立体育館は因縁の大阪決戦を前に興奮のつぼと化しています。  
おーっと、遂に維新軍団の登場です。泳ぎのワンダーランドが今まさに繰り上げられようとし  
ています。電光石火の如く、コンバの度に狂暴さを増す、THE MORITA、アニマルコウ  
ノを従え、威風堂々とダーティヒップ後呂がリング上に上がりました。彼の必殺汚れたケツは  
あの日本神話に登場するヤマタノオロチを彷彿させます。おーっと、しかし、どーした、いき  
なりK.O.だ。リング上で勝ち誇るのは、何と、別府の湯を守護神とした、知る人ぞ知るあの彼  
女だったのです。

◇甲野 賢；S36；蝶：鳴尾高

彼は若いながらスピード出世でもはや現場監督である。普段はヘルメットをかぶっていないが、  
試合前日の荷物分担になると突如として力を発揮し、笛を吹いてくれる。それがたった一つ彼に  
与えられた使命なのだ。従って、試合当日は体の調子を崩して、よく休んでしまう。ヘラクレス  
ばかりの立派な体と、異国で生まれたようなオリエントムードが漂う顔に似合わず、あまり強  
じんな体ではなさそうだ。（彼の発言を、そのまま信用しようとする、この一年で彼は何度も  
死んでいる。結核、白血病、ガン、歯痛 etc...）話すことはデカイが、いつも行動がともなわ  
ないので今年は一いつ、実行に移すよう努力してほしい。というのが我々の切実な願いである。

◇郡 幸雄；T36；蝶：姫路西高

“ただ”、“やすい”、“もらう”、“食う”、“寝る”。彼の行動はすべてこの簡単な5つ  
の言葉で言い表せます。筆者が入部した日、部室で見たものは思いっきり見開いても豆つぶほど  
にしかならない小さな目で、すのこの下の10円玉を探しまくっていた彼の姿でした。金銭感覚  
が鋭く、何かにつけて先輩におごってもらおうとするせこい態度は見ていると情けなくなります。  
時おり「先輩、何しとっとなんてですかあ？」と意味のわからない姫路弁を言ったかと思う  
と、二言目には「単位がない!!」とぼやく。「金がない!金がない」と言っているわりにはブラ  
ンド志向が強く、ジャンパーの下からブランド名をちらつかせるのだが、カントリーな彼には、  
全く似合っていない、とのもつばらの評判である。バタフライの期待の新星で、いびつな体をもつ

彼ですが、筆者としては、彼の同回生Tへの思いが成就することを望みます。

◇近藤 直明；B36：自：尼崎北高

“地味な顔に派手なIVY!”この一言が彼の全てを物語っている。入部当初は学者肌とも呼ばれたが、コンパなどで酒が入るとたちまちただの会社婦りのオッサンと化し、彼の本性をさらけ出してしまふ。顔に似合わず合コンが好きらしく、部の帰りに一言、「コンパをなめたらあかん」の言葉とともに皆とは別行動をとり、夜の繁華街へ1人で消えていく彼の背からは、もはや、学生らしい若さは全く感じられない。そんな彼もlong面のエースとして活躍、完璧なまでのベース配分にのっとり泳ぎからは往年のスプリンターとしての姿はみじんもない。近頃では原色っばい太いネクタイを不気味に光らせながら、あやしげなバイトのあっせん役をかって出るなど、早くも次期主務を期待する声が高まっている。

◇坂田 亨；A36：自：加古川東高

上の名前は“よしおか なると”と読みます。うちには“さかた とおる”という部員がいますが、字は吉岡成人と書くのです。ただ二人とも、同じ体型、同じ思考回路をしていて、見分けが付きません。彼はいよいよ春からは高校生です。生徒手帳をもらって、定期を買って、制帽をかぶって、とつてもごきげんです。それでいて我々にまじって練習しているがんばり屋さんでもあります。

◇辻 宏；T36：自：桃山学院高

- ②との秘密をバラすのが得意である。「こいつねえー」この言葉が出ればおしまいである。
- ③れつつまわらない口でよくしゃべる。彼のもんくは一流である。
- ④しっかり者である。服、靴はすべて母親に買ってもらえるので、バイトでかせいだ金はすべて貯金。もうすでに、十万円とか……。
- ⑤AIKO腹である。見苦しい毛がへそまで続いている。
- ⑥ASSAと行動できない。ヨタヨタと歩く。
- ⑦RESHIそーな顔をしている。ニヤけているのだ。去年のオフから。
- ⑧J. J. ポバイなんてどこ吹く風、彼にはラッパ型ジーンズがよく似合う。
- ⑨LOVE YOU とあの娘に言ったが、彼女はその夏、すでに女になっていた。

◇徳永 守；A36：背：長田高

ここに、彼の中学以来の後輩として、特に女子部員に対し、彼の行動に対し深く謝罪します。昨年、手あたりしい部内外の女の子にアタックしまくった事はみなさんの記憶に新しいことでしょう。もともとは頭が良いのだから使わないだけである。もともとは練習が嫌いなのだが、その通りにしているだけである。しかし、そんな彼でもなぜか憎めず、先輩方からもかわいがられるという得な性格の持ち主なのです。今年はバック面の中心人物はおろか、部全体の主力選手に心

身ともに成長してもらいたいのだが、なにぶん性格が性格だけに、どうなるか……乞うご期待。

◇中塚 泰弘；A36：平：富田林高

彼の目は魅力的だ。何億年も前から地球の歴史を見つめてきた、焦点の定まらない目。敵から逃れようとして泳ぐ時（現在の平泳ぎに近い泳ぎである。）見せるこの世の終りかと言わんばかりの顔。しかし、一度酒が入ると、この目がヤーさんよろしく悪くなり、上目づかいに我々をにらみつけるのである。と、突然だれかれかまわず殴りかかってくる。まさに歩く時限爆弾なのである。また時おり発する異様な奇声は我々を恐怖のどん底にたたき落としてしまう。そんな彼も最近酒に強くなったのかあるいは、あまり飲まないのかよくわからないが、コンパの席ではめっきりおとなしくなってしまった。筆者としてはもう一度あの狂乱を見てみたいものである。

◇森田 武士；J(II)36：個：大和川高

池辺さん、三回生成人さんと並んで“THE NANIWA”と呼ばれる1人である。夕方ひっそりとプールに現れ、知らぬうちに出て行ってしまふ。従ってプールで彼にお目にかかることは数少ない。しかし、コンパにだけは必ず出席、その存在感を皆に植えつけまくる。見かけによらず、酒にはめっぽう弱く、少量で酔い、その本性を余す所なく発揮、維新軍団の切り込み隊長としての使命を十二分に果すべく大声で歌い、暴れまくる。コンパがいまひとつ盛り上がり欠けようものなら「オモロないヤンケー!!」を連発、我々を殴ってでも盛り上げようとしてくれる責任感は見上げたものである。昨年の全国国公立戦では近年まれに見る応援で全国的に恥をさらしたことで、我々は彼に大変感謝している。さて今年も彼は新1回生を1人でも多く彼の門下へ引き込もうと、エンジン全開、バリバリ動き回ってくれるだろう。

◇木下 憲臣；P36：自：姫路西高

振り向いてごらん、ほら角刈りしたオッサンがサングラスをかけて白のグロリアに乗り、物を乞うように目を点にしてこちらを見つめているでしょう。そう、それが彼です。姫路の生んだ恐怖の顔面男、鼻タレのりおみです。近所の鼻タレ小僧よろしく「オネーターンほくと遊ボ」と目じりに笑みを浮かべるのです。初めてのコンパからいきなり女子面と仲良くなってしまふ彼のお気に入り、4回生のK子さんと、2回生のMさんだといううわさです。しかし、例の顔がネックとなり、彼の行動は主に夜に限られているそうです。もう一つ恐ろしいことに、彼は大変子供好きで、教育学部の初等教育科に属しているのです。そしてまっばら生徒とのスキンシップによる教育を理想としているそうです。我々が思うに、彼が小学校の教壇に立つ時こそ、PTAとの真の教育の追求が実現するのではないのでしょうか？

◇加地 恵；J36：背：京都教育大学付属高

うちは根っからの京おんなどっせ。自宅が京都のきぬがさにあるもんでっさかいに、寮に入りますんえ。夏場は忙しゅうて、ほとんど練習に出席できまへんでしたが、それでも試合では

心して泳ぎましたんで、みなさんにも京女の底力、とくとごらんいただきましたやろ。おおらかで優雅な背泳は、うちの自慢どすねん。去年は“ミス教養”に選ばれましたんえ。でもこのごろ、はっぺがたるみだして冬眠前のリスみたいなんです。それでも相変わらず2回生のTくんが接近しようとするので困っとるんですわ。うち、神大の2回生なんて相手にしまへんや。(この言葉に強いショックを受けた2回生は、数はかりしれない)はな、今年もマイペースでがんばりますえ〜。

◇高元 智子；甲南大：マネージャー；神戸高

甲南大学から来てくれているミーハー女子大生です。何ぶん部でしか彼女を見ることはできないので、甲南大学のある岡本で何をしているのか我々にはわかりません。けばけばしい服装、ブローしない髪、3cmはあろうかと思われる厚化粧、本当の気持が少しも表れない顔、そして何より4回生K子さんのさわやかなお色気の流し目とは違う、どこか職業っぽい匂いの漂よううつろな目が、人々によからぬうわさをたてさせます。また素朴でウブな3回生のMさんを毒牙にかけ、知らずのうちにあやしい世界に引き込んでしまったという、本当に恐ろしい魔性の女なのです。

## 昭和59年度活動報告

昨年度、関西インカレ1部リーグ残留、全国国公立戦3位入賞、関西国公立戦優勝、そして旧三商大戦完全優勝と競泳・水球とも好戦績を取めた神大水泳部は、全国国公立戦2位奪還、関ポロ優勝などの目標に向かって新たなスタートを切った。

3月10日からの筑波大学でのポロ合宿に備えて、後期試験終了直後の2月28日からJSS御影の温水プールでのトレーニングを開始した。そして筑波大でのポロ合宿は、起床5時、ミーティング終了0時を回るというハードスケジュールであったが、関東のトップクラスの筑波大、中央大などに混じっての練習であり、自分たちの技術の未熟さをいやという程思い知らされたが、その分得るものも大きかったと思う。合宿において、筑波大とのパイプ役をして下さった田中コーチと、現地でたいへん御世話になった慶応大の名取先生には、深く感謝の意を表したい。

そして、3月27日からは、金先輩の御尽力で、鳴尾SCでの強化練習をさせていただき、また4月からは、OBである橋本先生の御世話で、御影高校水泳部と合同練習をさせていただいた。

連休明けの5月7日のシーズンインに向かって、温水プールでは、極度のショートレストインターで持久力の養成をはかり、短時間で最大の効果を得られるよう、部員一人一人に合った、細かいメニューづくりを心がけた。またシーズン中にもウエイトトレーニング、ポロの基礎練などをノルマとして、各自の都合のいい時間にするなどの合理化をはかり、全員がそろった練習時間の確保に工夫した。

水球では、今年こそは打倒京大を目指し、茨木高校や尼崎北高校などと練習試合を行い、6月の合宿では実戦形式の練習を多く取り入れるようにした。

そして、我々は今年も幾多の試合の待つ本格的な夏を迎えたのである。 (吉田 記)

## 京阪神三大学戦

この試合は、プロ野球でいうオープン戦のようなもので、勝負というよりは、主力メンバーの調子を試すのと、成長課程の選手の記録会のような目的で各校臨んでいる。我校は、各種目はほぼベストメンバーであったのに対し、京阪西大学は、若手主体のメンバーで臨んだため、結果は楽勝であった。この試合で我校が最も重要視したのは、関西国公立に向けての各選手の調整具合である。今年度の、神大の浮沈の鍵を握ると言っても過言でない。川原田は、この試合で57秒8と言う好タイムを出し、完全に復調をうかがわせた。又、例年になく、即戦力が多く加入し、それぞれどれほどタイムが戻っているか、気になったのだが、結果は全員まずまずで、翌日からの合宿で鍛えれば大丈夫というものであった。なにはともあれ、試合はまだ始まったばかりである。

(坂田 記)

☆京阪神三大学戦

6月3日 於 京大プール(50m)

●100m自由型

川原田 貢	57-8	1位
土井 健治	1-10-3	4位

●400m自由型

三好 岳	5-25-7	3位
中川 善雄	5-28-7	4位
安井 啓史	6-12-6	5位

●800m自由型

近藤 直明	11-06-9	2位
中川 善雄	11-27-2	3位
浜田 昌己	12-16-4	6位

●200mバタフライ

坂田 純孝	2-35-7	1位
郡 幸雄	2-56-6	2位
甲野 賢	4-00-8	5位

●200m背泳

吉田 不二彦	2-36-2	1位
徳永 守	2-38-6	2位
黒川 良介	3-06-9	4位

●200m平泳

後呂 忠詳	2-50-7	1位
-------	--------	----

日比勝己	3-05-9	4位
有利英明	3-06-1	5位

●200m個人メドレー

原田 久富美	2-39-3	2位
中塚 泰弘	3-08-0	6位
吉岡 成人	3-15-2	(8位)

●400m個人メドレー

浦野 敏明	5-33-4	2位
三好 岳	5-59-2	3位
原田 久富美	6-01-1	4位

●400mメドレーリレー

吉田・後呂・坂田・川原田	4-33-2	1位
--------------	--------	----

●800mリレー

浦野・坂田・原田・川原田	9-21-5	1位
--------------	--------	----

総合

1位	神戸大	102点
2位	京都大	79点
3位	大阪大	28点

市 大 戦 (6/10)

あいにくの天気で小雨の降る中、対市大戦は開始された。競泳の部・水球の部では、前年に続いて、神大が圧倒し、そして恐怖のプールサイドコンパが始まった。一回生は市大神大共逆サイドに並ばされ、自己紹介をしてプールにとびこみ、ようやく着いてプールに上がろうとする頃に、先輩からビールを渡され、いっき飲みをするという一回生にとっては悲惨なものだった。プールサイド

にあるものは何でもかんでもプールに放り込まれ、絶叫とも思える歓喜の音がプールにひびきわたった。一回生にとってはプールサイドでのコンパは初めての経験で、あまりのすさまじさに驚くばかりであったが、いつの間にか市大神大の輪の中に自分が入っているのに気がついた。夕闇もせまりコンパは終わった。実にむごたらしいものであった。(辻記)

## ☆市大戦

6月10日 於 京大プール(50m)

### 〔競泳〕

#### ●1000m自由型

川原田 貢	59-2	1位
浜田 昌己	1-04-0	3位
田中 真司	1-13-4	5位

#### ●400m自由型

坂田 純孝	5-07-2	1位
近藤 直明	5-44-0	3位
安井 啓史	6-17-1	5位

#### ●800m自由型

近藤 直明	11-18-1	2位
原田 久富美	11-19-8	3位
中川 善雄	11-37-8	4位

#### ●200mバタフライ

郡 幸雄	2-49-8	1位
甲野 賢	4-06-6	5位

#### ●200m背泳

徳永 守	2-37-5	2位
吉田 不二彦	2-37-6	3位
黒川 良介	3-13-0	5位

#### ●200m平泳

後呂 忠詳	2-49-4	1位
有利 英明	3-10-2	3位
日比 勝己	3-10-7	4位

#### ●200m個人メドレー

浦野 敏明	2-42-2	1位
原田 久富美	2-44-8	2位
吉田 不二彦	2-50-6	3位

#### ●400mメドレーリレー

徳永・後呂・郡・坂田	4-41-9	1位
------------	--------	----

#### ●800mリレー

徳永・後呂・坂田・川原田	9-42-9	1位
--------------	--------	----

#### 総合

1位	神戸大	102点
2位	大阪市立大	75点

## 〔水球〕

神戸大	Q	大阪市立大
3	I	1
5	II	0
3	III	0
6	IV	1
17	計	2

## メンバー

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 日比 勝己      |
| 2. 中川 善雄 (1) | 9. 浜田 昌己 (1)  |
| 3. 坂田 純孝 (2) | 10. 黒川 良介 (1) |
| 4. 吉田不二彦 (3) | 11. 吉岡 成人     |
| 5. 川原田 貢     | 12. 郡 幸雄      |
| 6. 浦野 敏明 (6) | 13. 有利 英明     |
| 7. 原田久富美 (3) |               |

## 大勝、惜敗、圧勝、完敗、関西学生水球リーグ戦

昨年まで、未公認のトーナメント戦であった関ポロが、今年から名称も関西学生水球リーグ戦となり、公認の文字通りリーグ戦となった。その記念すべき第1回大会が、6月16・17日の両日、大阪市立大プールで行われた。

1日目は、対大阪市立大戦と対阪大戦が行われた。対大阪市立大戦は、前半苦戦したものの、徐々に差を広げて行き結果的には19対5で大勝した。続く対阪大戦は、第1Q、第2Qは一進一退のシーソーゲームであったが、第3Qの失点が響き、第4Qに何度か1点差に詰めよりながら、ついに追いつけず少差で涙を飲んだ。

2日目は、対立命大戦と対京大戦が行われた。対立命大戦は、第1Qから相手を圧倒、その後も一方的に攻めまくり、19対1でこれに圧勝した。続く対京大戦に勝てば、得失点率で優勝の可能性も残されていたため、またここ数年来の目標である打倒京大を果たすため、我々は悲憤感さえ漂わせ立ち向かっていった。しかしながら、第1Qの最初にいきなり3点を連続して奪われ、その後も終始京大ペースで試合を進められ、7対13と奇しくも去年の関ポロと同じスコアで破れ、打倒京大はならなかった。結局この大会3位に終わり、からくも9月の日本学生選手権の出場権を手に入れるにとどまった。

筑波合宿までしてのぞんだ水球リーグであったが、結局自分たちの未熟さを思い知らされる結果となった。感じたことは、水球は球技であるということ。したがって、競泳の延長と考えるのではなく、別の角度から見直す必要があるのではないかと、我々神大は、水泳の面からしか見ていなかったように思う。視点を変えてみる必要がある。そのへんを大いに反省させられた試合であった。

(浦野 記)

☆関西学生水球リーグ戦

6月16日・17日 於 市大プール

第1試合

神戸大	Q	大阪市立大
3	I	2
3	II	0
6	III	0
7	IV	3
19	計	5

メンバー

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 黒川 良介     |
| 2. 中川 善雄     | 9. 日比 勝己 (1) |
| 3. 三好 岳 (3)  | 10. 浜田 昌己    |
| 4. 吉田不二彦 (4) | 11. 吉岡 成人    |
| 5. 原田久富美 (4) | 12. 郡 幸雄     |
| 6. 川原田 貢 (5) | 13. 有利 英明    |
| 7. 浦野 敏明 (2) |              |

第2試合

神戸大	Q	大阪大
2	I	2
3	II	3
2	III	5
5	IV	4
12	計	14

メンバー

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 田中 真司     | 8. 川原田 貢  |
| 2. 中川 善雄     | 9. 日比 勝己  |
| 3. 三好 岳 (2)  | 10. 浜田 昌己 |
| 4. 吉田不二彦 (3) | 11. 吉岡 成人 |
| 5. 原田久富美 (2) | 12. 郡 幸雄  |
| 6. 浦野 敏明 (4) | 13. 有利 英明 |
| 7. 坂田 純孝 (1) |           |

第3試合

神戸大	Q	立命館大
7	I	0
5	II	0
8	III	0
3	IV	1
23	計	1

メンバー

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 坂田 純孝 (1) |
| 2. 中川 善雄     | 9. 日比 勝己     |
| 3. 三好 岳 (2)  | 10. 浜田 昌己    |
| 4. 吉田不二彦 (8) | 11. 吉岡 成人    |
| 5. 原田久富美 (3) | 12. 郡 幸雄     |
| 6. 川原田 貢 (5) | 13. 有利 英明    |
| 7. 浦野 敏明 (4) |              |

第4試合

神戸大	Q	京都大
1	I	5
2	II	1
3	III	3
1	IV	4
7		13

メンバー

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 中川 善雄     |
| 2. 坂田 純孝     | 9. 日比 勝己 (1) |
| 3. 三好 岳      | 10. 南谷 昌宏    |
| 4. 吉田不二彦 (1) | 11. 浜田 昌己    |
| 5. 浦野 敏明 (3) | 12. 吉岡 成人    |
| 6. 原田久富美 (2) | 13. 有利 英明    |
| 7. 川原田 貢     |              |

1位 京都大	4勝	2位 大阪大	3勝1敗
3位 神戸大	2勝2敗	4位 大阪市立大	1勝3敗
5位 立命館大	4敗		

## 堂々の関国V3

関西国公立戦V3をねらう我々神大水泳部は、去る7月7日・8日、京都大学プールへ乗り込んだ。

試合は、京都神三大戦の手応えどおり、阪大との勝負になった。フリーショート、バタ、個メ、四継、四混継の優勢を、阪大のプレスト陣の層の厚さと、フリーの中長距離と八継で差をつめられ、結局8点差で優勝という結果であった。来年度は、この弱点の補強が問題点になるだろう。

フリーショートで匠勝の川原田に続き、5位に入賞した島崎、バタにおける新人郡の活躍が目立った。

また女子では、新人加地・高田を加え、バランスを考えた坂東のエントリーが成功し、全国国公立への団体出場を決めた。

(吉田 記)

### ☆関西国公立戦

7月7日・8日 於 京大プール(50m)

#### 〔男子〕

##### ●1000m自由型

川原田 貢	57-81	1位・大会新
島崎 昌彦	1-01-5	5位
浜田 昌己	1-02-9	

##### ●2000m自由型

川原田 貢	2-09-5	1位
原田 久富美	2-26-5	
島崎 昌彦	2-27-6	

##### ●4000m自由型

近藤 直明	5-12-3
中川 善雄	5-25-1
土井 健治	6-27-9

##### ●1500m自由型

近藤 直明	20-41-5
中川 善雄	22-34-5
安井 啓史	23-35-9

##### ●1000mバタフライ

坂田 純孝	1-05-6	2位
郡 幸雄	1-06-2	3位

##### ●2000mバタフライ

坂田 純孝	2-31-2	2位
郡 幸雄	2-38-1	4位

● 100m背泳

吉田 不二彦	1-09-3	3位
徳永 守	1-10-2	5位
黒川 良介	1-23-4	

● 200m背泳

吉田 不二彦	2-31-5	3位
徳永 守	2-32-7	4位
黒川 良介	2-57-8	

● 100m平泳

後呂 忠詳	1-13-7	2位
日比 勝己	1-23-2	
有利 英明	1-26-3	

● 200m平泳

後呂 忠詳	2-43-4	3位
有利 英明	3-07-0	
中塚 泰弘	3-07-8	

● 200m個人メドレー

浦野 敏明	2-34-2	4位
原田 久富美	2-40-0	6位
三好 岳	2-41-4	(8位)

[女子]

● 100m自由型

木村 典子	1-15-7	2位
織田 芳子	2-03-4	

● 200m自由型

木村 典子	2-51-9	6位
織田 芳子	4-29-1	

● 400m自由型

林 磨智子	6-32-7	6位
-------	--------	----

● 400m個人メドレー

浦野 敏明	5-29-7	2位
三好 岳	5-48-5	5位
吉岡 成人	6-47-1	

● 400mメドレーリレー

徳永・後呂・坂田・川原田	4-28-3	1位
--------------	--------	----

● 400mリレー

吉田・坂田・後呂・川原田	4-01-7	1位
--------------	--------	----

● 800mリレー

浦野・坂田・後呂・川原田	9-13-4	3位
--------------	--------	----

総合

1位	神戸大	84点
2位	大阪大	76点
3位	京都大	59点
4位	大阪府立大	37点
5位	神戸商船大	20点
6位	和歌山大	14点

● 100mバタフライ

高田 貴子	1-49-0	(7位)
-------	--------	------

● 200mバタフライ

坂東 美枝	2-58-0	1位
-------	--------	----

● 100m背泳

加地 恵	1-32-1	2位
------	--------	----

- 200m背泳  
加地 恵 3-23-7 3位  
林 磨智子 3-37-4 (8位)

- 100m平泳  
三住 千里 1-42-1 (8位)

- 200m個人メドレー  
三住 千里 3-46-1 5位  
高田 貴子 3-52-0 (7位)

- 400m個人メドレー  
坂東 美枝 6-13-8 2位  
越智 順子 9-12-5 6位

- 400mメドレーリレー  
加地・三住・坂東・木村  
5-48-8 2位

- 200mリレー  
坂東・加地・林・木村  
2-20-8 4位

- 400mリレー  
坂東・加地・林・木村  
5-14-3 2位

総合		
1位	大阪教育大	67点
2位	京都教育大	57点
3位	神戸大	44点
4位	大阪大	35点
5位	滋賀大	25点
6位	兵庫教育大	21点

## — 内容は惨敗、兵庫インカレ —

点数計算では1点差で関学に敗れた神大だったが、内容は惨敗であった。V奪回への関学の気迫に対して応援その他全てにおいて神大は敗れていた。関西国公立戦、三商大とスケジュールは厳しかったが、部員そして特に新幹部の考え方の甘さが、敗戦の原因であった。V奪回には関学を上まわる気迫をもって臨まなければならないだろう。しかしそんな中でも、フリーロングにおける中川、1000自での浜田、島崎の健闘など次のステップへの明るい材料も多かった。(川原田 記)

### ☆兵庫インカレ 7月12日 於 王子公園プール(50m)

[男子]

- 100m自由型  
川原田 貢 57-7 2位・大会新  
島崎 昌彦 1-01-8 4位  
浜田 昌己 1-02-3 5位

- 200m自由型  
川原田 貢 2-13-6 2位  
島崎 昌彦 2-24-4 6位  
浜田 昌己 2-28-2 (7位)

● 400m自由型

近藤直明	5-04-7	3位
中川善雄	5-14-3	6位
吉岡成人	5-43-2	(9位)

● 1500m自由型

近藤直明	21-21-3	4位
中川善雄	21-33-8	5位
安井啓史	23-00-3	(9位)

● 100mバタフライ

坂田純孝	1-04-7	1位
郡幸雄	(1-06-7)	(失格)

● 200mバタフライ

坂田純孝	2-30-8	1位・大会新
郡幸雄	2-37-4	3位

● 100m背泳

吉田不二彦	1-09-2	1位
徳永守	1-10-0	2位
黒川良介	1-23-6	

● 200m背泳

吉田不二彦	2-33-4	1位・大会新
徳永守	2-33-8	3位・大会新
黒川良介	2-59-3	(7位)

● 100m平泳

後呂忠詳	1-12-8	2位・大会新
日比勝己	1-24-6	
有利英明	1-26-9	

〔女子〕

● 100m自由型

木村典子	1-17-7	2位
------	--------	----

● 200m平泳

後呂忠詳	2-44-5	2位
中塚泰弘	3-02-2	(9位)
日比勝己	3-04-9	

● 200m個人メドレー

浦野敏明	2-34-0	2位
原田久富美	2-40-8	5位
三好岳	2-46-4	6位

● 400m個人メドレー

浦野敏明	5-34-7	2位・大会新
三好岳	5-47-0	4位
原田久富美	6-03-2	(7位)

● 400mメドレーリレー

吉田・後呂・坂田・川原田	4-24-6	1位・大会新
--------------	--------	--------

● 800mリレー

浦野・坂田・後呂・川原田	9-09-9	3位
--------------	--------	----

総合

1位	関西学院大	105点
2位	神戸大	104点
3位	甲南大	50点
4位	神戸商船大	23点
5位	神戸商科大	19点
6位	神戸外大	7点

加地 恵	1-24-5	6位
織田 芳子	1-55-0	

● 200m自由型

木村典子	2-57-0	3位
林磨智子	3-07-8	5位
織田芳子	4-18-9	(8位)

● 400m自由型

林磨智子	6-33-7	5位
------	--------	----

● 1000mバタフライ

坂東美枝	1-18-3	4位
------	--------	----

● 1000m背泳

加地恵	1-34-6	4位
越智順子	1-54-3	8位

● 1000m平泳

三住千里	1-39-3	3位
川島えみこ	1-40-2	4位

● 2000m平泳

三住千里	3-38-6	4位
川島えみこ	3-41-3	5位

● 200m個人メドレー

坂東美枝	2-59-0	3位
------	--------	----

● 400mメドレーリレー

加地・三住・坂東・木村	5-56-4	2位
-------------	--------	----

● 400mリレー

坂東・加地・林・木村	5-21-6	2位
------------	--------	----

総合

1位	武庫川大	180点
2位	神戸大	46点
3位	関西学院大	19点
4位	兵庫教育大	14点
5位	神戸外大	11点
6位	神戸商船大	6点

## — カップ半減の旧三商大戦 —

今回で第52回を迎える旧三商大戦で2年連続完全優勝を狙う我が神大は、7月15日、敵地、一橋大学小平プールへと乗り込んだ。

午前中は競泳が行われた。個々の記録には目立ったものもなく、800mリレーでは一橋に700mまで先行されるという一幕もあったものの、層の厚さで勝る神大が、関西国公立の覇者としての実力を見せつけ優勝した。しかしながら、1位をとった種目が、個人種目7種目のうち2種目というの寂しい限りである。次回は是非全種目制覇を狙ってほしい。

午後からは水球が行われた。第1試合は対大阪市立大戦であったが、第1Qに少しもたついたものの、その後は優勢に試合をすすめて、16対5で市大を下した。第2試合は対一橋大戦であった。今年の水球にかけの一橋の意気込みはすばらしく、第1Qにいきなり3点を先取され、第2Qに入っても点差は開くばかりで、結局9対17の大差で敗れさり、V2を果たすことができなかった。

関西学生水球リーグ戦以降十分に水球の練習ができなかったことも敗因の1つに挙げられよう。しかし、強豪のひしめく関東のリーグで実戦を数多く積み重ね、勝負に対する執着心と良い意味でのずるさを備えた一橋に見習うべきところも多かったのではないか。

失った盾やカップの代わりに、多くの反省材料を抱えて、我々は神戸への帰途についたのであった。  
(浦野 記)

### ☆旧三商大戦

7月15日 於 一橋大プール(50m)

#### 〔競泳〕

##### ●100m自由型

川原田 貢	58-5	1位
浜田 昌己	1-04-4	3位

##### ●400m自由型

原田 久富美	5-23-6	3位
吉岡 成人	5-44-5	4位

##### ●800m自由型

近藤 直明	10-55-1	3位
中川 善雄	11-10-7	4位

##### ●200mバタフライ

坂田 純孝	2-35-8	1位
郡 幸雄	2-36-0	2位

##### ●200m背泳

徳永 守	2-35-5	2位
吉田 不二彦	2-36-4	3位

##### ●200m平泳

後呂 忠詳	2-43-8	2位
日比 勝己	3-04-7	5位

##### ●200m個人メドレー

浦野 敏明	2-37-7	2位
三好 岳	2-47-3	3位

##### ●400mメドレーリレー

徳永・後呂・郡・近藤	4-35-3	1位
------------	--------	----

##### ●800mリレー

浜田・近藤・原田・川原田	9-21-6	1位
--------------	--------	----

#### 総合

1位	神戸大	70点
2位	一橋大	60点
3位	大阪市立大	48点

#### 〔水球〕

##### 第1試合

神戸大	Q	大阪市立大
2	I	1
6	II	2
4	III	0
4	IV	2
16	計	5

##### メンバー

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 中川 善雄      |
| 2. 川原田 貢 (2) | 9. 日比 勝己 (1)  |
| 3. 三好 岳 (3)  | 10. 浜田 昌己     |
| 4. 吉田不二彦 (1) | 11. 黒川 良介     |
| 5. 坂田 純孝 (1) | 12. 土井 健治 (1) |
| 6. 浦野 敏明 (5) | 13. 有利 英明     |
| 7. 原田久富美 (2) |               |

第2試合

神戸大	Q	一橋大
0	I	3
2	II	5
3	III	5
4	IV	4
9	計	17

メンバー	1. 田中 真司	8. 中川 善雄
	2. 川原田 貢 (1)	9. 日比 勝己
	3. 三好 岳 (1)	10. 浜田 昌己
	4. 吉田不二彦 (1)	11. 黒川 良介
	5. 坂田 純孝 (1)	12. 土井 健治
	6. 浦野 敏明 (4)	13. 有利 英明
	7. 原田久富美 (1)	

— 今年も現状維持 関西インカレ —

7月31日から8月2日にかけて、大阪プールで行なわれた関西インカレでは、全リレー種目で府大と大商大を抑えることができたので、1部リーグ残留を果たすことはできた。しかし、個人種目で決勝に進出できたのは、坂田・川原田・後呂の3名のみで、いずれも残念ながら得点に結びつかなかった。

この1部リーグにぶらさがっている現状を打破するため、何とかして個人種目でも得点が欲しい。今年もこのような思いの残る試合であった。来年度は、川原田・後呂はもちろん、神大から是非とも個人得点を挙げてもらいたい。また、リレー種目でも八継の強化を急がねば得点圏外にはずれる恐れがあることを注意したい。

尚、八継の5位は同志社大の失格により繰り上がったものである。さらに、補足として近藤の1500自由型の記録の美しさに他校も驚いたことをつけ加えたい。

女子は、2部リーグでの優勝を果たし、1部リーグ昇格となった。男子同様、必死で1部リーグに留まるよう、奮起を期待したい。(吉田 記)

☆関西インカレ 7月31日、8月1日・2日 於 大阪プール(50m)

〔男子〕

●1000m自由型

川原田 貢	57-5	(7位)
浜田 昌己	1-01-9	
島崎 昌彦	1-02-6	

●2000m自由型

川原田 貢	2-07-5	(9位)
原田 久富美	2-21-8	

●4000m自由型

近藤 直明	5-07-0
中川 善雄	5-07-9

●1500m自由型

近藤 直明	20-00-0
-------	---------

● 100mバタフライ

坂田 純孝	1-04-0	(7位)
郡 幸雄	1-06-0	
吉岡 成人	1-22-6	

● 200mバタフライ

坂田 純孝	2-26-6	(9位)
郡 幸雄	2-32-4	
甲野 賢	3-57-0	

● 100m背泳

徳永 守	1-10-1
吉田 不二彦	1-11-0
黒川 良介	1-20-1

● 200m背泳

徳永 守	2-33-8
吉田 不二彦	2-39-8
黒川 良介	2-56-6

● 100m平泳

後呂 忠詳	1-12-8	(7位)
日比 勝己	1-22-8	
有利 英明	1-23-4	

● 200m平泳

後呂 忠詳	2-41-4
日比 勝己	2-57-1
中塚 泰弘	3-00-1

〔女子〕

● 100m自由型

木村 典子	1-13-9	6位
織田 芳子	1-47-6	

● 200m個人メドレー

浦野 敏明	2-32-7
原田 久富美	2-39-5
三好 岳	2-42-6

● 400m個人メドレー

浦野 敏明	5-31-2
三好 岳	5-51-9

● 400mメドレーリレー

吉田・後呂・坂田・川原田	4-22-8	6位
--------------	--------	----

● 400mリレー

吉田・原田・後呂・川原田	3-58-2	6位
--------------	--------	----

● 800mリレー

浦野・坂田・後呂・川原田	9-00-6	5位
--------------	--------	----

総合

1位	同志社大	133点
2位	近畿大	84点
3位	天理大	54点
4位	関西大	32点
5位	大阪体育大	22点
6位	神戸大	4点

● 200m自由型

木村 典子	2-47-7	4位
織田 芳子	4-10-1	

• 400m自由型  
林 磨智子 6-09-8 4位

• 800m自由型  
林 磨智子 12-41-5 3位

• 100mバタフライ  
坂東美枝 1-16-6 2位

• 100m背泳  
加地 恵 1-30-1 4位

• 200m背泳  
加地 恵 3-26-6 4位  
越智順子 3-49-1 6位

• 100m平泳  
三住千里 1-35-3 3位  
川島 えみこ 1-42-2 6位

• 200m平泳  
川島 えみこ 3-32-5 5位

• 200m個人メドレー  
三住千里 3-33-3 6位  
越智順子 3-59-5 7位

• 400m個人メドレー  
坂東美枝 6-18-5 2位

• 400mメドレーリレー  
加地・三住・坂東・木村  
5-35-6 1位

• 200mリレー  
坂東・林・加地・木村  
2-21-3 3位

• 400mリレー  
坂東・林・加地・木村  
5-06-7 1位

総合

1位	神戸大	54点
2位	IBU	48点
3位	滋賀大	34点
4位	奈良教育大	22点
5位	四条藤短大	22点
6位	関西学院大	19点

## 2位奪還!! 全国国公立

8月13・15日に、埼玉県青木町公園プールで行なわれた全国国公立戦において、神大水泳部は昨年度の3位から2位に還り咲くことができた。

浦野の400個人での神大新。新主将川原田の今期最高の力泳。後呂の念力による東大藤島失格攻撃。得点にはならなかったが、郡の200バタでの驚異的飛躍。四継、八継における神大新。

これらの直接的勝因の他、忘れてはならないのはスタンドでの応援のすばらしさである。みんな最高のノリだった。思い返すと今でも胸が熱くなるような、最高の応援であった。(吉田 記)

☆全国国公立戦

8月13日・14日 於 川口青木町公園プール(50m)

〔男子〕

●100m自由型

川原田 貢	57-5	3位
浜田 昌己	1-01-2	
島崎 昌彦	1-02-1	

●200m自由型

川原田 貢	2-09-1	6位
近藤 直明	2-20-6	
島崎 昌彦	2-22-7	

●400m自由型

近藤 直明	5-03-3
中川 善雄	5-06-7
辻 宏	6-51-2

●1500m自由型

中川 善雄	20-36-7
安井 啓史	22-20-7
坂田 亨	24-17-1

●100mバタフライ

坂田 純孝	1-05-7
郡 幸雄	1-05-7
吉岡 成人	1-22-0

●200mバタフライ

郡 幸雄	2-28-5	(9位)
坂田 純孝	2-29-6	
甲野 賢	3-47-1	

●100m背泳

吉田 不二彦	1-09-6
徳永 守	1-11-0

田中 真司 1-45-2

●200m背泳

吉田 不二彦	2-34-5
徳永 守	2-36-6
黒川 良介	2-52-3

●100m平泳

後呂 忠詳	1-13-3	5位
南谷 昌宏	1-20-7	
有利 英明	1-23-2	

●200m平泳

後呂 忠詳	2-39-2	3位
中塚 泰弘	2-57-2	
日比 勝己	2-59-8	

●200m個人メドレー

浦野 敏明	2-31-2
原田 久富美	2-35-0
三好 岳	2-47-1

●400m個人メドレー

浦野 敏明	5-20-3	6位
三好 岳	5-47-6	
原田 久富美	5-50-4	

●400mメドレーリレー

吉田・後呂・坂田・川原田	4-23-4	3位
--------------	--------	----

●400mリレー

川原田・吉田・浜田・後呂	3-57-0	2位
--------------	--------	----

● 800mリレー

浦野・坂田・後呂・川原田

8-56-5 5位

〔女子〕

● 100m自由型

木村典子 1-13-0

● 200m自由型

木村典子 2-44-2

● 400m自由型

林 磨智子 6-07-7

● 100mバタフライ

坂東美枝 1-14-9 (7位)

● 200mバタフライ

坂東美枝 2-47-7 3位

● 100m背泳

織田芳子 2-36-6

● 200m背泳

林 磨智子 3-34-1

● 100m平泳

三住千里 1-36-8

● 200m平泳

三住千里 3-28-8

総合

1位	筑波大	131点
2位	神戸大	23点
3位	大阪大	21点
4位	岡山大	14点
5位	愛知教育大	14点
6位	東京大	10点

● 400mメドレーリレー

林・三住・坂東・木村

5-49-2

● 200mリレー

坂東・三住・林・木村

2-20-7

● 400mリレー

坂東・三住・林・木村

5-14-5

総合

1位	筑波大	131点
2位	東京学芸大	26点
3位	愛知教育大	23点
4位	新潟大	21点
5位	群馬大	19点
6位	京都教育大	15点

## 近 国 体

4回生の出場ということもあったが、2位の阪大に大差を持って優勝した。4回生が、最後の近国体まででというの悪い事ではないと思うので、伝統になって欲しい。浦野さんの神大新(2個メ)は見事であった。大差で勝ったとはいえ、来期の課題は多々ある。まず3位の8継、川原田に続くものがない。

(浜田・原田らも100では伸びているが、200は今ひとつ。島崎、近藤も含めて、フリー面の再編成が課題である。)

ブレでは日高(阪大)に対する後呂、バタでは岸本(和大)に対する郡のがんばりを期待する。バックは吉田さんなき後、看板となるべき徳永がいる。混継はこの1年生トリオと新キャプテン川原田でトップをさらった。他、中堅所を見ると、8自4位の中川が伸張著しい。1背で専門外、島崎の入賞、2背で黒川の初得点もある。ブレでは、中塚、日比がもう1歩の所である。冬場のトレーニングにはげむ、有利も期待できる。初心者面の辻、坂田も今期はよくがんばった。Ⅱ課程面の安井、森田も来年は期待できる。

女子では1自優勝した木村が目立つ。坂東さんなき後の大黒柱である。来年もがんばって欲しい。

(黒川 記)

### ☆近 国 体

8月21日・22日 於 阪大プール(50m)

[男子]

●100m自由型

川原田 貢	57-9	1位・大会新	
浜田 昌己	1-02-2	(7位)	
田中 真司	1-10-3		

●200m自由型

川原田 貢	2-08-7	1位・大会新	
原田 久富美	2-22-0		
辻 宏	3-11-5		

●400m自由型

近藤 直明	5-00-6	6位	
中川 善雄	5-08-5	(7位)	
坂田 亨	5-56-0		

●800m自由型

近藤 直明	10-31-0	3位	
-------	---------	----	--

中川 善雄 10-41-1 4位

安井 啓史 11-48-7

●100mバタフライ

坂田 純孝	1-05-9	2位	
郡 幸雄	1-07-2	4位	
吉岡 成人	1-30-4		

●200mバタフライ

坂田 純孝	2-29-0	2位	
郡 幸雄	2-31-5	3位	
甲野 賢	3-48-7		

●100m背泳

吉田 不二彦	1-08-9	1位	
徳永 守	1-09-5	2位	
島崎 昌彦	1-16-6	4位	

● 200m背泳

徳永 守	2-32-9	1位
吉田 不二彦	2-37-1	2位
黒川 良介	2-52-9	6位

● 100m平泳

後呂 忠詳	1-13-2	2位・大会タイ
日比 勝己	1-22-6	
有利 英明	1-24-6	

● 200m平泳

後呂 忠詳	2-39-1	2位・大会新
中塚 泰弘	2-57-4	(7位)
日比 勝己	3-01-2	

● 200m個人メドレー

浦野 敏明	2-29-5	1位・大会新
原田 久富美	2-35-7	4位
三好 岳	2-41-9	5位

● 400m個人メドレー

浦野 敏明	5-26-6	2位
三好 岳	5-41-8	6位
森田 武士	8-14-8	

[女子]

● 100m自由型

木村 典子	1-12-9	1位
-------	--------	----

● 200m自由型

木村 典子	2-52-9	2位
-------	--------	----

● 400m自由型

林 磨智子	6-08-1	4位
-------	--------	----

● 400mメドレーリレー

徳永・後呂・郡・川原田	4-26-9	1位
-------------	--------	----

● 200mリレー

吉田・川原田・後呂・徳永	1-46-8	1位・大会新
--------------	--------	--------

● 800mリレー

原田・近藤・後呂・川原田	9-11-4	3位
--------------	--------	----

総合

1位	神戸大	113点
2位	大阪大	69点
3位	京都大	51点
4位	神戸商船大	22点
5位	大阪教育大	20点
6位	京工繊大	19点

● 100mバタフライ

坂東 美枝	1-15-8	2位
-------	--------	----

● 200mバタフライ

坂東 美枝	2-49-5	1位
-------	--------	----

● 100m背泳

越智 順子	1-48-9	
-------	--------	--

- 200m背泳  
林 磨智子 3-33-6 5位  
越 智 順 子 3-55-7
- 100m平泳  
三 住 千 里 1-40-6 6位
- 200m個人メドレー  
三 住 千 里 3-42-2 5位
- 400mメドレーリレー  
林・三住・坂東・木村  
5-52-9 3位

- 200mリレー  
林・三住・坂東・木村  
2-24-6 4位
- 400mリレー  
坂東・三住・林・木村  
5-20-9 4位

総合		
1位	大阪教育大	65点
2位	京都教育大	56点
3位	神戸大	44点
4位	大阪大	35点
5位	兵庫教育大	33点
6位	滋賀大	24点

## — やはり、すごい 日本学生選手権 —

今年で60回を迎える日本学生選手権大会が、'85年に開かれる神戸ユニバーシアードのリハーサルを兼ねて、9月2日から6日までの5日間にわたり、神戸ポートアイランドスポーツセンタープールで開催された。水球競技は2日、3日に予選各8試合、4日に準決勝2試合、5日に三位決定戦1試合、6日には決勝戦1試合が行われた。我が神大は2日の第3試合(実質は、東大が棄権したため第2試合)に登場、東京学芸大学と対戦した。東京学芸大は、関東2部リーグの中堅クラスのチームであり、ひょっとしたら勝てるかもしれないという期待を持ってのぞんだのであるが、関東の壁は厚く、4対16で一蹴されてしまった。第2Qだけは勝ったのだが、あとはさっぱりであった。またしても実戦不足を痛感した試合であった。

今回の大会では、関東の1部校、特にオリンピック選手5人を抱える日体大のゲームやプレイを見て、かなり水球のイメージが変わり、勉強になったように思う。日本のトップ選手の実際のプレイを見ただけでも価値があった。

また、最後になりましたが、日本学生選手権大会運営にあたり、役員、広告、その他色々と御協力いただいた先輩諸兄、補助役員として働いてくれた現役諸君に対し、この誌面を借りて、深く御礼を申し上げます。

(浦野 記)

今年のインカレは地元神戸での開催、しかも我が神大水泳部からはポロの出場、競泳でも3名の参加と盛り上がる為の要素は整っていた。しかし今振り返ってみると、私はインカレという舞台を色どる俳優ではなく、華やかな舞台を見つめる観客であった。素晴らしいポロのプレイ、息づまる様な競泳のせり合い、場内を揺るがす大声援等々。同じ試合を、同じレースを戦う資格を有しながら観客に成り下がっていた。相手は同じ学生である。条件の差などがその原因ではない。“気合い負け”この一言に尽きると思う。一つの試合、1レースに賭ける意気に決定的な差があったのではないだろうか。他の選手に負けぬ気合で臨んでいれば、たとえ脇役であったにせよ俳優として舞台を構成した充実感が得られたであろう。まだ自分に残っている甘さを痛感した5日間であった。

(後呂 記)

☆日本学生選手権 9月2日～6日 於 ポーアイプール(50m)

〔競泳〕

出場選手	川原田 貢	100m自由型	57-3	200m自由型	2-10-5
	後呂 忠 詳	100m平泳	1-12-7	200m平泳	2-42-2
	坂東 美 枝	100mバタフライ	1-18-2		

〔水球〕

神戸大	Q	東京学芸大
1	I	5
3	II	2
0	III	3
0	IV	6
4	計	16

メンバー	1. 田中 真司	7. 浦野 敏明 (1)
	2. 三好 岳	8. 南谷 昌宏
	3. 中川 善雄	9. 吉岡 成人
	4. 川原田 貢	10. 黒川 良介
	5. 日比 勝己 (1)	11. 島崎 昌彦
	6. 原田久富美 (2)	12. 有利 英明

— 関ポロ Jr 戦観戦記 —

浦野氏を始めとする四回生選手の引退後、初めての大きな試合ということで、部員一同全精力を傾け、試合に臨んだ。立命館戦、大市大戦は、「一年生もどどん試合に出場させる。」という川原田主将の方針に、一年生達は奮起した。観衆を楽しませる珍プレーを連発しながらも、それなりに役目を果たした。しかし、神大の最大目標は、阪大に勝ち、京大にどれだけ喰い下がって来年への足掛りを作るか、ということであった。阪大戦では、マンツーマンゾーンからの速攻に苦しめられ、3Qまで苦戦したものの、4Qで敵主力近藤の動きを封じ、速攻を生かす作戦が大当たりし、川原田氏の三得点によって突き放したのであった。プレーヤーが燃え、応援する者も燃え、全員で勝ちとった阪大戦だった。京大戦はキーパー田中が良く、ゴールを死守したものの、原田の永久退水

など味方がそれに応えず4Qには、メンバーを落とされるという事態にまでなり、まだまだ力不足であることが暴露された。組織プレーには強いものの、あと一歩という個人技レベルでの力不足が目立った試合であった。一年生においては、ディフェンスの当りが厳しくなると、プレーが出来ず、上級生においては、極めて基本的な、パスする時には体を浮かすとか、競り合う時にもう一つ押しの無さなど、精神面技術面でのひ弱さが課題となった。全般的に見れば、後呂や郡、徳永ら一回生プレーヤーの活躍は、順調な成長を見れば来年、そしてその次と楽しみなところである。ただし二回生は、一層のレベルアップが、早急に望まれる。

(原田 記)

☆関西学生水球リーグ Jr

9月8日・9日 於 市大プール

第1試合

神戸大	Q	立命館大
8	I	0
6	II	0
5	III	1
5	IV	1
24	計	2

- メンバー
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 田中 真司 (1) | 8. 郡 幸雄 (2)   |
| 2. 後呂 忠詳 (4) | 9. 坂田         |
| 3. 三好 岳 (4)  | 10. 徳永 守 (2)  |
| 4. 中川 善雄     | 11. 近藤 直明 (1) |
| 5. 川原田 貢 (3) | 12. 吉岡 成人 (3) |
| 6. 原田久富美 (2) | 13. 有利 英明     |
| 7. 黒川 良介 (2) |               |

第2試合

神戸大	Q	大阪大
4	I	3
1	II	2
2	III	2
3	IV	0
10	計	7

- メンバー
- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 田中 真司     | 8. 黒川 良介  |
| 2. 中川 善雄     | 9. 吉岡 成人  |
| 3. 三好 岳 (1)  | 10. 後呂 忠詳 |
| 4. 日比 勝己 (2) | 11. 徳永 守  |
| 5. 川原田 貢 (4) | 12. 近藤 直明 |
| 6. 原田久富美 (2) | 13. 有利 英明 |
| 7. 島崎 昌彦 (1) |           |

第3試合

神戸大	Q	京都大
1	I	3
1	II	3
1	III	5
3	IV	1
6	計	12

- メンバー
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 田中 真司     | 8. 黒川 良介      |
| 2. 日比 勝己 (1) | 9. 吉岡 成人      |
| 3. 三好 岳 (2)  | 10. 後呂 忠詳 (1) |
| 4. 中川 善雄 (1) | 11. 徳永 守      |
| 5. 川原田 貢 (1) | 12. 近藤 直明     |
| 6. 原田久富美     | 13. 有利 英明     |
| 7. 島崎 昌彦     |               |

第4試合

神戸大	Q	大阪市立大
4	I	1
5	II	2
0	III	2
6	IV	2
15	計	7

メンバー

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 有利 英明     | 8. 吉岡 成人 (2)  |
| 2. 中川 善雄 (2) | 9. 中塚 泰弘      |
| 3. 三好 岳 (3)  | 10. 甲野 賢      |
| 4. 原田久富美 (4) | 11. 近藤 直明 (1) |
| 5. 黒川 良介     | 12. 後呂 忠詳 (1) |
| 6. 日比 勝己     | 13. 郡 幸雄 (2)  |
| 7. 島崎 昌彦     |               |

1位 京都大 4勝	2位 神戸大 3勝1敗	3位 大阪大 2勝2敗
4位 大阪市立大 1勝3敗	5位 立命館大 4敗	

## 昭和 59 年度行事報告

- 5/19 (土) 新入生歓迎コンパ (六甲台生協)
- 5/27 (日) 凌泳總會 (教官食堂)
- 6/3 (日) 京阪神三大学戦 (京大プール)
- 6/5 (火) ~ 6/9 (土) 合 宿 (六甲台プール)
- 6/10 (日) 市大定期戦 (京大プール)
- 6/16 (土) ~ 6/17 (日) 関西学生水球リーグ戦 (市大プール)
- 7/7 (土) ~ 7/8 (日) 関西国公立戦 (京大プール)
- 7/12 (木) 兵庫県学生選手権 (王子プール)
- 7/15 (日) 旧三高大戦 (一橋・小平プール)
- 7/16 (月) 東京地区OB訪門
- 7/31 (火) ~ 8/2 (木) 関西学生選手権 (大阪プール)
- 8/13 (水) ~ 8/14 (木) 全国国公立戦 (川口市青木町公園プール)
- 8/21 (火) ~ 8/22 (水) 近畿国立大学体育大会 (阪大プール)
- 8/23 (木) 京阪神三大学 Jr 戦 (六甲台プール)
- 9/2 (日) ~ 9/6 (木) 日本学生選手権 (ポートアイランドプール)
- 9/8 (土) ~ 9/9 (日) 関西学生水球リーグ Jr 戦 (市大プール)
- 9/15 (土) 月見の宴 (六甲台プール)

現 役 自 己 べ

	自 由 型				バタフ
	100m	200m	400m	800m	100m
男子の部					
川原田 貢	57-1	<u>2-07-5</u>	4-46-9		
黒川 良介	1-12-0			12-20-0	
原田 久富美	1-00-1	2-17-8	<u>5-16-8</u>	<u>11-19-8</u>	1-12-1
日比 勝己	1-09-9		<u>6-10-0</u>		1-31-7
三好 岳	1-07-9	<u>2-32-7</u>	<u>5-25-7</u>		1-18-7
島崎 昌彦	<u>1-01-5</u>	2-19-1			
吉岡 成人	<u>1-08-0</u>	<u>2-41-3</u>	5-35-6		<u>1-22-0</u>
中川 善雄	1-03-3	2-22-7	<u>5-06-7</u>	<u>10-41-1</u>	
田中 真司	1-08-5	2-43-2	<u>6-14-9</u>		1-28-4
浜田 昌己	1-00-6	2-16-9	<u>5-19-1</u>	<u>12-16-4</u>	
安井 啓史	<u>1-11-7</u>		5-36-9	<u>11-40-5</u>	
甲野 賢					<u>1-22-9</u>
近藤 直明	1-02-2	<u>2-20-6</u>	<u>5-00-6</u>	<u>10-31-0</u>	
辻 宏	<u>1-20-7</u>	<u>3-10-5</u>	<u>6-51-2</u>		
中塚 泰弘	1-16-8				
徳永 守	1-01-8	<u>2-29-4</u>			
有利 英明			6-12-1		
後呂 忠詳	59-1	2-15-7			
坂田 享	1-09-7		<u>5-56-0</u>	12-53-7	<u>1-36-3</u>
郡 幸雄	1-01-9		5-06-9		<u>1-05-7</u>
森田 武士	<u>1-29-5</u>				
木下 憲臣	1-05-9	2-28-7			
女子の部					
木村 典子	<u>1-12-9</u>	<u>2-44-2</u>	6-10-3		<u>1-36-0</u>
林 磨智子	1-20-2	<u>2-55-4</u>	<u>6-07-7</u>	<u>12-41-5</u>	1-43-4
三住 千里	1-28-5	3-36-9			
加地 恵	<u>1-23-7</u>				

# ス ト ー 覧 表

—— は長水路記録

ライ	背 泳		平 泳		個人メドレー	
	100m	200m	100m	200m	200m	400m
	1-09-6				2-35-1	
	<u>1-20-1</u>	<u>2-52-3</u>	1-32-0	3-24-5		
	1-16-8		<u>1-20-8</u>		<u>2-35-0</u>	<u>5-50-4</u>
<u>3-26-3</u>	1-41-7		1-20-6	2-56-8	3-03-0	
3-14-2	1-20-2	2-53-1	1-22-9	2-54-1	<u>2-41-4</u>	<u>5-41-8</u>
	<u>1-16-6</u>	<u>3-03-4</u>				
			1-47-2		2-58-4	6-34-9
<u>4-04-3</u>	<u>1-30-9</u>	<u>3-25-3</u>	1-26-0	<u>3-20-4</u>	3-08-4	6-29-2
	1-45-2				3-17-8	
	1-26-1	<u>3-10-0</u>	1-28-4	3-06-9	2-49-4	
<u>3-46-0</u>		4-28-5				
	1-35-8		1-40-7			6-21-4
	1-36-5	3-42-6				
4-01-3			1-20-4	<u>2-57-2</u>	3-02-6	6-39-8
	1-08-3	<u>2-32-7</u>			2-38-9	
	1-27-2		<u>1-23-4</u>	<u>3-06-1</u>	3-00-3	
			1-11-4	<u>2-39-1</u>		
3-48-6	<u>1-54-9</u>				3-26-8	
<u>2-27-2</u>				3-12-0		
					<u>3-35-9</u>	<u>8-14-8</u>
	<u>1-34-8</u>	<u>3-35-0</u>			<u>3-15-3</u>	<u>7-04-1</u>
	<u>1-40-8</u>	<u>3-33-6</u>	1-48-7	3-59-4	3-29-3	7-36-0
	<u>1-52-7</u>		1-34-8	<u>3-28-8</u>	<u>3-33-3</u>	
	<u>1-30-1</u>	<u>3-23-7</u>				

## 歴代10傑表 (男子)

(L)は長水路記録、(S)は短水路記録

### ○100m自由型

1	川原田 貢	57-1(S)	S.57
		57-3(L)	S.59
2	金 一波	58-6(S)	S.56
		58-9(L)	S.57
3	浜川 広海 杉山 和弘	58-8	S.26
		58-8(S)	S.53
5	吉田不二彦	58-9(S)	S.59
		59-8(L)	S.59
6	後呂 忠詳	59-1(S)	S.59
7	原田久富美	1-00-1(S)	S.59
8	久保田勝己	1-00-2(S)	S.56
9	浜田 昌己	1-00-6(S)	S.59
		1-01-0(L)	S.59
10	村田 邦夫	1-00-7(S)	S.51
		1-01-9(L)	S.51

### ○200m自由型

1	川原田 貢	2-07-5(L)	S.59
2	久保田勝己	2-08-5(S)	S.58
3	浜川 広海	2-09-0	S.26
4	金 一波	2-13-8(S)	S.57
		2-16-5(L)	S.56
5	杉山 和弘	2-14-0(S)	S.52
6	浦野 敏明	2-15-6(S)	S.59
7	後呂 忠詳	2-15-7(S)	S.59
8	坂田 純孝	2-16-5(S)	S.59
9	浜田 昌己	2-16-9(S)	S.59
10	山本 隆	2-17-0(S)	S.52

### ○400m自由型

1	久保田勝己	4-37-4(L)	S.58
2	川原田 貢	4-46-9(S)	S.57
3	浦野 敏明	4-53-1(S)	S.59
		5-00-9(L)	S.58
4	上田 剛弘	4-54-3(S)	S.55
		5-02-8(L)	S.55
5	山本 隆	4-55-1(L)	S.53
6	杉山 和弘	4-55-2(S)	S.52
7	金 一波	4-57-0(S)	S.56
8	近藤 直明	5-00-6(L)	S.59
9	丸末 一之	5-01-5(S)	S.51
10	松野 圭悟	5-03-4(S)	S.57

### ○800m自由型

1	久保田勝己	9-47-4(S)	S.56
		9-49-0(L)	S.57
2	山本 隆	10-22-1(S)	S.53
3	上田 剛弘	10-26-4(S)	S.51
4	近藤 直明	10-31-0(L)	S.59
5	浦野 敏明	10-33-2(L)	S.57
6	丸末 一之	10-36-3	S.51
7	松野 圭悟	10-38-0(L)	S.57
8	酒井 康司	10-40-5(S)	S.55
		11-00-7(L)	S.55
9	中川 善雄	10-41-1(L)	S.59
10	杉山 和弘	10-46-1(S)	S.52

### ○1500m自由型

1	久保田勝己	18-37-5(L)	S.58
2	近藤 直明	20-00-0(L)	S.59
3	浦野 敏明	20-08-3(L)	S.57
4	松野 圭悟	20-31-4(L)	S.57
5	中川 善雄	20-36-7(L)	S.59

## ○ 100 m バタフライ

1	吉岡 宏之	1-04-0(L)	S.58
2	坂田 純孝	1-04-0(L)	S.59
3	佐敷 定雄	1-04-8(L)	S.48
4	郡 幸雄	1-05-7(L)	S.59
5	富岡 洋三	1-07-0(S)	S.56
6	山本 隆	1-07-4(S)	S.54
		1-08-4(L)	S.53
7	浦野 敏明	1-08-5(S)	S.58
8	大橋 進	1-09-1(S)	S.44
9	久保田勝己	1-09-3(L)	S.55
10	杉山 和弘	1-09-6(S)	S.52

## ○ 100 m 背泳

1	杉山 和弘	1-07-7(S)	S.53
		1-08-4(L)	S.53
2	徳永 守	1-08-3(S)	S.59
		1-09-5(L)	S.59
3	吉田不二彦	1-08-6(L)	S.59
4	坂田 純孝	1-08-7(S)	S.58
5	川原田 貢	1-09-6(S)	S.59
6	太田 雅彦	1-10-9(S)	S.56
7	田淵 五郎	1-11-8(S)	S.27
8	酒井 正人	1-12-5(S)	S.51
		1-13-6(L)	S.52
9	木村多加緒	1-12-7(S)	S.43
		1-13-9(L)	S.43
10	井上 隆史	1-14-0	S.36

## ○ 200 m バタフライ

1	坂田 純孝	2-26-6(L)	S.59
2	郡 幸雄	2-27-2(L)	S.59
3	佐敷 定雄	2-29-6	S.48
4	吉岡 宏之	2-34-0(S)	S.57
		2-35-9(L)	S.58
5	山本 隆	2-35-2(S)	S.53
		2-36-9(L)	S.53
6	浦野 敏明	2-35-6(L)	S.56
7	久保田勝己	2-35-6(S)	S.55
8	阿部 洋三	2-40-1(L)	S.41
9	富岡 洋三	2-46-2(S)	S.56
10	谷水 利行	2-47-0(S)	S.55

## ○ 200 m 背泳

1	坂田 純孝	2-30-4(S)	S.56
2	吉田不二彦	2-31-2(S)	S.58
3	徳永 守	2-32-7(L)	S.59
4	杉山 和弘	2-34-1(S)	S.54
		2-34-2(L)	S.53
5	木村多加緒	2-34-8(S)	S.43
		2-37-0(L)	S.43
6	酒井 正人	2-35-2(S)	S.52
7	太田 雅彦	2-40-7(L)	S.56
8	玉木喜代明	2-43-6(S)	S.43
9	茲幸 弘樹	2-46-5(L)	S.53
10	松野 圭悟	2-46-7(S)	S.56

## ○100m平泳

1	後呂 忠詳	1-11-4(S)	S.59
		1-12-7(L)	S.59
2	長崎 真人	1-13-6(S)	S.57
		1-14-0(L)	S.58
3	鈴木 俊彦	1-14-3(S)	S.42
		1-14-7(L)	S.42
4	茲幸 弘樹	1-15-3(S)	S.53
		1-16-8(L)	S.53
5	浦野 敏明	1-15-6(S)	S.58
6	池辺 正雄	1-16-5(L)	S.56
7	山野 和則	1-17-1(S)	S.55
		1-17-2(L)	S.57
8	富岡 洋三	1-17-4(S)	S.55
		1-18-5(L)	S.53
9	平石 康	1-17-4(S)	S.51
		1-19-1(L)	S.52
10	南谷 昌宏	1-18-1(S)	S.58

## ○200m平泳

1	後呂 忠詳	2-39-1(L)	S.59
2	長崎 真人	2-40-5(L)	S.58
3	平石 康	2-45-3(S)	S.52
4	鈴木 俊彦	2-45-5	S.43
5	茲幸 弘樹	2-49-2(S)	S.53
		2-52-5(L)	S.53
6	山野 和則	2-50-0(S)	S.57
		2-50-1(L)	S.57
7	浦野 敏明	2-51-2(S)	S.58
8	富岡 洋三	2-51-9(L)	S.53
9	南谷 昌宏	2-52-7(L)	S.57
10	三好 岳	2-54-1(S)	S.59

## ○200m個人メドレー

1	浦野 敏明	2-29-5(L)	S.59
2	茲幸 弘樹	2-33-0(S)	S.52
		2-35-6(L)	S.53
3	坂田 純孝	2-34-0(L)	S.58
4	富岡 洋三	2-34-2(S)	S.56
		2-35-2(L)	S.55
5	吉岡 宏之	2-34-9(S)	S.57
		2-36-7(L)	S.55
6	原田久富美	2-35-0(L)	S.59
7	川原田 貢	2-35-1(S)	S.58
8	久保田勝己	2-36-0(S)	S.57
9	徳永 守	2-38-9(S)	S.59
10	平石 康	2-39-0(S)	S.52

## ○400m個人メドレー

1	浦野 敏明	5-20-3(L)	S.59
2	山本 隆	5-25-9(S)	S.53
		5-43-6(L)	S.53
3	久保田勝己	5-38-4(S)	S.55
4	坂田 純孝	5-40-7(L)	S.57
5	三好 岳	5-41-8(L)	S.59
6	吉岡 宏之	5-43-1(L)	S.57
7	茲幸 弘樹	5-44-2(S)	S.51
8	富岡 洋三	5-45-2(L)	S.55
9	原田久富美	5-50-4(L)	S.59
10	芝 暢彦	5-52-8(L)	S.54

○400mメドレーリレー

1	吉田・後呂・坂田・川原田	4-22-8 (L)	S.59
2	徳永・後呂・坂田・川原田	4-25-6 (L)	S.59
3	坂田・長崎・吉岡・川原田	4-26-3 (L)	S.57
4	徳永・後呂・郡・川原田	4-26-9 (L)	S.59
5	坂田・長崎・吉岡・金	4-29-5 (L)	S.57
6	吉田・浦野・坂田・川原田	4-31-3 (L)	S.58
7	吉田・長崎・吉岡・川原田	4-32-2 (L)	S.57
8	徳永・後呂・郡・浜田	4-33-4 (L)	S.59
9	坂田・池辺・吉岡・金	4-34-8 (L)	S.56
10	徳永・後呂・坂田・島崎	4-34-8 (L)	S.59

○400mリレー

1	川原田・吉田・浜田・後呂	3-57-0 (L)	S.59
2	吉田・原田・後呂・川原田	3-58-2 (L)	S.59
3	吉田・久保田・金・川原田	3-58-5 (L)	S.57
4	吉田・原田・浜田・川原田	3-59-5 (L)	S.59
5	吉田・坂田・久保田・川原田	4-01-2 (L)	S.58
6	吉田・坂田・後呂・川原田	4-01-7 (L)	S.59
7	田中・金・杉山・山本	4-06-2 (L)	S.54
8	吉田・呉竹・久保田・金	4-06-5 (L)	S.56
9	金・久保田・吉岡・田中	4-06-6 (L)	S.55
10	島崎・浜田・徳永・川原田	4-08-1 (L)	S.59

○800mリレー

1	浦野・坂田・後呂・川原田	8-56-5 (L)	S.59
2	浦野・金・久保田・川原田	8-57-2 (L)	S.57
3	川原田・浦野・坂田・久保田	8-59-8 (L)	S.58
4	原田・浦野・坂田・川原田	9-07-6 (L)	S.59
5	原田・近藤・後呂・川原田	9-11-4 (L)	S.59
6	呉竹・浦野・久保田・川原田	9-13-1 (L)	S.57
7	坂田・浦野・金・久保田	9-16-6 (L)	S.56
8	久保田・酒井(康)・浦野・金	9-17-1 (L)	S.56
9	浦野・坂田・吉田・川原田	9-17-3 (L)	S.58
10	酒井(康)・呉竹・浦野・久保田	9-17-5 (L)	S.56

## 歴代5傑表 (女子)

### ○100m自由型

1	坂東 美枝	1-11-7(S)	S.56
2	木村 典子	1-12-9(L)	S.59
3	土井 紀子	1-13-6(L)	S.54
4	石本日和子	1-14-7(L)	S.56
5	有本 智恵	1-15-3	

### ○100m背泳

1	坂東 美枝	1-21-7(S)	S.58
2	石本日和子	1-25-5(S)	S.55
3	竹島 信子	1-27-9	
4	桑本 万里	1-29-6	
5	長谷川美智子	1-29-9	

### ○200m自由型

1	坂東 美枝	2-37-3	S.56
2	土井 紀子	2-41-5	
3	木村 典子	2-44-28	S.59
4	桑本 万里	2-49-9	
5	小井戸路代	2-53-7	

### 200m背泳

1	坂東 美枝	2-58-6	S.56
2	石本日和子	3-10-6	
3	桑本 万里	3-11-3	
4	加地 恵	3-23-72	S.59
5	林 磨智子	3-32-6	S.59

### ○400m自由型

1	坂東 美枝	5-18-5	S.56
2	土井 紀子	5-45-0	
3	桑本 万里	5-54-3	
4	林 磨智子	6-07-71	S.59
5	木村 典子	6-10-3	S.59

### ○100m平泳

1	松井 玲子	1-30-3	
2	川島えみこ	1-32-0(S)	S.56
3	国本 温代	1-33-1(S)	
4	坂東 美枝	1-33-8(S)	S.56
5	石本日和子	1-34-1(S)	S.56

### ○100mバタフライ

1	坂東 美枝	1-14-3(S)	S.57
2	有本 智恵	1-25-6(S)	S.52
3	石本日和子	1-26-6(S)	S.55
4	辻 陽子	1-32-8	
5	木村 典子	1-36-0(L)	S.57

### ○200m平泳

1	川島えみこ	3-16-6	S.58
2	坂東 美枝	3-17-6	
3	松井 玲子	3-20-3	S.52
4	桑本 万里	3-23-8	
5	国本 温代	3-25-7	

### ○200mバタフライ

1	坂東 美枝	2-44-7	S.57
2	有本 智恵	3-26-9	
3	辻 陽子	3-32-4	S.55
4	石本日和子	3-45-9	

### ○200m個人メドレー

1	坂東 美枝	2-54-5(L)	S.56
2	石本日和子	3-07-5(S)	S.56
3	桑本 万里	3-09-7(S)	S.52
4	土井 紀子	3-12-7(S)	S.53
5	木村 典子	3-15-3(L)	S.58

### ○400m個人メドレー

1	坂東 美枝	6-04-0	S.56
2	石本日和子	6-52-5	
3	辻 陽子	7-00-9	S.55
4	木村 典子	7-04-1	S.57
5	栗野 正子	7-09-8	

○200mメドレーリレー

1	長谷川・栗野・高木・有本	2-21-8	S.50
2	桑本・酒井・有本・土井	2-35-4	S.53
3	長谷川・松井・有本・高木	2-35-5	S.50
4	石本・国本・坂東・小井戸	2-36-4 (L)	S.56
5	越智・川島・坂東・木村	2-38-5 (L)	S.57

○200mリレー

1	土井・小井戸・石本・坂東	2-14-3 (L)	S.56
2	長谷川・清水・高木・有本	2-16-3	
3	桑本・辻・有本・土井	2-18-0	S.53
4	坂東・林・川島・木村	2-19-0 (L)	S.58
5	坂東・石本・小井戸・川島	2-19-4 (L)	S.56

○400mメドレーリレー

1	加地・三住・坂東・木村	5-35-6 (L)	S.59
2	石本・川島・坂東・木村	5-40-0 (L)	S.57
3	石本・国本・坂東・土井	5-41-0 (L)	S.56
4	石本・川島・坂東・小井戸	5-42-2	S.56
5	林・川島・坂東・木村	5-45-5 (L)	S.58

○400mリレー

1	坂東・林・加地・木村	5-06-7 (L)	S.59
2	木村・石本・川島・坂東	5-07-8 (L)	S.57
3	坂東・林・川島・木村	5-09-4 (L)	S.58
4	小井戸・石本・桑本・土井	5-10-9	S.54
5	石本・坂東・小井戸・土井	5-11-7 (L)	S.56

※桑本万里(P28) (旧姓 清水)

土井紀子(P30) (旧姓 寺尾)

松井玲子(P25) (旧姓 山田)

長谷川美智子(P25) (旧姓 浜西)

土井 恵(A30) (旧姓 森田)

今年度より、女子5傑表の種目を増やしました。しかし、古い記録がはっきりせず、何かと不備な点が多いかと思えます。お気付きの事がありましたら、主務の所までお知らせ下さい。

# 凌 泳 会 会 則

## 第 1 章 総 則

- 第 1 条(名 称) 本会は凌泳会と称する。
- 第 2 条(事 務 所) 本会は事務所を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課気付「凌泳会」とする。
- 第 3 条(目 的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。
- 第 4 条(事 業) 本会は前条の目的を達成する為に左記の事業を行なう。
1. 会誌「凌泳」の発行
  2. 会員相互の連絡
  3. 定例総会及び各種の親睦会合
  4. 神戸大学水泳部発展の為に指導及び援助
  5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項
- 第 5 条(会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

## 第 2 章 会 員

- 第 6 条(会 員) 本会の会員を分けて正会員、特別会員、準会員及び在学会員とする。
- 第 7 条(正 会 員) 正会員とは、次のものを云う。
- 国立神戸高等商業学校 国立神戸商業大学 神戸経済大学 同附属経営学専門部 神戸大学 以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。
- 第 8 条(特別 会 員) 特別会員とは次のものを云う。
1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者及び現在ある者。
  2. その他、総会の決議によって推薦した者。
- 第 9 条(準 会 員) 準会員とは前 2 条に該当する者以外の者で神戸大学水泳部と行動を共にし、その活動に協力した者の内、本人が入会を希望し且つ在学会員より推薦のあった者を云う。
- 第 10 条(在 学 会 員) 在学会員とは次のものを云う。
- 現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者。
- 第 11 条(会 費) 正会員は会費として年額 6,000 円を当会へ納入する。但し卒業後 4 4 年を経過した者は会費を免除する。準会員は会費として正会員の半額を当会へ納入する。

## 第 3 章 役 員

- 第 12 条(役 員) 本会に次の役員を置く。
- 会 長 1 名

副 会 長	2 名
監 事	若干名
幹 事 長	1 名
本 部 幹 事	若干名
支 部 幹 事	若干名

- 第13条(改 選) 役員の改選は総会の決議によって行なう。
- 第14条(任 期) 役員の任期は1年とし再選を妨げない。
- 第15条(会 長) 会長は本会を代表し且つ統轄する。
- 第16条(副 会 長) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。
- 第17条(監 事) 監事は本会の会務及び会計を監査する。
- 第18条(幹事長及び本部幹事) 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し総括的会務の執行に当る。
- 第19条(支部幹事) 支部幹事は各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

#### 第 4 章 総 会

- 第20条(招 集) 総会は少くとも2週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以って会長がこれを招集する。
- 第21条(時 期) 総会は毎年5月に開催するものとし、臨時総会は必要に応じて招集する。
- 第22条(議 長) 総会の議長は会長がこれにあたる。
- 第23条(議 決) 総会の決議は出席正会員の過半数をもって決する。但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

#### 第 5 章 会 計

- 第24条(経 理) 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。
- 第25条(決 算) 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告しその承認を受ける。
- 第26条(期 間) 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

#### 第 6 章 凌 泳 の 送 付

- 第27条 本会員で会費を3年間滞納した者には「凌泳」の送付を停止する。但し特別の事情がある者(海外駐在員等)は除くものとする。

#### 第 7 章 雑 則

- 第28条 本会則は昭和58年5月29日より発効する。

#### 附 記 (退会者の取扱について)

昭和57年度総会において下記のとおり決定した。

文書その他の方法で退会の意志を表明した者は退会を認める事とし、その事実を明確にする為、名簿の最後に退会者欄をもうける。

## 凌 泳 会 役 員 名 簿

会 長	小 山 賢之助(学1)	
副 会 長	吉 野 栄(学9)	山 口 宗 樹(学10)
監 事	伊 藤 英 二(学7)	三 宅 林(学16)
幹 事 長	空 席	
幹 事	岡 田 重 義(B10)	井 上 与志明(J18)
	酒 井 正 人(A26)	
会計担当幹事	酒 井 潤(E31)	
凌泳編集幹事	石 井 義 章(学22)	
文 部 幹 事		
( 関 東 )	支 部 長 山 口 宗 樹(学10)	
	山 田 貴 彦(E10)	
	宮 部 高 博(L15)	阿 部 洋 三(T15)
( 中 部 )	支 部 長 浅 間 啓 介(E10)	
( 中 国 )	支 部 長 大 内 義 仁(学8)	
( 四 国 )	支 部 長 中 村 市 治(学9)	
( 九 州 )	支 部 長 印 藤 勝 美(学13)	
( 関 西 )	支 部 長 吉 野 栄(学9)	
	京 都 柳 本 正 雄(B10)	
	阪 神 橋 本 力(T30)	富 岡 道 雄(B31)
	姫 路 山 口 仁 郎(B5)	

## 物 故 会 員

氏 名	卒業年次(回)	氏 名	卒業年次(回)
藤 井 正太郎	特	太 田 清	昭 7高2 6
多 田 徳 雄	特	土 肥 駒次郎	7 2 6
山 田 幸 男	特	鍵 本 芳 次	8学 2
北 村 五 良	大 6高1 1	熊 野 利 夫	8 2
小笠原 房 穂	10 15	小 西 熊 雄	9 3
中 村 精 一	10 15	片 山 四 郎	11 5
加 納 茂	11 16	栄 口 昌 二	12 6
野 田 曾 一	11 16	村 上 秀 造	13 7
岡 本 幸 一	12 17	高 橋 徹	13 7
榊 原 零 一	12 17	和 泉 真 弘	14 8
山 村 馨	12 17	松 木 勇	14 8
山 下 虎 蔵	13 18	新 原 拓 夫	15 9
鈴 木 不 覇 雄	14 19	尾 原 芳 行	16 8
繁 益 繁 治郎	14 19	部 坂 克 夫	16 10
古 林 喜 楽	14 19	恩 地 正 伍	16 10
三 輪 嘉 一 郎	15 20	鈴 木 啓 介	16 10
高 田 寿 三	15 20	井 上 正 平	11
大 谷 親 之 輔	昭2 21	柏 木 慶 三	16 11
大 島 勝 利	2 21	稻 垣 懋	16 11
中 村 毅	2 21	山 口 八 郎	17 12
浅 野 猛 雄	3 22	池 田 勲 治	18 13
田 川 亮 一	3 22	前 田 礼 之	19 14
阪 本 豊 一	3 22	伊 藤 一 郎	21 16
作 田 耕 三	3 22	齐 藤 嘉 一 郎	21 16
白 井 儀 三	3 22	衣 川 昭	24専 1
東 光 武 三	4 23	鈴 木 富 夫	25学2 0
尾 上 長 三 郎	4 23	中 島 功	28新 1
川 西 武 雄	昭 7高2 6	今 井 彰	30 3

昭和59年度物故者

鈴木富夫(S.59.3.9)

## 商 神

1. 高神彩なす翹をあげて  
靈杖遙に東を指せば  
靈しき果実は雲間を漏りて  
秋津島根に落つとぞ見えし  
所はここぞ菊水かおる  
湊河原の近きほとり  
かく伝わりし天のさとしも  
人はさたらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし  
靈果いかで地に朽つべき  
豊栄のぼる朝日のかけに  
八州の外の潮風吹きて  
いつしか催す気運に乗じ  
わが学校ぞ世に生まれたる  
眠る 高界夢さますべき  
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰  
連り亘る山ぶところに  
数若鷹はぐくまれ居て  
静かにうかぶ雲の行きかい  
朝妙なる琴のひびきは  
敏馬の浜に松を吹く風  
夕やさしき舞の姿は  
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の  
寄せてはかえず清き渚や  
熱誠もゆる夏の盛りを  
いたわる風の葺合の里  
須磨や明石をかけて照るらん  
月には物のあわれをぞ知る  
冬は凍たる後に嵐  
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は  
偉人傑士を起たしむとかや  
天の使命を胸に収めて  
清き自然に抱かれながら  
筋骨鍛え智徳を研く  
切磋琢磨の三年の春秋  
養い得たるうつ勃の意気  
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金毘無欠の三千余年  
かがやく光は劍の脊  
心はおなじ大和男子の  
我等は牙を執って起ちなん  
日出ずる旗を高くかざして  
日入らぬ国と手を携えて  
目さす平和の戦の場に  
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時ぞとねぐら離れて  
野に立出ずる蒼鷹幾羽  
爪も研ぎぬ力も足りぬ  
尋にも余るつばさを張れば  
枝の百鳥皆おそれ伏す  
扶揺万里の風を起して  
おのが向々東に西に  
雲に突き入る勢見るや

商 神

しゅうしん あやなす つぼさをあげて  
 れいじゅう はるかに ひがしをさせば  
 くしきこのろは くもまをもりて  
 あきつ— しまねに おつとぞ みえしと  
 こ—ろは ここぞきくすいか おるみ  
 となとが わらのち かきほとりに *rit*  
 かくつたわりしあめのさとしも  
 ひとはさとらでいくとせかへぬ

# 宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

ま や ろ っ こ り に い だ か れ ー て  
 み ど り の そ の に は な ふ り か ぶ る  
 こ こ お か の ー べ の わ こ う ど ー が  
 も ゆ る お も い を む ね に ひ ー め  
 ま な ぶ や ゆ う ひ の と き を き し

三

燃ゆる紅葉たそがれて  
 宵闇せまる山路を踏めば  
 真理に挑む若鷹が  
 ネオンの海を見おろして  
 いよよ決意をかたむ哉

六

摩耶六甲に抱かれて  
 緑の園に花ふりかがる  
 ここ丘の上の若人が  
 燃ゆる思いを胸に秘め  
 学ぶや雄飛の時を期し

三

ヒマラヤ杉を背に受けて  
 茅渚の浦ゆ紀伊の山  
 右手に四国よ淡路島  
 左手にうかぶ金剛山  
 大らかにぞ抱負わく

四

身に沁みわたる峯おろし  
 冬来りなば春近し  
 巣立つ晴れの日時せまる  
 翼ひろげて悠然と  
 宇宙を股に羽ばたかん

# 栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 敷島富四雄

作曲 黒田 浩一

編曲 土橋 康宏

たて や たて われらがえらばれ  
 しせんし ぼくのたかき ほまれにかけて た  
 だ めざす しゅうりのかむり  
 ふる えいざ ふる—え ちからのかぎり かがやかんえい  
 こうはつ—ね に われら—に—  
 こうべこうべこうべ われらがこうべたいが—く ゆけ

<p>三</p> <p>聞けや聞け          われらが選ばれし戦士          青春の若き血潮たぎらせ          相和するかちどきの歌          振るえいざ振るえ意気いや高く          輝かん栄光は常にわれらに          神戸 神戸 神戸          われらが 神戸大学</p>	<p>三</p> <p>征けや征け          われらが選ばれし戦士          若人の大い誇を秘めて          胸深く制覇の誓          振るえいざ振るえ雄々しく強く          輝かん栄光は常にわれらに          神戸 神戸 神戸          われらが 神戸大学</p>	<p>一</p> <p>起てや起て          われらが選ばれし戦士          母校の高き誓にかけて          ただ目指す勝利の栄冠          振るえいざ振るえ力の限り          輝かん栄光は常にわれらに          神戸 神戸 神戸          われらが 神戸大学</p>
---	---	--

# 水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま や ろ っ こ り に い だ か れ て こ こ む こ が お か の  
 2. フ リ ー プ レ ス ト バ タ フ ラ イ バ ッ ク リ レ ー に  
 3. あ あ な つ か し の す い え い ぶ ろ っ こ り だ い の -



み ず き よ し ち め の う ら わ を み お ろ し て し ぶ  
 ボ ロ ま で も ぬ う え い け ん じ の い き た か し い ざ  
 ブ ー ル ベ に つ き み の え ん で - お よ き や め く る



き (し ぶ き) を あ げ る け ん だ ー ん じ  
 や (い ざ や) - き そ わ ん う で を - ぶ し  
 な (く る な) つ ま っ - て い き り - た つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し  
 茅渚の浦曲を見下して  
 しぶきをあげる健男子

二、フリープレスト バタフライ

バックリレーにボロまでも  
 凌泳健児の意気高し  
 いざや競わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に  
 月見の裏で泳ぎ止め  
 来る夏待っていきり立つ

※※～※※～※※～※※～※※～※※～※※

## 編 集 後 記

※※～※※～※※～※※～※※～※※～※※

本年度も、いよいよシーズンに入り、例年より幾分暖かいとはいえ、まだまだ水温の上がらぬプールで日々練習に励んでおります。前四回生の抜けた穴は大きく、他大学もレベルアップ著しく今年はかなり厳しい年になると思われま  
す。しかし、こういう時こそ全国国公立二位たる神戸大学水泳部の底力を発揮し、何としても例年の戦績を維持すべく、一同ますますはりきっております。

さて、今年もようやく「凌泳」を発行することができました。特集号が続いた後でもあり、物足りなく思われるでしょうが御了承下さい。

また、御協力いただいたOBの方々には、ここに心から感謝致します。次号からもより多くの御寄稿をお願い申し上げます。

最後に、本号についてお気付の点がございましたら、何卒お知らせ下さい。

発行責任者 島 崎 昌 彦